

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>北海道</b>											
1	日本館2F北翼	カラフト犬(ジロ)		北海道地方	北海道	稚内市	動物	哺乳類	出生地		稚内市のシンボルともいえる有名な個体です。南極での樺太犬のエピソードはあまりに有名です。ジロは涙の再開の後、さらに一冬を南極で過ごし死亡しています。南極でもう1個体生き残ったタロは生きて日本に生還し、北海道大学で余生を過ごしました。
2	日本館2F北翼	広郷型ナイフ形(尖頭状)石器		北海道地方	北海道	白滝遺跡群(北海道紋別郡遠軽町)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。現在ジオパークになっている白滝は、石器石材として重宝された良質の黒曜石の埋蔵量が日本最大級です。
3	日本館2F北翼	細石刃		北海道地方	北海道	オルイカ2遺跡(北海道千歳市)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。旧石器時代の大発明の1つとされる細石刃も、日本列島内で最も早く25000年前頃に出現しました。
4	日本館2F北翼	細石刃核と細石刃		北海道地方	北海道	オルイカ2遺跡(北海道)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。旧石器時代の大発明の1つとされる細石刃も、日本列島内で最も早く25000年前頃に出現しました。
5	日本館2F北翼	尖頭器		北海道地方	北海道	白滝遺跡群/ビリカ遺跡(北海道瀬棚郡今金町)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(北海道・神奈川県・長野県)	「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。
6	日本館2F北翼	搔器		北海道地方	北海道	白滝遺跡群(北海道)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。現在ジオパークになっている白滝は、石器石材として重宝された良質の黒曜石の埋蔵量が日本最大級です。
7	日本館2F北翼	彫器		北海道地方	北海道	白滝遺跡群(北海道)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。現在ジオパークになっている白滝は、石器石材として重宝された良質の黒曜石の埋蔵量が日本最大級です。
8	日本館2F北翼	赤色顔料(ベンガラ)と顔料のついた石皿		北海道地方	北海道	柏台1遺跡(北海道千歳市)	人類	石器	出土場所		装飾品の出土例は日本の旧石器遺跡からわずかしかなりませんが、北海道からは知内町、今金町、千歳市から見つかっており、証拠が充実しています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
9	日本館2F北翼	刻みのある石製装飾品と琥珀製ビーズ		北海道地方	北海道	柏台1遺跡(北海道千歳市)	人類	装飾品等	出土場所		装飾品の出土例は日本の旧石器遺跡からわずかしかなりませんが、北海道からは知内町、今金町、千歳市から見つかっており、証拠が充実しています。
10	日本館2F北翼	有舌尖頭器		北海道地方	北海道	白滝遺跡群(北海道)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。現在ジオパークになっている白滝は、石器石材として重宝された良質の黒曜石の埋蔵量が日本最大級です。
11	日本館2F北翼	錐		北海道地方	北海道	白滝遺跡群(北海道)	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。現在ジオパークになっている白滝は、石器石材として重宝された良質の黒曜石の埋蔵量が日本最大級です。
12	日本館2F北翼	石や琥珀製のアクセサリー:石製ビーズ		北海道地方	北海道	湯の里4遺跡(北海道上磯郡地内町)	人類	装飾品等	出土場所		装飾品の出土例は日本の旧石器遺跡からわずかしかなりませんが、北海道からは知内町、今金町、千歳市から見つかっており、証拠が充実しています。
13	日本館2F北翼	石や琥珀製のアクセサリー:石製ペンダント		北海道地方	北海道	湯の里4遺跡(北海道上磯郡地内町)	人類	装飾品等	出土場所		装飾品の出土例は日本の旧石器遺跡からわずかしかなりませんが、北海道からは知内町、今金町、千歳市から見つかっており、証拠が充実しています。
14	日本館2F北翼	石や琥珀製のアクセサリー:琥珀製ペンダント		北海道地方	北海道	湯の里4遺跡(北海道上磯郡地内町)	人類	装飾品等	出土場所		装飾品の出土例は日本の旧石器遺跡からわずかしかなりませんが、北海道からは知内町、今金町、千歳市から見つかっており、証拠が充実しています。
15	日本館2F北翼	石槍		北海道地方	北海道	本輪西貝塚(北海道室蘭市本輪西町)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(北海道・青森県)	
16	日本館2F北翼	縄文人男性		北海道地方	北海道	八雲コタン温泉遺跡(北海道二海郡八雲町浜松)	人類	人骨	出土場所		北海道の南西部の噴火湾(内浦湾)は縄文時代から続縄文時代にかけての遺跡が数多く見つかっており、保存状態が良好な人骨や多彩な骨角牙製品類が出土しています。特に北海道では生息していない動物、イノシシの牙やイモガイなどで制作された製品類は、当時の北海道と本州との交易を示す具体例として重要です。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
17	日本館2F北翼	縄文文人男性		北海道地方	北海道	南有珠7遺跡(北海道伊達市南有珠町)	人類	人骨	出土場所		北海道の南西部の噴火湾(内浦湾)は縄文時代から続縄文時代にかけての遺跡が数多く見つかっており、保存状態が良好な人骨や多彩な骨角牙製品類が出土しています。特に北海道では生息していない動物、イノシシの牙やイモガイなどで制作された製品類は、当時の北海道と本州との交易を示す具体例として重要です。
18	日本館2F北翼	オホーツク文化期人男性		北海道地方	北海道	大岬遺跡(北海道稚内市)	人類	人骨	出土場所		日本最北端の稚内市の大岬遺跡からは、20数個体の人骨が出土しています。彼らは5～11世紀頃に北海道北海岸から樺太などの北の海に栄えた海の民で、その文化はオホーツク文化と言われています。
19	日本館2F北翼	近世アイヌ男性		北海道地方	北海道	有珠ポンマ遺跡(北海道伊達市)	人類	人骨	出土場所		北海道の南西部の噴火湾(内浦湾)は縄文時代から続縄文時代にかけての遺跡が数多く見つかっており、保存状態が良好な人骨や多彩な骨角牙製品類が出土しています。特に北海道では生息していない動物、イノシシの牙やイモガイなどで制作された製品類は、当時の北海道と本州との交易を示す具体例として重要です。
20	日本館2F北翼	縄文時代の手厚い介護		北海道地方	北海道	入江貝塚(北海道虻田郡洞爺湖町入江)	人類	人骨	出土場所		北海道の南西部の噴火湾(内浦湾)は縄文時代から続縄文時代にかけての遺跡が数多く見つかっており、保存状態が良好な人骨や多彩な骨角牙製品類が出土しています。特に北海道では生息していない動物、イノシシの牙やイモガイなどで制作された製品類は、当時の北海道と本州との交易を示す具体例として重要です。
21	日本館2F北翼	赤毛		北海道地方	北海道	石狩地方、道中央部	人類	稲	栽培地域		石狩地方、道中央部で栽培可能(明治30年)となりました。在来品種から早生種を取り出したものです。籾についている棘(芒:のぎ)が赤いのでこう呼ばれました。
22	日本館2F北翼	きらら397		北海道地方	北海道	全道地域	人類	稲	栽培地域		全道で安定栽培できる耐冷性と当時としては画期的な食味を実現しました。
23	日本館2F北翼	ゆめびりか		北海道地方	北海道		人類	稲	栽培地域		食味と多収性の一層の向上をめざして改良された品種です。
24	日本館2F北翼	坊主		北海道地方	北海道		人類	稲	栽培地域		明治35年に上川地方へ拡大しました。赤毛から改良したのですが、芒がないのでこう呼ばれました。粒が大きく、いもち病にも強かったが、食味はあまり良くありませんでした。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
25	日本館2F北翼	富国		北海道地方	北海道		人類	稲	栽培地域		「坊主6号」に東北地方の「中生愛国」を交配してできました。「短日法」により北海道の米と道外の米が交配されてきた初めての実用品種です。収量が大幅に伸びました。
26	日本館2F北翼	走坊主		北海道地方	北海道		人類	稲	栽培地域		ほぼ全道で栽培可能となりました。(大正13年)
27	日本館2F南翼	ヒグマ		北海道地方	北海道		動物	哺乳類	生息地		日本では北海道にしかいない大型肉食獣です。アイヌ民族からは古来から「山の神(キムンカムイ)」と呼ばれ、自然崇拝の代表的な物の一つです。
28	日本館2F南翼	ニホンジカ(北海道産)		北海道地方	北海道		動物	哺乳類	特有性のある生息地		
29	日本館2F南翼	ヒダカソウ		北海道地方	北海道	日高山脈	植物	植物	植生地域		北海道の日高地方にあるアポイ岳の植物は、「アポイ岳高山植物群落」として国の天然記念物に指定されており、高山植物の宝庫です。かんらん岩という重金属を含んだ超塩基性岩(ちょうえんきせいがん)の山で、アポイマンテマやアポイツメクサなどアポイ岳でしか見られない植物がたくさん生育しています。この山でとくに有名なのがヒダカソウです。可愛い花を咲かせ人気がありますが、盗掘のために数が少なくなってしまったため、大切に保護されています。
30	日本館2F南翼	キリギシソウ		北海道地方	北海道	夕張山地	植物	植物	植生地域		石灰岩という特殊な岩でできた北海道の岨山(きりぎしやま)でしか見られない貴重な植物ですが、かつてひどい盗掘にあっけし数々が少なく絶滅が心配されています。現在では、研究・調査以外での岨山への立ち入りができなくなっています。またキリギシソウは、同じグループのキタダケソウとともに、国内の希少な野生動植物を守るための法律(種の保存法)でも守られています。岨山には、その他にも希少な植物がたくさんあります。
31	日本館2F南翼	エゾウスユキソウ		北海道地方	北海道		植物	植物	植生地域		北海道の植物の名前には、蝦夷(エゾ)がつくことがあります。このエゾウスユキソウも、日本では北海道の一部の山でしか見られないキク科ウスユキソウ属の多年草です。礼文島の代表的な花のため、レブンウスユキソウと呼ばれることもあります。歌で有名なエーデルワイスの仲間であり、「北海道のエーデルワイス」とも言えるかもしれません。日本以外ではサハラに生育しており、北海道との植物のつながりを感じさせます。
32	日本館2F南翼	テシオソウ		北海道地方	北海道		植物	植物	植生地域		名前の通り、北海道の北部、天塩郡の1ヶ所にしか生えていない植物です。蛇紋岩という特殊な岩石でできた岩場に自生します。テシオソウと同じ種とされることもあるほど良く似たオゼソウは、群馬県の至仏山と谷川岳だけにしか分布しませんが、こちらも蛇紋岩の上には生えません。ひとつの祖先から進化したこれら2種の分布が、1,000kmあまり隔たれた原因は分かっていませんが、栄養が乏しく植物が育ちにくい蛇紋岩に適応した進化をとげたことが謎を解く鍵かもしれません。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
33	日本館2F南翼	ヤマゲラ		北海道地方	北海道		動物	鳥類	生息地		ユーラシア大陸の亜寒帯から温帯に広く分布していますが、日本では北海道にのみ分布します。本州以南には近縁種のアオゲラが分布し、競合するため南下できなかったものと思われます。緑色の背中と縞模様のない淡い腹部の色がとても綺麗でかつ渋いキツツキです。ヨーロッパに分布するヨーロッパアオゲラが最も近縁です。
34	日本館2F南翼	ミヤマカケス		北海道地方	北海道		動物	鳥類	生息地		ミヤマカケスは、本州以南にも分布するカケスの亜種で、日本には北海道でのみ見られますが、大陸でもシベリアから朝鮮半島まで分布しています。ヨーロッパにはミヤマカケスに近縁な亜種が分布しており、ヤマゲラと同様に、ヨーロッパから北海道まで分布を拡大したものの、ブラキストン線を渡って本州には分布を広げることができなかった動物グループの一つです。
35	日本館3F北翼	キカデオイデア(裸子植物/キカデオイデア類)		北海道地方	北海道	中川郡中川町共和	地学	化石	産地		キカデオイデア属は中生代に繁栄したソテツのような裸子植物で、白亜紀末までに絶滅しました。ヨーロッパ、インド、アメリカなど世界各地から発見されていましたが、1920年に北海道で初めて発見され、当時東京大学で教鞭をとっていたロシア人のクリシュトフオビッチ氏によって、北海道を意味するエゾエンスという名前が付けられたのです。標本は幹の部分で、表面には葉の落ちた後がよく見えます。
36	日本館3F北翼	グレソニテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	雨竜郡幌加内町	地学	化石	産地		
37	日本館3F北翼	カニングトニセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市	地学	化石	産地		
38	日本館3F北翼	ユーバリセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	夕張市	地学	化石	産地		
39	日本館3F北翼/ 地球館1F	キャライコセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	留萌郡小平町/芦別市/三笠市	地学	化石	産地		
40	日本館3F北翼	ファゲシア(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	稚内市	地学	化石	産地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
41	日本館3F北翼	マリエラ(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	勇払郡むかわ町	地学	化石	産地		
42	日本館3F北翼	ハイポツリリテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	芦別市	地学	化石	産地		
43	日本館3F北翼	ツリリテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市	地学	化石	産地		
44	日本館3F北翼	ユーボストリコセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	夕張市/小平市	地学	化石	産地		
45	日本館3F北翼	テキサニテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	苫前郡羽幌町	地学	化石	産地		
46	日本館3F北翼	プロテキサニテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	苫前郡羽幌町	地学	化石	産地		
47	日本館3F北翼	ジンボイセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	留萌郡小平町	地学	化石	産地		
48	日本館3F北翼	アンモノセラタイテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市	地学	化石	産地		

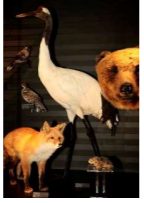

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
49	日本館3F北翼	ペロニセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市	地学	化石	産地		<p>北海道のアンモナイト 北海道はアンモナイトの世界的な産地です。今から約1億3000万年～6700万年前(中生代白亜紀)のアンモナイトが500種類以上見つかっています。中には、1メートルを超える巨大なものや異常巻きとよばれる奇妙な形をしたアンモナイトもあります。日本最大のアンモナイトは1.3メートルで、北海道から見つかりました(地球館地下2階に展示)。</p> <p>ニッポニテス 今から約8800～9200万年前(中生代白亜紀後期)に生息していた異常巻きアンモナイトの仲間です。1904年に北海道から初めて見つかり、その後、サハリン、カムチャッカ、北アメリカ・オレゴン州からも見つかっています。発見当初は、その奇妙な形から奇形ではないかと疑われました。ニッポニテス・ミラビリスは代表的な種類で、ニッポニテスは「日本から産出した化石」、ミラビリスは「奇妙な形をした」の意味です。</p>
50	日本館3F北翼	ソウンナイテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	雨竜郡幌加内町	地学	化石	産地		
51	日本館3F北翼	キャナドセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	稚内市	地学	化石	産地		
52	日本館3F北翼	ハイパーゾシア(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市	地学	化石	産地		
53	日本館3F北翼	バキデスモセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	雨竜郡幌加内町/苫前郡羽幌町/夕張市	地学	化石	産地		
54	日本館3F北翼	プテロゾシア		北海道地方	北海道	夕張市	地学	化石	産地		
55	日本館3F北翼	ニッポニテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	留萌郡小平町/芦別市/夕張市	地学	化石	産地		
56	日本館3F北翼	ゴードリセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市/天塩郡遠別町	地学	化石	産地		




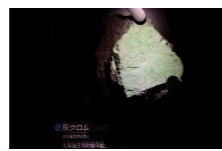






No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
57	日本館3F北翼	テトラゴニテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	留萌郡小平町	地学	化石	産地		
58	日本館3F北翼/ 地球館B2F	イノセラムス(二枚貝類)		北海道地方	北海道	稚内市/枝幸郡中頓別町/ 苫前郡苫前町/三笠市/ 留萌郡小平町	地学	化石	産地		
59	日本館3F北翼	メヌイテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	稚内市	地学	化石	産地		
60	日本館3F北翼	パラジョウベルテラ(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	雨竜郡幌加内町	地学	化石	産地		
61	日本館3F北翼	リヌパルス(甲殻類)		北海道地方	北海道	留萌郡小平町	地学	化石	産地		
62	日本館3F北翼	ギガントカブルス(所属不明)		北海道地方	北海道	沙流郡平取町/勇払郡むかわ町	地学	化石	産地		
63	日本館3F北翼	パキディスカス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	勇払郡むかわ町	地学	化石	産地		
64	日本館3F北翼	アンモナイトの密集		北海道地方	北海道	留萌郡小平町	地学	化石	産地		



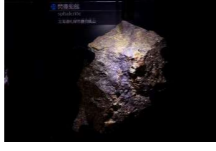









No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
65	日本館3F北翼	スフェノセラムス(二枚貝類)		北海道地方	北海道	天塩郡遠別町	地学	化石	産地		
66	日本館3F北翼	スカラリテス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	三笠市/夕張市/留萌郡小平町	地学	化石	産地		
67	日本館3F北翼	アイノセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	沙流郡平取町	地学	化石	産地		
68	日本館3F北翼	ノストセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	穂別町 (現)勇払郡むかわ町	地学	化石	産地		
69	日本館3F北翼	メタプラセンチセラス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	天塩郡遠別町	地学	化石	産地		
70	日本館3F北翼	三笠層の砂岩		北海道地方	北海道	三笠市	地学	化石	産地		
71	日本館3F北翼	ユウパキディスカス(アンモナイト類)		北海道地方	北海道	天塩郡遠別町	地学	化石	産地		
72	日本館3F北翼	コモチシダの類(シダ植物/シダ類)		北海道地方	北海道	夕張市冷水山	地学	化石	産地		
73	日本館3F北翼	石炭(瀝青炭)		北海道地方	北海道	空知郡上砂川町	地学	化石	産地		国内では北海道や九州北部、山口県、常磐地域(福島県一茨城県)などに大規模な石炭の採掘地(炭田)があり、かつて私たちの暮らしを支えていました。その価値から、黒いダイヤと呼ばれたこともあります。
74	日本館3F北翼	クシロムカシバク		北海道地方	北海道	釧路郡釧路町	地学	化石	産地		日本にもかつてはバクがいました。そんな「びっくり」な事実は、寒さが厳しい北海道から見つかっています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
75	日本館3F南翼	ナガコンブ		北海道地方	北海道	釧路沖	植物	菌類・藻類	採取地		北海道釧路以東の海岸に分布する海藻です。10mを超える帯状の細長い体で、浅い海底に寝そべって生えています。長いものは20mに達するといわれる、日本最長の海藻です。初夏に採取されて、昆布巻きや佃煮など食用に使われます。
76	日本館3F南翼	マイマイカブリ(北海道産)		北海道地方	北海道		動物	昆虫	特有性のある生息地		マイマイカブリは日本固有の大型オサムシ(体長31-67mm)で、地表面を徘徊して、カタツムリなどの小動物を捕食します。地域的に体色や体形の大きな変化があり、同じ地域内でも体長の個体変異があります。北海道のマイマイカブリは中型で、前胸は銅金色で光沢が強く、上翅は黒色で光沢が弱く、先端はあまり強くかかりません。
77	日本館3F南翼	オオセンチコガネ(北海道産)		北海道地方	北海道		動物	昆虫	特有性のある生息地		オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。北海道産は金緑色～緑味の強い金銅色です。
78	日本館3F南翼	エゾライチョウ		北海道地方	北海道		動物	鳥類	生息地		日本にいるライチョウの仲間は、中部アルプスの高山帯にすむライチョウと北海道のエゾライチョウの2種だけです。ライチョウは絶滅危惧種として厳重に保護されています。
79	日本館3F南翼	シマフクロウ		北海道地方	北海道	千島列島南部、北海道東部	動物	鳥類	生息地	天然記念物	シマフクロウは世界でも極東地域でのみ見られ、日本でも北海道東部でしか見られない貴重なフクロウです。世界でも最大級の巨大なフクロウで、主に魚を食べる魚食性のフクロウです。とても数が少ない絶滅危惧種で、国の天然記念物や国内希少野生動物植物種にも指定されて保護されています。アイヌ語ではコタン・コロ・カムイと呼ばれ、アイヌからは集落の守り神とされてきました。「ホー、ホー」と重低音の鳴き声を感じさせます。
80	日本館3F南翼	自然オスミウム(砂オスミウム)		北海道地方	北海道	深川市鷹泊	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
81	日本館3F南翼	繊維質高位泥炭土		北海道地方	北海道	空知支庁美唄市、農業研究センター美唄市見地	植物	土壌	採取地		
82	日本館3F南翼	埋没腐植質未熟黒ぼく土		北海道地方	北海道	根室支庁別海町	植物	土壌	採取地		
83	日本館3F南翼	典型アロフェン黒ぼく土		北海道地方	北海道	十勝支庁芽室町	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県)	

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
84	日本館3F南翼	典型停滞水グライ土(グライ台地土)		北海道地方	北海道	網走支庁紋別市小向、農業研究センター紋別試験地	植物	土壌	採取地		
85	日本館3F南翼	キタナキウサギ		北海道地方	北海道		動物	哺乳類	生息地		日本では北海道だけに分布している、小型のウサギ類です。特に道央から道東のみに分布しており、その生息地は分断されています。そのため、かつては地域ごとに10種に分けた研究者もいるという、環境志向性が高い種です。
86	日本館3F南翼	タンチョウ		北海道地方	北海道	北海道東部	動物	鳥類	生息地	特別天然記念物	タンチョウは頭が赤く体が白いことから、古来、日本を含む中国文化圏で瑞鳥(縁起の良い鳥)として親しまれてきました。日本では北海道でのみ留鳥として見られますが、極東ロシアや中国北東部で繁殖する集団は中国中部周辺まで渡ります。江戸時代までは本州でも農耕地などで越冬し、身近な鳥でしたが、江戸末期から明治にかけて狩猟などのために激減しました。特別天然記念物や国内希少野生動物種に指定されています。
87	日本館3F南翼	レールゾライト		北海道地方	北海道	様似郡様似町幌満	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県)	レールゾライトとは、かんらん岩の1種です。マントルを構成する岩石で、世界ジオパーク「アポイ岳ジオパーク」の主要な岩石となっています。かんらん岩は北海道の「県の石(岩石)」に指定されています。このかんらん岩は、世界的にも「新鮮なかんらん岩」として有名です。約1300万年前、もともと「別の島」であった西北海道と東北海道が、東側が乗り上げるように衝突した際、近くの下にあったマントルも一緒に露出したものと考えられています。
88	日本館3F南翼	黒雲母片麻岩		北海道地方	北海道	日高	地学	岩石	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
89	日本館3F南翼	アルチニー石		北海道地方	北海道	中川郡中川町宇内川	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
90	日本館3F南翼	クリスタル石		北海道地方	北海道	遠軽町八号沢	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
91	日本館3F南翼	ソーダ沸石		北海道地方	北海道	根室市桂木	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・新潟県)	提供者: 櫻井欽一氏
92	日本館3F南翼	オホーツク石		北海道地方	北海道	北見市国力鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
93	日本館3F南翼	単斜クリソタイル石		北海道地方	北海道	富良野市野沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
94	日本館3F南翼	石墨		北海道地方	北海道	広尾郡広尾町音調津	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
95	日本館3F南翼	クロム鉄鉱		北海道地方	北海道	沙流郡平取町八田鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・京都府)	提供者: 櫻井欽一氏
96	日本館3F南翼	灰クロム石榴石		北海道地方	北海道	沙流郡日高町糠平鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
97	日本館3F南翼	手稲石		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・和歌山県)	提供者: 原田準平氏
98	日本館3F南翼	渡辺鉱		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地		
99	日本館3F南翼	ルソン銅鉱		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地		
100	日本館3F南翼	自然テルル		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・静岡県)	提供者: 櫻井欽一氏
101	日本館3F南翼	テルル石		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・静岡県)	提供者: 櫻井欽一氏
102	日本館3F南翼	雄黄		北海道地方	北海道	札幌市定山溪	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県)	提供者: 櫻井欽一氏



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
103	日本館3F南翼	閃亜鉛鉱		北海道地方	北海道	札幌市豊羽鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県・埼玉県・新潟県・岐阜県)	豊羽鉱山の閃亜鉛鉱には微量のインジウムを伴い、かつては世界第1位のインジウム産出量を誇りました。インジウムは液晶テレビなど産業に欠かせない元素です。
104	日本館3F南翼	轟石		北海道地方	北海道	余市郡赤井川村轟鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
105	日本館3F南翼	クリプトメレーン鉱		北海道地方	北海道	余市郡余市町国興鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
106	日本館3F南翼	明礬石		北海道地方	北海道	小樽市ガッカリ沢	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
107	日本館3F南翼	閃マンガネン鉱		北海道地方	北海道	留萌郡古平町稲倉石鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
108	日本館3F南翼	ミメット鉱		北海道地方	北海道	小樽市小樽松倉鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
109	日本館3F南翼	ゲチエル鉱		北海道地方	北海道	虻田郡洞爺湖町洞爺鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
110	日本館3F南翼	灰長石		北海道地方	北海道	白老町クッタラ湖外輪山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・東京都)	
111	日本館3F南翼	グロート鉱、水マンガネン鉱		北海道地方	北海道	今金町ピリカ鉱山	地学	鉱物	採取地		
112	日本館3F南翼	石英(瑪瑙)		北海道地方	北海道	長万部町茶屋川	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏





No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
113	日本館3F南翼	加納輝石		北海道地方	北海道	八雲町館平	地学	鉱物	採取地		提供者: 小林英夫氏
114	日本館3F南翼	重晶石		北海道地方	北海道	上ノ国町勝山鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県・石川県)	
115	日本館3F南翼	上国石		北海道地方	北海道	上ノ国町上国鉱山	地学	鉱物	採取地		
116	日本館3F南翼	ユキウサギ		北海道地方	北海道		動物	哺乳類	生息地		北海道では様々な環境に生息しますが、主に低地から山地の森林を好みます。
117	日本館3F南翼	セダカオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		小型のオサムシ(体長12-17mm)で、日本産の他のオサムシとは大きく異なっています。全体黒色で、わずかに金属光沢を帯びています。前胸は強く狭まり、上翅は幅広く、背面は盛り上がっています。北海道と東北北部(岩手県)のみに分布し、北海道産と岩手県産は別亜種とされています。
118	日本館3F南翼	アオカタビロオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		日本でふつうにみられるカタビロオサムシの仲間は3種あり、その中で本種は最も小型で、主に北海道、東北地方を含む北日本にみられます。体長は20-25mmで肩が大きく張り出し、上翅には、多数の深い縦溝が走っています。体色は黒色で金緑色または金銅色の光沢をそなえています。樹葉上にすみ、チョウやガの幼虫を捕食します。
119	日本館3F南翼	クロカタビロオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		アオカタビロオサムシに似ていますが、やや大型(体長25-33mm)で、同様に上翅背面には多数の深い縦溝が走ります。体色は全体、金属光沢のない黒色です。また同様に樹葉上に生息し、チョウやガの幼虫を捕食します。アオカタビロオサムシよりも南方まで分布しますが、西日本では極めて個体数が少ないものです。
120	日本館3F南翼	エゾカタビロオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		日本産のカタビロオサムシ類の中で最大(体長25-38mm)で、さらに和名に「エゾ～」とついているにもかかわらず、日本全国、沖縄県八重山諸島まで分布しています。体色は銅褐色で、上翅は背面なめらかで縦溝を持たず、丸い金色の大点刻をまばらに散布しています。地上を徘徊し、チョウ、ガ類の幼虫を捕食します。灯火に集まることも多い種です。
121	日本館3F南翼	アカガネオサムシ(エゾアカガネオサムシ)		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		北海道に広く分布する中型(体長21-27mm)のオサムシで、本州にも分布するアカガネオサムシの北海道亜種です。体色はわずかに緑銅光沢のある黒色です。前胸部の光沢は弱く、上翅は強く幅広い縦条が走り、その間に楕円形のこぶの列をそなえています。北海道では平地から山地にかけて広く生息し、地表近くを徘徊して、ミミズなどの小動物を捕食します。
122	日本館3F南翼	コブスジアカガネオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		アカガネオサムシに似ていますが、やや小型(体長20-25mm)で、北海道のみに分布します。体色にはかなり幅広い個体変異があり、全体赤銅色の個体から全体黒色で体のへりが金属青色の個体、前胸が緑銅色で、上翅が黒色でへりが緑銅色の個体などがあります。上翅の彫刻は彫りが浅く、密集した印象があります。地表を徘徊してミミズなどの小動物を捕食します。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
123	日本館3F南翼	クロオサムシ(キタクロオサムシ)		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		本州にも分布するクロオサムシの北海道亜種で、中型(体長約25mm)であり特徴がありません。体色は弱い赤銅色から黒色のものが多くみられます。上翅はやや弱い縦条が多数走ります。地表を徘徊して、ミミズやチョウ、ガの幼虫などを捕食します。
124	日本館3F南翼	コクロナガオサムシ(エゾクロナガオサムシ)		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		やや大型(体長25-32mm)のオサムシで、全体黒色で弱い光沢をそなえ、表面の彫刻も浅く不明瞭です。種としてのコクロナガオサムシは本州西部から東日本にかけて広く分布し、多数の亜種に分類されており、北海道には4亜種ほどが見つかっています。地表を徘徊して小動物を捕食します。
125	日本館3F南翼	チシマオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		やや小型(体長18-26mm)のオサムシで、北海道の中でも特に寒冷な地域に分布します。体全体が黒色で、背面はしわや表面の起伏が強く、非常に弱い光沢を帯びています。上翅は紡錘形で、それぞれ3本の縦条線をそなえます。大雪山塊高所に産するものは別亜種とされ、ダイセツオサムシと呼ばれます。他に道東(ラウスオサムシ)、利尻島(リシリオサムシ)、礼文島(レブンオサムシ)が別亜種として知られています。
126	日本館3F南翼	ヒメクロオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		体長18-20mmの小型のオサムシで、種としては本州中部から北海道にかけて分布します。全体黒色で、体背面に非常に弱い光沢を帯びます。上翅背面には弱い縦条線と破線状の彫刻をそなえます。北海道では平地から高地までふつうにみられます。
127	日本館3F南翼	セシアカガネオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		小型のオサムシ(体長15-20mm)で、全体が赤銅色を呈します。前胸は短く、やや横長です。上翅は強い縦隆起条と、破線状のこぶ状隆起列を交互にそなえます。北海道のみに分布し、主に湿原の周辺に生息しています。
128	日本館3F南翼	セアカオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		小型(体長17-23mm)のオサムシで前種(セシアカガネオサムシ)によく似ています。前胸は赤銅色で強い光沢をそなえます。上翅は褐色で光沢が弱く、側縁部が赤銅光沢を帯びます。背面にはセシアカガネオサムシと同様の彫刻をそなえます。生息環境は、乾燥した草原およびその周辺であることが多いようです。
129	日本館3F南翼	アイヌキンオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		アイヌキンオサムシは北海道のみに生息する中型(体長24-28mm)で美しいオサムシです。北海道には広く分布するが、14亜種ほどに分類されており、地域的に、亜種ごとに、大きな体色の変化があります。道北から道東の一部に分布する名義タイプ亜種は、前胸が金赤色、上翅は時に赤みを帯びる金緑色で、それぞれ4本ほどの強い縦隆起条をそなえています。
130	日本館3F南翼	オオルリオサムシ		北海道地方	北海道		動物	昆虫	生息地		本種はアイヌキンオサムシと同様に地域的な体色の変異の多い、美しいオサムシですが、大型(26-35mm)で、頭部が細長いことで容易に区別できます。北海道の固有種ですが、道内各地に広く分布し、7つほどの亜種に分けられています。札幌周辺に生息する名義タイプ亜種は、前胸が金赤色、上翅が時に赤みを帯びる金緑色で、背面に断続的な隆起条をそなえています。
131	日本館3F南翼	ヒメウスバシロチョウ		北海道地方	北海道	利尻島	動物	昆虫	生息地/固有亜種		ヒメウスバシロチョウは、日本では北海道だけに分布している種です。北海道から本州・四国まで分布するウスバシロチョウによく似ていますが、体毛の色が違ってきます。幼虫の好きな植物も違っており、ヒメウスバシロチョウはおもにエゾエンゴサクを、ウスバシロチョウはおもにムラサキケマンを食べます。北海道では、その大半の地域ではヒメウスバシロチョウだけが見られ、ウスバシロチョウは南の一部でしか見られません。これは、幼虫が好む植物が生息している場所が違っているからと考えられています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
132	地球館B3F	鈴木章		北海道地方	北海道	むかわ町	理工	ノーベル賞	出生地	化学賞	鈴木 章氏(1930-)は、北海道の鶴川町(現在のむかわ町)に生まれ、高校時代までを過ごしました。少年時代は魚釣りをしたり、軟式野球をしたりして自由にはつらつと過ごしたと述べています。旧鶴川町の小学校に通いましたが、当時は中学(途中で学制改革のため高校に)がなかったため、鶴川駅から現在のJR日高本線で苫小牧まで通ったといいます。
133	地球館B2F	ダナイト		北海道地方	北海道	郡様似町	地学	鉱物	採取地		
134	地球館B2F	藍閃石		北海道地方	北海道	旭川市	地学	鉱物	採取地		
135	地球館B2F	自然白金(砂白金)		北海道地方	北海道	深川市	地学	鉱物	採取地		
136	地球館B2F	重要な石材だった黒曜石		北海道地方	北海道	紋別郡白滝村	地学	鉱物	採取地		
137	地球館B2F	置戸安住遺跡出土の石器(石刃石核、石刃彫器、槍先型尖頭器)		北海道地方	北海道	常呂郡置戸町	人類	石器	出土場所		「当時の北海道は別世界」とも言われるほど、旧石器時代の北海道では、形が整った美しい多様な石器が量産されました。
138	地球館B2F	針鉄鉱		北海道地方	北海道	白老郡白老町白老鉱山	地学	鉱物	採取地		
139	地球館B2F/日本館3F南翼	自然オスミウム(イリドスミン)		北海道地方	北海道	沙流郡平取町	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
140	地球館B2F/日本館3F南翼	自然金(砂金)		北海道地方	北海道	深川市鷹泊	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・福島県)	提供者: 櫻井欽一氏



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
141	地球館B2F/日本館3F南翼	自然銀		北海道地方	北海道	札幌市豊羽鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 山本昌男氏
142	地球館B2F/日本館3F南翼	硫砒銅鉱		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
143	地球館B2F/日本館3F南翼	安四面銅鉱		北海道地方	北海道	札幌市手稲鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・愛媛県)	提供者: 櫻井欽一氏
144	地球館B2F/日本館3F南翼	辰砂		北海道地方	北海道	北見市イトムカ鉱山/置戸町旭鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・奈良県)	提供者: 櫻井欽一氏
145	地球館B2F/日本館3F南翼	自然硫黄		北海道地方	北海道	知床硫黄山/蘭越町湯本温泉大湯沼	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・群馬県)	提供者: 櫻井欽一氏
146	地球館B2F/日本館3F南翼	菱マンガン鉱		北海道地方	北海道	余市郡仁木町大江鉱山/留萌郡古平町稲倉石鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県)	提供者: 櫻井欽一氏
147	地球館B2F	自然銅		北海道地方	北海道	静内町(現)日高郡ひだか町	地学	鉱物	採取地		
148	地球館1F	マリモ		北海道地方	北海道	阿寒湖	植物	菌類・藻類	植生地域・特別天然記念物		緑藻の1種です。国内では近畿以北に分布し、北海道阿寒湖に生育するマリモ(毬藻)はその名の通り美しい球状体になるので、1952(昭和27)年に国の特別天然記念物に指定されました。北半球に広く分布しますが、近年の研究で阿寒湖の藻体が世界に拡がったことが分かっています。
149	地球館1F	湿原の風景		北海道地方	北海道	釧路湿原・サロベツ湿原(北海道)	植物	植物	展示再現の参考地域/天然記念物		日本の湿原の面積ベスト5はすべて北海道にあります。第1位の釧路湿原と第4位のサロベツ原野は、その成立過程は少しずつ異なるものの、平坦で広大な土地があり気温が低いという、湿原が成立するのに適した条件を兼ね備えています。2つの湿原は、鳥や水生植物をはじめとした多様な生物を育む貴重な環境として、世界的に重要なラムサール条約湿地に登録されています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>青森県</b>											
150	日本館2F北翼	石槍		東北地方	青森県	是川遺跡(青森県八戸市)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(北海道・青森県)	縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。
151	日本館2F北翼	石鏃		東北地方	青森県	オセドウ貝塚(青森県五所川原市)	人類	石器	出土場所		縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。
152	日本館2F北翼	石匙		東北地方	青森県	是川遺跡(青森県八戸市)	人類	石器	出土場所		縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。
153	日本館2F北翼	土製耳飾(滑車形)		東北地方	青森県	亀ヶ岡貝塚(青森県つがる市)	人類	装飾品等	出土場所	出土場所に重複あり(青森県・茨城県・長野県)	縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。
154	日本館2F北翼	土製耳飾		東北地方	青森県	亀ヶ岡貝塚(青森県つがる市)	人類	装飾品等	出土場所	出土場所に重複あり(青森県・埼玉県)	縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。
155	日本館3F南翼	青森隕石		東北地方	青森県	青森市	理工	隕石	落下場所		青森隕石は1984年(昭和59年)6月30日午後1時50分頃、青森県青森市にある印刷所へ落下した隕石です。印刷所のご主人が2階で工作中、突然ボイラーが爆発したかと思うような音がして、驚いて外を調べたところ、屋根に張り出しているひさしに穴が開いているのを発見しました。隕石はひさしの上下に張られたトタン板と木の板を破り、十数個に割れて、2階の出窓や外の道路で発見されました。この隕石による火球や爆音はほとんど観測されませんでした。
156	日本館3F南翼	菱マンガン鉱		東北地方	青森県	西目屋村尾太鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県)	
157	日本館3F南翼	雄黄		東北地方	青森県	むつ市恐山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県)	提供者: 櫻井欽一氏

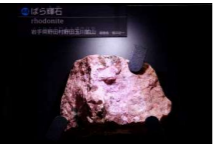









No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
158	日本館3F南翼	安四面銅鉱		東北地方	青森県	平内町茂浦鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・愛媛県)	提供者: 櫻井欽一氏
159	日本館3F南翼	黄鉄鉱		東北地方	青森県	中津軽郡西目屋村尾太鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・岩手県・長野県・大分県)	提供者: 藤縄源次郎氏
160	日本館3F南翼	津軽鉱		東北地方	青森県	平川市村湯ノ沢鉱山	地学	鉱物	採取地		
161	日本館3F南翼	ヨルダン鉱		東北地方	青森県	平川市村湯ノ沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
162	日本館3F南翼	重晶石		東北地方	青森県	平川市湯ノ沢鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県・石川県)	提供者: 櫻井欽一氏
163	日本館3F南翼	典型アロフェン黒ぼく土		東北地方	青森県	十和田市大字実瀬字藁	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県)	
164	地球館B2F	方鉛鉱		東北地方	青森県	中津軽郡尾太鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・秋田県・埼玉県・新潟県)	青森県の尾太鉱山は菱マンガン鉱や黄鉄鉱の美しい標本を産出し、標本市場では世界的な知名度があります。
<b>岩手県</b>											
165	地球館B2F	マンガン鉱石		東北地方	岩手県	九戸郡野田玉川鉱山	地学	鉱物	採取地		
166	地球館B2F	胆礬		東北地方	岩手県	和賀郡西和賀町土畑鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・兵庫県)	

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
167	地球館B2F/日本館3F南翼	赤鉄鉱		東北地方	岩手県	北上市和賀仙人鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
168	日本館2F北翼	東山型ナイフ形石器		東北地方	岩手県	和賀川水系遺跡群(岩手県)	人類	石器	出土場所		岩手県には、ここに示す頁岩製の石器のほか、旧石器時代の動物化石骨が多数発見されている花泉など、重要な遺跡があります。
169	日本館2F北翼	縄文時代後・晩期人男性		東北地方	岩手県	蝦島(貝島)貝塚(岩手県西磐井郡花泉町)	人類	人骨	出土場所		縄文時代、岩手県では御所野遺跡のような大規模集落が存在していました。また、内陸・海岸を問わず当時の貝塚も多数発見されており、中には蝦島(貝島)貝塚のように80体を超える人骨が発見された遺跡もあります。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB1/index.html</a>
170	日本館2F北翼	縄文時代晩期人男性		東北地方	岩手県	宮野貝塚(岩手県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代、岩手県では御所野遺跡のような大規模集落が存在していました。また、内陸・海岸を問わず当時の貝塚も多数発見されており、中には蝦島(貝島)貝塚のように80体を超える人骨が発見された遺跡もあります。
171	日本館2F北翼	縄文時代後・晩期人女性		東北地方	岩手県	蝦島(貝島)貝塚(岩手県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代、岩手県では御所野遺跡のような大規模集落が存在していました。また、内陸・海岸を問わず当時の貝塚も多数発見されており、中には蝦島(貝島)貝塚のように80体を超える人骨が発見された遺跡もあります。
172	日本館2F北翼	骨角器・燕形銚頭		東北地方	岩手県	大洞貝塚(岩手県大船渡市赤崎町)	人類	骨角器	出土場所		縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。
173	日本館2F北翼	骨角器・多鉤突具		東北地方	岩手県	大洞貝塚(岩手県大船渡市赤崎町)	人類	骨角器	出土場所		縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB2/index.html</a>
174	日本館2F北翼	骨角器・釣針(角製)		東北地方	岩手県	大洞貝塚(岩手県大船渡市赤崎町)/細浦貝塚(岩手県大船渡市末崎町)/瀬沢貝塚(岩手県陸前高田市小友町)	人類	骨角器	出土場所		縄文時代の北海道～北東北には、大規模な集落や祭祀遺跡があり、装飾性に富んだ土器、土偶、石器、骨角器など多様な文化遺物が生み出されました。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
175	日本館2F北翼	歯の違いを触ってみよう 縄文時代後・晩期人男性の上下顎		東北地方	岩手県	蝦島(貝島)貝塚(岩手県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代、岩手県では御所野遺跡のような大規模集落が存在していました。また、内陸・海岸を問わず当時の貝塚も多数発見されており、中には蝦島(貝島)貝塚のように80体を超える人骨が発見された遺跡もあります。
176	日本館2F北翼	縄文時代後・晩期人男性の左大腿骨・左脛骨		東北地方	岩手県	蝦島(貝島)貝塚(岩手県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代、岩手県では御所野遺跡のような大規模集落が存在していました。また、内陸・海岸を問わず当時の貝塚も多数発見されており、中には蝦島(貝島)貝塚のように80体を超える人骨が発見された遺跡もあります。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html</a>
177	日本館2F北翼	蹲踞面の認められる縄文時代人女性(?)の右脛骨・距骨		東北地方	岩手県	蝦島(貝島)貝塚(岩手県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代、岩手県では御所野遺跡のような大規模集落が存在していました。また、内陸・海岸を問わず当時の貝塚も多数発見されており、中には蝦島(貝島)貝塚のように80体を超える人骨が発見された遺跡もあります。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
178	日本館2F南翼	ハヤチネウスユキソウ		東北地方	岩手県	早池峰山	植物	植物	植生地域		岩手県の早池峰山(はやちねさん)特産の植物です。ヨーロッパのアルプス山脈のセイヨウウスユキソウ(別名:エーデルワイス)の仲間でも似ているため、「日本のエーデルワイス」ともいえる植物です。早池峰山は、かんらん岩や蛇紋岩(じゃもんがん)などの超塩基性岩の特殊な山で、「早池峰山および薬師岳の高山帯・森林植物群落」として、国の天然記念物にも指定されています。ナンブトラノオやナンブトウチソウなど固有の植物をたくさん見ることができます。
179	日本館3F北翼	モシリユウ		東北地方	岩手県	下閉伊郡岩泉町茂師	地学	化石	産地		(鳥類でない)恐竜として、(現在の)日本の領土から初めて発見・報告された標本です。岩手県の田野畑地域から宮古市にかけて分布する、前期白亜紀に海でできた地層である宮古層群から見つかりました。竜脚類恐竜の上腕骨(腕の骨)の一部であり、他の部分の骨は見つかっていません。一方で、この標本の年代は、同じ地層から発見されるアンモナイトなどの化石に基づいてよくわかっているため、世界の他の地域における発見と比較をする上で重要です。
180	日本館3F北翼	イソクリヌス(ウミユリ類)		東北地方	岩手県	下閉伊郡岩泉町茂師	地学	化石	産地		絶滅したウミユリの化石。岩手県・三陸海岸の今から約1億1500~1億1100万年前(中生代白亜紀前期)の浅い海でできた地層から見つかります。現在のウミユリは主に深海に生息していますが、この当時のウミユリは浅い海に生息していました。約1億年前に、魚など捕食者の増加が原因で、ウミユリは生息場を浅い海から深海に変えたと考えられています。
181	日本館3F北翼	プレトロゴニア(二枚貝類)		東北地方	岩手県	下閉伊郡田野畑村平井賀	地学	化石	産地		トリゴニア類は、三角形の厚い殻をもつ二枚貝で、水管をもたず、殻の後方が水管のように突出しています。ジュラ紀と白亜紀に繁栄し、世界中から産出するため、重要な示準化石の一つになっています。新生代には急に衰退し、わずかに数種がオーストラリア海域に生息しています。
182	日本館3F北翼	コンボウガキ(コンポストレア)		東北地方	岩手県	久慈市枝成沢	地学	化石	産地		世界的にも珍しい長さ1mにもなる細長いカキの化石です。岩手県や北海道の今から約8900万年前(中生代白亜紀後期)の地層から見つかります。このカキは、泥に埋まるのを防ぐために、上へ上へと成長して、窒息死を防いだと考えられています。細長い殻は、このカキが泥の中で生き延びるための工夫を示すものです。現在のカキは、親の殻の上に子供のカキが付着し、その殻の上で孫のカキが成長することによって、泥に埋まるのを防いでいます。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
183	日本館3F北翼	層状石灰岩		東北地方	岩手県	陸前高田市	地学	岩石	採取地		
184	日本館3F北翼	レプトフロエウム(シダ植物/ヒカゲノカズラ類)		東北地方	岩手県	一関市長坂	地学	化石	産地	産地に重複あり(岩手県・高知県)	日本列島はとても複雑な形成の歴史を持っています。一般に古い時代、特に古生代前期の地層はとて少なく、岩手県や宮城県、高知県をはじめとする、ごく限られた地域にだけ分布しています。展示のレプトフロエウムはデボン紀後期(約3億8000万年前)を特徴付ける植物で、これらの地域で特徴的に見つかります。
185	日本館3F北翼	太古の森から生まれた宝石-琥珀-		東北地方	岩手県	久慈市鳥谷・旧夏井鉱山	地学	鉱物	採集地		琥珀は植物の樹脂が地層の中で長く保存されてきた化石の一つです。世界各地のさまざまな地層から見つかりますが、いくつかの世界的に有名な産地があります。そのひとつに数えられる岩手県久慈市は、白亜紀と新生代の2つの時代から琥珀が見つかることでも知られています。琥珀には当時の生き物のさまざまな部分が含まれることがあり、久慈の琥珀からも最近、新しい種類の昆虫が見つかって世界的なニュースになりました。
186	日本館3F南翼	気仙隕石		東北地方	岩手県	陸前高田市気仙町長円寺境内	理工	隕石	落下場所		気仙隕石は、江戸時代末期の1850年(嘉永3年)6月13日に岩手県陸前高田市気仙町の長円寺境内に落下したものです。総重量が135kgあり、日本で最大の球粒隕石になります(展示資料は106kg:長円寺住職及び檀家一同寄贈)。Hグループ、岩石学タイプ4の球粒隕石に分類され、球粒が肉眼でもよく観察できます。(取り出した球粒1つをルーペで観察できるよう展示しています。)
187	日本館3F南翼	厚層多腐植質アロフェン黒ぼく土		東北地方	岩手県	九戸郡軽米町	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(岩手県・熊本県)	提供:岩手県農業研究センター県北農業研究所
188	日本館3F南翼	典型風化変質赤黄色土		東北地方	岩手県	北上市口内町金成	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(岩手県・愛知県)	
189	日本館3F南翼	クロリトイド片岩		東北地方	岩手県	気仙郡住田町	地学	岩石	採取地		
190	日本館3F南翼	南部石		東北地方	岩手県	九戸郡洋野町舟子沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者:櫻井欽一氏
191	日本館3F南翼	萬次郎鉱		東北地方	岩手県	九戸郡軽米町小晴鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者:櫻井欽一氏
192	日本館3F南翼	吉村石		東北地方	岩手県	九戸郡野田村野田玉川鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者:櫻井欽一氏

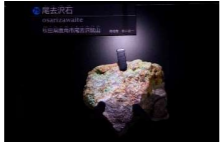
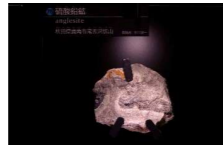








No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
193	日本館3F南翼	ばら輝石		東北地方	岩手県	九戸郡野田村野田玉川鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・栃木県・滋賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
194	日本館3F南翼	緑マンガン鉱		東北地方	岩手県	九戸郡野田村野田玉川鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 渡辺武男氏
195	日本館3F南翼	木下雲母		東北地方	岩手県	九戸郡野田村野田玉川鉱山	地学	鉱物	採取地		
196	日本館3F南翼	ソーダ南部石		東北地方	岩手県	下閉伊郡田野畑村田野畑鉱山	地学	鉱物	採取地		
197	日本館3F南翼	セラノ石		東北地方	岩手県	下閉伊郡田野畑村田野畑鉱山	地学	鉱物	採取地		
198	日本館3F南翼	鈴木石		東北地方	岩手県	下閉伊郡田野畑村田野畑鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・群馬県)	
199	日本館3F南翼	神津閃石		東北地方	岩手県	下閉伊郡田野畑村田野畑鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 凡地学社
200	日本館3F南翼	チタン鉄鉱		東北地方	岩手県	下閉伊郡田野畑村寺地	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・大阪府)	提供者: 櫻井欽一氏
201	日本館3F南翼	小藤石		東北地方	岩手県	宮古市根市鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 渡辺武男氏
202	日本館3F南翼	頑火輝石		東北地方	岩手県	川井村道又 (現)宮古市川井	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏









No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
203	日本館3F南翼	モルデン沸石		東北地方	岩手県	八幡平市赤坂田	地学	鉱物	採取地		
204	日本館3F南翼	磁鉄鉱		東北地方	岩手県	釜石市釜石鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・岡山県・福岡県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一
205	日本館3F南翼	リチア電気石		東北地方	岩手県	大船渡市崎浜	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・茨城県・福岡県)	提供者: 櫻井欽一氏 リチア電気石は宝石にもなるトルマリンの仲間で、日本では産出が少ないですが、岩手県の崎浜では宝石級の標本を産出しました。
206	日本館3F南翼	黄鉄鉱		東北地方	岩手県	北上市和賀仙人鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・岩手県・長野県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
207	日本館3F南翼	胆礬		東北地方	岩手県	和賀郡西和賀町土畑鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏
208	日本館3F南翼	硬緑泥石		東北地方	岩手県	気仙郡住田町奥火ノ土	地学	鉱物	採取地		
209	日本館3F南翼	コランダム		東北地方	岩手県	一関市奥田	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・新潟県・広島県)	
<b>宮城県</b>											
210	日本館2F北翼	ササニシキ		東北地方	宮城県		人類	稲	栽培地域		資料提供: 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構作物研究所
211	日本館3F北翼	ウタツサウルス		東北地方	宮城県	石巻市雄勝町	地学	化石	産地		宮城県の南三陸地域に分布する、前期三畳紀に海でできた地層である大沢層から発見されました。魚鱗類の中では、世界で最古の種の一つです。化石化の過程で平たく潰れてしまっていますが、ほぼ全身の骨格が保存されている貴重な標本です。前期三畳紀は、ペルム紀末に起きた生命の歴史上最大の絶滅イベントの後の、生態系の回復プロセスを考える上で重要な時代です。そのためウタツサウルスなど大沢層から発見される化石は今でも盛んに研究されています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
212	日本館3F南翼	富谷隕石		東北地方	宮城県	黒川郡富谷町	理工	隕石	落下場所		富谷隕石は1984年(昭和59年)8月22日午後1時35分頃、宮城県黒川郡富谷町の住宅街に落下した隕石です。発見者が居間でテレビを見ていたところ、外でパチッという激しい音が聞こえたので外を見ると、濡れ縁に干してあった洗濯物の上に黒い小さな石がサッと落ちてきたそうです(富谷隕石1号19.2g)。さらにあたりを見回すとなみ隣の家の物置の上にも黒い石を発見しました(富谷隕石2号8.3g)。
213	日本館3F南翼	石英(紫水晶)		東北地方	宮城県	白石市雨塚山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・秋田県・栃木県・石川県)	提供者: 櫻井欽一氏 紫水晶は日本各地で少量が産出したが、宮城県雨塚山のものは特に美しく、有名です。
214	日本館3F南翼	オオセンチコガネ(宮城県産)		東北地方	宮城県		動物	昆虫	特有性のある生息地		オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。宮城県内では、金華山が有名な産地であり、このオオセンチコガネは金赤色が強く、中央部が紫色になるものも交じっています。
215	日本館3F南翼	自然金		東北地方	宮城県	気仙沼市本吉町大谷鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・埼玉県・岐阜県・兵庫県)	提供者: 藤縄源次郎氏
216	日本館3F南翼	硫テルル蒼鉛鉱		東北地方	宮城県	気仙沼市本吉町大谷鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
217	日本館3F南翼	厚層多腐植質非アロフェン黒ぼく土		東北地方	宮城県	大崎市鳴子温泉	植物	土壌	採取地		提供: 東北大学附属複合生態フィールド教育研究センター
218	地球館B2F	ミケリニア		東北地方	宮城県	気仙沼市上八瀬	地学	鉱物	採集地		絶滅したサンゴの化石。宮城県気仙沼市の今から約2億8000万年前(古生代ペルム紀)の地層から見つかります。化石の表面が、蛇のウロコのように見えることから「蛇体石」の愛称で呼ばれています。
<b>秋田県</b>											
220	日本館2F北翼	秋田犬(ハチ)		東北地方	秋田県	大館市	動物	哺乳類	出生地		秋田県大館市で1923年11月10日に誕生しました。翌年一月に東京帝国大学教授の上野英三郎によって渋谷で飼育されることとなりました。時には渋谷駅まで上野教授を見送ったといわれますが、その翌年上野教授は死去、その後飼い主を転々としませんが、渋谷駅で飼い主の帰りを待ち続けたといわれます。この様子が新聞記事となって、「ハチ公」と呼ばれるようになりました。1935年3月8日に路上で死亡しているのが発見されました。
221	日本館2F南翼	オガアザミ		東北地方	秋田県	男鹿山地	植物	植物	植生地域		






No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
222	日本館3F北翼	チュウシンフウ(被子植物/双子葉類)		東北地方	秋田県	北秋田市	地学	化石	産地		
223	日本館3F北翼	ナウマンヤマモモ(被子植物/双子葉類)		東北地方	秋田県	北秋田市	地学	化石	産地		現在の北秋田市に含まれる阿仁地域には、新生代中頃の中新世の地層がよく発達していて、日本の地層や化石研究の基準のひとつになっていました。展示のチュウシンフウとナウマンヤマモモは、ちょうどこの時代を特徴付ける植物で、各地の同じ時代の地層から見つかることから、地層の対比にも使われました。
224	日本館3F南翼	仙北隕石		東北地方	秋田県	仙北郡仙北町(現在の 大仙市)	理工	隕石	落下場所		仙北隕石は秋田県仙北郡仙北町(現在は大仙市)の旧家の神棚に100年以上前から安置されていたもので、1993年に当館に同定依頼があり知られるようになりました。家の裏を流れる丸子川の河原の栗林の中に落下したと伝えられています。白岩隕石と落下地点が近いのですが、熱変性度や宇宙線照射年代が異なるため別々の隕石であると考えられます。
225	日本館3F南翼	レールゾライト		東北地方	秋田県	一ノ目湯	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県)	レールゾライトとはかんらん岩の1種で、マントルを構成する岩石です。採取地の一つである一ノ目湯は、各種捕獲岩を含むことで有名です。特に、マントルを構成するかんらん岩が有名です。なお、目湯はマール(爆裂火口)と呼ばれる火山噴火様式でできました。
226	日本館3F南翼	硬質頁岩		東北地方	秋田県	河辺	地学	岩石	採取地		秋田県の「県の石(岩石)」に指定されています。「珪質頁岩」とも呼ばれます。固く、一方向に割れやすいことから石器にも使われていました。日本海沿岸の油田の石油根源岩でもあります。
227	日本館3F南翼	毒重土石		東北地方	秋田県	八峰町発盛鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
228	日本館3F南翼	閃亜鉛鉱		東北地方	秋田県	北秋田市阿仁鉱山/北秋 田市佐山鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県・埼玉県・新潟 県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
229	日本館3F南翼	硬石膏		東北地方	秋田県	大館市花岡鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
230	日本館3F南翼	方解石		東北地方	秋田県	鹿角市不老倉鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田 県・栃木県・新潟県・岐阜 県・滋賀県・鹿児島県)	提供者: 櫻井欽一氏









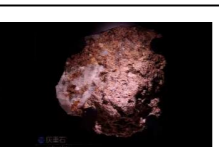

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
231	日本館3F南翼	尾去沢石		東北地方	秋田県	鹿角市尾去沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
232	日本館3F南翼	硫酸鉛鉱		東北地方	秋田県	鹿角市尾去沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
233	日本館3F南翼	菱マンガン鉱		東北地方	秋田県	鹿角市尾去沢鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県)	提供者: 櫻井欽一氏
234	日本館3F南翼	阿仁鉱		東北地方	秋田県	北秋田市阿仁鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
235	日本館3F南翼	重晶石		東北地方	秋田県	仙北市玉川温泉	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県・石川県)	提供者: 櫻井欽一氏
236	日本館3F南翼	ベゼリ石		東北地方	秋田県	大仙市日三市鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・滋賀県)	提供者: 藤縄源次郎氏
237	日本館3F南翼	白鉛鉱		東北地方	秋田県	大仙市亀山盛鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
238	日本館3F南翼	雑銀鉱		東北地方	秋田県	雄勝町院内鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
239	日本館3F南翼	神岡隕石		東北地方	秋田県	仙北郡神岡町(現在の 大仙市)	理工	隕石	落下場所		神岡隕石は秋田県仙北郡神岡町(現在は大仙市)に落下した隕石です。重さは約30グラムで、落下当時の地主であった小西家の掛け軸の箱の中に保管されていました。小作人が落下した隕石を拾い、当主の妻に渡したとのことです。落下年をはっきりしませんが、彼女は1921年頃に結婚し、1949年に亡くなっているため、この間と推定されます。隕石は2002年に国立極地研究所に持ち込まれ、分析の結果、Hグループの普通球粒隕石で岩石学タイプは4と分類されました。
240	地球館B2F	石英(紫水晶)		東北地方	秋田県	荒川鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・秋田県・栃木県・石川県)	


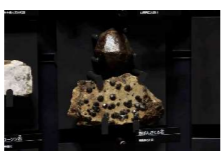

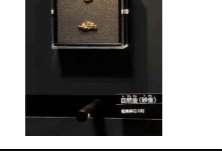

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
241	地球館B2F	脆銀鉱		東北地方	秋田県	院内鉱山	地学	鉱物	採取地		
242	地球館B2F	鉛亜鉛鉱石(黒鉱)		東北地方	秋田県	小坂町小坂鉱山	地学	鉱物	採取地		東北地方の日本海側には「黒鉱」とよばれる鉱床が多数点在し、特に秋田県には有名な大鉱山が複数ありました。それらの鉱山は全て閉山しましたが、一つの鉱床タイプとしてKurokoは世界で通用する用語となりました。
243	地球館B2F	銅鉱石(黄鉱)		東北地方	秋田県	小坂町小坂鉱山	地学	鉱物	採取地		
244	地球館B2F	銅鉱石(熱水鉱脈鉱床)		東北地方	秋田県	宮田又鉱山	地学	鉱物	採取地		
245	地球館B2F/日本館3F南翼	黄銅鉱		東北地方	秋田県	大仙市荒川鉱山/大館市松峰鉱山/北秋田市阿仁鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・茨城県・栃木県・埼玉県・三重県・愛媛県)	提供: 同和鉱業/櫻井欽一氏
246	地球館B2F/日本館3F南翼	方鉛鉱		東北地方	秋田県	藤里町太良鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・秋田県・埼玉県・新潟県)	提供: 同和鉱業/櫻井欽一氏
247	地球館B2F/日本館3F南翼	自然銅		東北地方	秋田県	大仙市荒川鉱山	地学	鉱物	採取地		提供: 櫻井欽一氏
248	地球館B2F/日本館3F南翼	赤銅鉱		東北地方	秋田県	日三市鉱山/大仙市荒川鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏/寄贈: 藤縄源次郎氏










No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
249	地球館B2F/日本館3F南翼	孔雀石		東北地方	秋田県	荒川鉱山/北秋田市阿仁鉱山/大仙市日三市鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
250	地球館B2F/日本館3F南翼	石膏		東北地方	秋田県	大館市花岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・福島県)	提供者: 櫻井欽一氏
251	地球館B2F/日本館3F南翼	青鉛鉱		東北地方	秋田県	荒川鉱山/大仙市日三市鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
<b>山形県</b>											
252	日本館3F北翼	コンプトニアの類		東北地方	山形県	東置賜郡川西町	地学	化石	産地		ヤマモモ科に属するコンプトニア属は現在北米東部に1属1種が自生する植物ですが、日本でも長い歴史があります。その中でもキドコンプトニアとも呼ばれる本種は最も新しい種で、東北地方南部でだけ発見されています。
253	日本館3F南翼	天童隕鉄		東北地方	山形県	天童市貫津	理工	隕石	発見場所		天童隕鉄は1910年(明治43年)頃、山形県天童市貫津の山中で発見された隕石です。枯れた松の根を掘り返した時にその下から発見されたとのこと。その後、発見者から購入した個人宅にずっと保管されてきましたが、1977年に大火球が見られたのをきっかけに、知られるようになりました。長期間、土中にあつたため、表面はかなり風化が進んでいますが、内部はきれいなウイドマンシュテッテン構造が見られ、オクタヘドライトに分類される鉄隕石です。
254	日本館3F南翼	マイマイカブリ(山形県産)		東北地方	山形県	粟島	動物	昆虫	特有性のある生息地		マイマイカブリは日本固有の大型オサムシ(体長31-67mm)で、地表面を徘徊して、カタツムリなどの小動物を捕食します。地域的に体色や体形の大きな変化があり、同じ地域内でも体長の個体変異があります。東北地方北部のマイマイカブリはやや小型で、前胸は金赤色で光沢が強く、上翅は金緑色～黒色で変異が大きく、先端はあまり強くかかりません。
255	日本館3F南翼	方沸石		東北地方	山形県	鶴岡市五十川	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 火山岩の隙間などに産出する沸石の仲間は種類が多く、各地で産出するが、なかでも五十川は古くから知られた産地です。
256	日本館3F南翼	ニホンカモシカ		東北地方	山形県		動物	哺乳類	県の獣(カモシカの記載あり)		本州・四国・九州に分布する日本固有種です。わが国の大型哺乳類として代表的な動物です。山地性で岩山などに好んで生息します。国の特別天然記念物に指定されていますが、近年中部地方などでは個体数が増加しており、有害獣として駆除も行われています。
257	地球館1F	オンドリ		東北地方	山形県		動物	鳥類	県の鳥		繁殖期の雄が目立つ橙色のカモです。銀杏羽と呼ばれる橙色の飾り羽根が特に目立ちます。雌は地味な灰色です。日本とその周辺の極東域でのみ繁殖し、山間の溪流や池などに住んでいます。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>福島県</b>											
258	日本館3F北翼	フタバズキリュウ全身骨格/鎖骨・間鎖骨/右上腕骨/頭骨/左後肢/産状		東北地方	福島県	いわき市大久町	地学	化石	産地		
259	日本館3F北翼	サメの歯		東北地方	福島県	いわき市大久町	地学	化石	産地		日本を代表する化石爬虫類であるフタバズキリュウですが、その骨格化石の傍からは多くのサメの歯の化石も見つかっています。その中には、フタバズキリュウの骨格の一部に突き刺さった状態で見つかったものもあります。化石の生物が何を食べていたかについての情報は、生態系の構造を知るために重要ですが、この標本はそれを確実に示す証拠として、貴重なものです。
260	日本館3F南翼	石膏		東北地方	福島県	喜多方市与内畑鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・福島県)	提供者: 櫻井欽一氏
261	日本館3F南翼	褐簾石		東北地方	福島県	川俣町水晶山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・三重県)	提供者: 櫻井欽一氏
262	日本館3F南翼	飯盛石		東北地方	福島県	川俣町房又	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
263	日本館3F南翼	フェルグソン石		東北地方	福島県	川俣町房又	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
264	日本館3F南翼	鉄電気石		東北地方	福島県	石川町和久	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・山梨県)	提供者: 櫻井欽一氏
265	日本館3F南翼	緑柱石		東北地方	福島県	石川町塩平	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県・岐阜県・滋賀県・佐賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
266	日本館3F南翼	鉄礬石榴石		東北地方	福島県	石川町塩沢	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県)	提供者: 櫻井欽一氏
267	日本館3F南翼	モナズ石		東北地方	福島県	石川町塩沢	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏






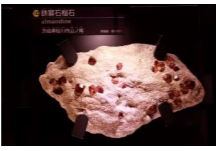



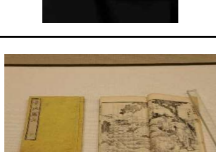
No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
268	日本館3F南翼	ゼノタイム		東北地方	福島県	石川町塩沢	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
269	日本館3F南翼	垂鉛スピネル		東北地方	福島県	石川町塩沢	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
270	日本館3F南翼	白雲母		東北地方	福島県	石川町和久	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
271	日本館3F南翼	チタン石		東北地方	福島県	石川町王子平	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
272	日本館3F南翼	苦土電気石		東北地方	福島県	石川町北山形	地学	鉱物	採取地		提供者: 飯島栄一氏
273	日本館3F南翼	灰礬石榴石		東北地方	福島県	石川町双里	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
274	日本館3F南翼	鉄コロンブ石		東北地方	福島県	玉川村川辺	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
275	日本館3F南翼	角銀鉱		東北地方	福島県	郡山市高玉鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
276	日本館3F南翼	灰重石		東北地方	福島県	鮫川村発地岡	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・長野県・京都府)	
277	日本館3F南翼	バビントン石		東北地方	福島県	いわき市八基鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏





No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
278	日本館3F南翼	磐城鉱		東北地方	福島県	いわき市御斎所鉱山	地学	鉱物	採取地		
279	日本館3F南翼	マンガンベルツェリウス石		東北地方	福島県	いわき市御斎所鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 高岡一善氏
280	日本館3F南翼	オパール(蛋白石)		東北地方	福島県	西会津町宝坂	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・富山県)	提供者: 櫻井欽一氏
281	地球館B2F	鉄ばんざくろ石		東北地方	福島県	石川町	地学	鉱物	採取地		福島県石川町は日本の三大巨晶花崗岩(ペグマタイト)産地として知られ、石榴石や緑柱石(アクアマリン)、鉄電気石(トルマリン)などのほか、希土類元素を含む珍しい鉱物を多産しました。
282	地球館B2F	微斜長石		東北地方	福島県	石川町	地学	鉱物	採取地		
283	地球館B2F	灰鉄輝石		東北地方	福島県	八茎鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・岐阜県)	
284	地球館B2F/日本館3F南翼	自然金(砂金)		東北地方	福島県	石川町	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・福島県)	
285	地球館B2F/日本館3F南翼	紅柱石		東北地方	福島県	石川町/須賀川市狸森	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・長野県)	提供者: 櫻井欽一氏
286	地球館1F/日本館2F北翼	ニホンオオカミ		東北地方	福島県		動物	哺乳類	日本固有種		日本では絶滅した種です。日本で最後の標本は1905年にイギリスから派遣されたマルコム・アンダーソンが奈良県の狛師から購入したものです。しかしそれ以前まで各地でわずかながら生き残っていたようです。展示標本は幕末頃に現在の福島県で採集されたものと伝えられます。詳しい採集情報はありません。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>茨城県</b>											
287	日本館2F北翼	磨製石斧		関東地方	茨城県	筑波郡	人類	石器	出土場所		所蔵: 東京大学総合研究博物館
288	日本館2F北翼	軽石製有孔石器		関東地方	茨城県	椎塚遺跡(茨城県)	人類	石器	出土場所		所蔵: 東京大学総合研究博物館
289	日本館2F北翼	土製耳飾(滑車形)		関東地方	茨城県	結城市	人類	装飾品等	出土場所	出土場所に重複あり(青森県・茨城県・長野県)	所蔵: 東京大学総合研究博物館
290	日本館2F北翼	耳飾の表現されている土偶		関東地方	茨城県	稲敷郡	人類	装飾品等	出土場所		所蔵: 東京大学総合研究博物館
291	日本館2F北翼	顔の違いを比べてみよう 縄文人		関東地方	茨城県	若海貝塚(茨城県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代前期以降、茨城県の霞ヶ浦は「古鬼怒湾」と呼ばれる入り江であり、その周辺には多くの貝塚が分布していました。丸木舟の出土例も多く、当時から丸木舟を使った交易が盛んに行われていた、と考えられています。
292	日本館2F北翼	虫歯・歯槽膿漏の顕著な縄文人男性の下顎骨		関東地方	茨城県	若海貝塚(茨城県)	人類	石器	出土場所		縄文時代前期以降、茨城県の霞ヶ浦は「古鬼怒湾」と呼ばれる入り江であり、その周辺には多くの貝塚が分布していました。丸木舟の出土例も多く、当時から丸木舟を使った交易が盛んに行われていた、と考えられています。
293	日本館2F北翼	変形性関節症が認められる縄文時代人の右大腿骨・脛骨		関東地方	茨城県	若海貝塚(茨城県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代前期以降、茨城県の霞ヶ浦は「古鬼怒湾」と呼ばれる入り江であり、その周辺には多くの貝塚が分布していました。丸木舟の出土例も多く、当時から丸木舟を使った交易が盛んに行われていた、と考えられています。











No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
294	日本館3F南翼	神大実隕石		関東地方	茨城県	猿島郡神大実村 (現在の坂東市)	理工	隕石	落下場所		神大実隕石は大正時代の初め(おそらく1913年から1916年の間)の春の彼岸の頃、茨城県猿島郡神大実村(現在の坂東市)に落下したと伝えられる隕石で、1970年に当館に同定を依頼されて知られるようになりました。農作業をしていた午後3時頃、晴天の中、南の空から帯のような黒い煙を引いて飛来し、大音響と共に水田に落下しました。地中60cm程度から掘り出され、硫黄のような臭いがしたとのこと。
295	日本館3F南翼	つくば隕石		関東地方	茨城県	つくば市を中心に牛久市、土浦市、稲敷郡茎崎町	理工	隕石	落下場所		つくば隕石は1996年(平成8年)1月7日午後4時20分頃、茨城県つくば市を中心に牛久市、土浦市、稲敷郡茎崎町(現在はつくば市)に隕石雨となって多数の破片を降らせた隕石です。一辺が約10kmの三角形の範囲の23カ所から合計約800gの隕石が回収されました。隕石は南西から北東に向かって落ちましたが、小さな破片が風により南東に流されて三角形の分布になったと考えられます。隕石火球は350km離れた東海や東北地方でも目撃され、写真も撮られています。また、火球の経路下では衝撃波により屋根や戸が大きく震えたとのこと。
296	日本館3F南翼	石英		関東地方	茨城県	常陸大宮市北富田	地学	鉱物	採取地		
297	日本館3F南翼	典型褐色沖積土(褐色低地土)		関東地方	茨城県	水戸市下国井町	植物	土壌	採取地		
298	日本館3F南翼	典型グライ沖積土(グライ低地土)		関東地方	茨城県	東茨城郡大洗町神山町	植物	土壌	採取地		
299	日本館3F南翼	典型灰色沖積土(灰色低地土)		関東地方	茨城県	常総市東町	植物	土壌	採取地		
300	日本館3F南翼	球状花崗閃緑岩		関東地方	茨城県	筑波山地	地学	岩石	採取地		
301	日本館3F南翼	リチア雲母		関東地方	茨城県	常陸太田市妙見山	地学	鉱物	採取地		
302	日本館3F南翼	リチア電気石		関東地方	茨城県	常陸太田市妙見山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・茨城県・福岡県)	提供者: 櫻井欽一氏










No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
303	日本館3F南翼	モンブラ石		関東地方	茨城県	常陸太田市妙見山	地学	鉱物	採取地		
304	日本館3F南翼	リチア輝石		関東地方	茨城県	常陸太田市妙見山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
305	日本館3F南翼	黄銅鉱(キースラーガー)		関東地方	茨城県	日立市日立鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・茨城県・栃木県・埼玉県・三重県・愛媛県)	提供者: 櫻井欽一氏
306	日本館3F南翼	堇青石		関東地方	茨城県	日立市日立鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(茨城県・長野県)	提供者: 櫻井欽一氏
307	日本館3F南翼	錫石		関東地方	茨城県	城里町高取鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
308	日本館3F南翼	鉄礬石榴石		関東地方	茨城県	桜川市山ノ尾	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県)	提供者: 櫻井欽一氏
309	日本館3F南翼	緑柱石		関東地方	茨城県	桜川市山ノ尾	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県・岐阜県・滋賀県・佐賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
310	日本館3F南翼	トリフィル石		関東地方	茨城県	かすみがうら市雪入	地学	鉱物	採取地		雪入の花崗岩採石場では、日本で唯一のリン酸塩ペグマタイトが見つかり、珍しいリン酸塩鉱物を多産しました。
311	地球館B2F/日本館3F南翼	鉄重石		関東地方	茨城県	城里町高取鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(茨城県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏
312	地球館2F	測量方法や測量器具の解説書 量地図説(全2巻)		関東地方	茨城県		理工	著作者の出生地	著作者の出身地(常陸笠間藩士甲斐広永)		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>栃木県</b>											
313	日本館3F北翼/ 地球館B2F	ミズメ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
314	日本館3F北翼	オノオレカンバ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
315	日本館3F北翼	ケヤマハンノキ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
316	日本館3F北翼	ミズナラ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
317	日本館3F北翼	イヌブナ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
318	日本館3F北翼	ブナ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地	産地に重複あり(栃木県・東京都)	
319	日本館3F北翼	クリ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
320	日本館3F北翼	カツラ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
321	日本館3F北翼	ヤマザクラ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		木の葉が湖の底に積もってきた塩原の「木の葉石」は、日本が世界に誇る化石鉱脈の一つです。その存在は古くから知られていたようで、日本各地の新生代植物が初めて報告されたNathorst (1888)を皮切りに、さまざまな研究者によって調べられてきました。現在までに報告された植物は171種で、そのすべてが現生種だと言われています。
322	日本館3F北翼	ホザキノフサモ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
323	日本館3F北翼	アズマシヤクナゲ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
324	日本館3F北翼	ムシカリ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
325	日本館3F北翼	ナナカマド		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
326	日本館3F北翼	ウリハダカエデ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
327	日本館3F北翼	イタヤカエデ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
328	日本館3F北翼	カジカエデ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		









No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
329	日本館3F北翼	シナノキ		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		
330	日本館3F南翼	方解石		関東地方	栃木県	日光市足尾銅山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・栃木県・新潟県・岐阜県・滋賀県・鹿児島県)	
331	日本館3F南翼	石灰岩		関東地方	栃木県	葛生	地学	岩石	採集地	採取地に重複あり(栃木県・岐阜県)	断面に美しい模様のある石灰岩として知られています。模様を構成するお米のような粒はフズリナです。フズリナは2億5千万年前に絶滅してしまいましたが、炭酸カルシウムの殻をもつ単細胞の生き物で準化石として使われています。
332	日本館3F南翼	淡紅銀鉱		関東地方	栃木県	日光市西沢鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・新潟県)	提供者: 櫻井欽一氏
333	日本館3F南翼	マチルダ鉱		関東地方	栃木県	日光市西沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
334	日本館3F南翼	斜開銅鉱		関東地方	栃木県	塩谷町日光鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・広島県)	提供者: 原田明氏
335	日本館3F南翼	フッ素燐灰石		関東地方	栃木県	日光市足尾銅山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・山梨県)	提供者: 櫻井欽一氏
336	日本館3F南翼	磁硫鉄鉱		関東地方	栃木県	日光市足尾銅山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
337	日本館3F南翼	石英(紫水晶)		関東地方	栃木県	日光市足尾銅山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・秋田県・栃木県・石川県)	
338	日本館3F南翼	黄銅鉱		関東地方	栃木県	日光市足尾銅山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・茨城県・栃木県・埼玉県・三重県・愛媛県)	提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
339	日本館3F南翼	輝蒼鉛鉱		関東地方	栃木県	日光市足尾鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
340	日本館3F南翼	ラドラム鉄鉱		関東地方	栃木県	日光市足尾鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 銅山として有名な足尾銅山は、脈石の一部にリン酸塩鉱物が含まれ、中でもこのラドラム鉄鉱は日本随一の標本を産出しました。
341	日本館3F南翼	マンガンパイロスマライト		関東地方	栃木県	日光市久良沢鉱山	地学	鉱物	採取地		
342	日本館3F南翼	ばら輝石		関東地方	栃木県	鹿沼市鷹ノ巣鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・栃木県・滋賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
343	日本館3F南翼	神保石		関東地方	栃木県	鹿沼市加蘇鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
344	日本館3F南翼	バスタム石		関東地方	栃木県	鹿沼市鹿入鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
345	日本館3F南翼	パイロックスマンガン石		関東地方	栃木県	鹿沼市日瓢鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・愛知県)	
346	日本館3F南翼	プロト鉄末野閃石		関東地方	栃木県	鹿沼市日瓢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
347	地球館B2F	縞々珪藻土		関東地方	栃木県	塩原市中塩原町	地学	鉱物	採集地		約30万年前に栃木県那須塩原市にあった湖の底に、微小な植物プランクトン(珪藻)と泥粒からなる明色と暗色の薄い層が1年ごとにたまりました。当時のこの地域の気候や環境を詳細に記録しています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
348	地球館B2F	リチオフォル石		関東地方	栃木県	足利市	地学	鉱物	採取地		
349	地球館B2F	フズリナ石灰岩		関東地方	栃木県	葛生町	地学	化石	産地	産地に重複あり(岩手県・栃木県)	断面に美しい模様のある石灰岩として知られています。模様を構成するお米のような粒はフズリナです。フズリナは2億5千万年前に絶滅してしまいましたが、炭酸カルシウムの殻をもつ単細胞の生き物で示準化石として使われています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/chikyuu_con/B2/07/002805@lang=jpn.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/chikyuu_con/B2/07/002805@lang=jpn.html</a>
350	地球館B2F/日本館3F南翼	トルコ石		関東地方	栃木県	今市市/日光市猪倉	地学	鉱物	採取地		
351	地球館1F	さまざまな被子植物 -塩原湖成層の化石-		関東地方	栃木県	那須塩原市	地学	化石	産地		木の葉が湖の底に積もってできた塩原の「木の葉石」は、日本が世界に誇る化石鉱脈の一つです。その存在は古くから知られていたようで、日本各地の新生代植物が初めて報告されたNathorst (1888)を皮切りに、さまざまな研究者によって調べられてきました。現在までに報告された植物は171種で、そのすべてが現生種だと言われています。
<b>群馬県</b>											
352	日本館2F北翼	カオジロガビチョウ		関東地方	群馬県		動物	鳥類	生息地		原産地は中国南部からインドシナ半島ですが、ペット用に輸入されたものが野生化し、外来生物法で特定外来生物に指定されました。群馬県赤城山で1994年以降見られるようになり、現在は茨城県や千葉県など周辺にも分布を広げています。全長23cm程度でヒヨドリと同サイズで、よく地面に下りて虫を食べているので、地上性ツグミ類など来種との競合が心配されています。
353	日本館3F北翼	緑色岩		関東地方	群馬県	下仁田町	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(群馬県・三重県)	
354	日本館3F南翼	長島石		関東地方	群馬県	桐生市茂倉沢鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 高橋春雄氏
355	日本館3F南翼	鈴木石		関東地方	群馬県	桐生市茂倉沢鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・群馬県)	
356	日本館3F南翼	自然硫黄		関東地方	群馬県	草津町草津鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・群馬県)	提供者: 櫻井欽一氏



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
357	日本館3F南翼	鶏冠石		関東地方	群馬県	下仁田町西ノ牧鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
358	日本館3F南翼	若林鉱		関東地方	群馬県	下仁田町西ノ牧鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
359	日本館3F南翼	紅簾石		関東地方	群馬県	藤岡市三波川流域	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(群馬県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
<b>埼玉県</b>											
360	日本館2F北翼	縄文時代早期人男性		関東地方	埼玉県	妙音寺洞穴(埼玉県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代早期に属する人骨は全国でも少数しか発見されていません。埼玉県の妙音寺洞穴遺跡から出土したこの人骨は最も保存状況が良好な縄文時代早期人の一体で、全身の骨がほぼ完全な状態で残っています。
361	日本館2F北翼	打製石斧		関東地方	埼玉県	秩父郡	人類	石器	出土場所		
362	日本館2F北翼	石器・磨製錘		関東地方	埼玉県	岩槻市	人類	石器	出土場所		
363	日本館2F北翼	土製耳飾		関東地方	埼玉県	真福寺	人類	装飾品等	出土場所	出土場所に重複あり(青森県・埼玉県)	
364	日本館2F北翼	オオバキセガワノリ(オオバキノリ)		関東地方	埼玉県	秩父	植物	植物	植生地域	岡山県・徳島県・埼玉県に分布 日本特産品	低山のほぼ垂直に近い石灰岩の露頭に生育する径2~6cmの葉状地衣類です。共生藻はシアノバクテリアです。秩父市の産地以外では、石灰岩採掘や道路法面へのセメント吹きつけなどで個体数が減少しています。日本固有の珍しい種ですが、環境省絶滅危惧I類です。
365	日本館3F南翼	車骨鉱		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地		秩父鉱山は数々の美しい鉱物標本を産出しました。中でも日本随一の車骨鉱が産出されました。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
366	日本館3F南翼	狭山隕石		関東地方	埼玉県	狭山市	理工	隕石	落下場所		狭山隕石は1986年(昭和61年)4月29日頃、埼玉県狭山市の民家に落下した隕石です。2000年5月に当館に依頼があり、隕石であることを確認しました。落下そのものは目撃されていません。朝、玄関横に落ちているのを発見したとのことです。ちょうどチェルノブイリ原子力発電所の事故が大きく報道された時で、放射能を持った破片ではないかとしばらく放置されていたそうです。数日後の雨で隣家の屋根の瓦が割れているのが発見され、まずここに当たって跳ね返ったと考えられています。球粒隕石でも珍しい炭素質の隕石で、約2%の炭素を含んでいます。
367	日本館3F南翼	自然金		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・埼玉県・岐阜県・兵庫県)	
368	日本館3F南翼	岡部隕石		関東地方	埼玉県	大里郡岡部村 (現在の深谷市)	理工	隕石	落下場所		岡部隕石は1958年(昭和33年)11月26日午後3時過ぎ、埼玉県大里郡岡部村(現在の深谷市)に落下した隕石です。埼玉県の上空を北西ないし西北西から火球が飛び、爆発音も聞かれています。発見者が田に裏作のなたねの苗を植えていると、ビュッというすごい音がして、数mのところにはげしい勢いで落下し、直径5-6cmの穴を開けたとのことです。翌日掘ってみると、穴のほぼ真下70-80cmのところに黒い石があるのを発見し、翌年3月に当館に同定に持ち込まれ隕石であることが確認されました。
369	日本館3F南翼	方鉛鉱		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・秋田県・埼玉県・新潟県)	
370	日本館3F南翼	セムセイ鉱		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地		
371	日本館3F南翼	水酸エラスト石		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地		
372	日本館3F南翼	スピネル		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地		
373	日本館3F南翼	スティルプノメレン		関東地方	埼玉県	長瀬町上長瀬	地学	鉱物	採取地		
374	日本館3F南翼	アルミノパンペリー石		関東地方	埼玉県	東秩父村朝日根	地学	鉱物	採取地		




No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
375	日本館3F南翼	種山石		関東地方	埼玉県	飯能市岩井沢鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(埼玉県・熊本県)	
376	地球館B3F	梶田隆章		関東地方 中部地方	埼玉県 岐阜県	飛騨市神岡町	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	物理学賞	梶田隆章氏(1950-)は埼玉県の出身で、東京大学理学部に進み、小柴昌俊氏の指導を受けました。梶田氏は、小柴氏の考えた「カミオカンデ」に建設から関わり、のちに、もっと大きい「スーパーカミオカンデ」の研究チームのリーダーになります。この装置は、岐阜県の神岡町の山中にあり、ニュートリノに質量があることを明らかにしました。この業績により、梶田氏はチームを代表して、2015年のノーベル物理学賞を受けました。
377	地球館B2F	毛鉱		関東地方	埼玉県	秩父鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(埼玉県・愛知県)	
378	地球館B2F	菱鉄鉱		関東地方	埼玉県	秩父鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(埼玉県・兵庫県)	
379	地球館B2F/日本館3F南翼	黄銅鉱		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・茨城県・栃木県・埼玉県・三重県・愛媛県)	
380	地球館B2F/日本館3F南翼	閃亜鉛鉱		関東地方	埼玉県	秩父市秩父鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県・埼玉県・新潟県・岐阜県)	
<b>千葉県</b>											
381	日本館2F北翼	貝塚剥ぎ取り		関東地方	千葉県	千葉市有吉北貝塚	人類	その他	出土場所		資料提供:財団法人千葉県教育研究振興財団
382	日本館3F南翼	カズハゴンドウ		関東地方	千葉県	旭市	動物	哺乳類	漂流地		本個体は2006年1月から2月にかけて千葉県九十九里浜の広範囲に渡り大量座礁したうちの1個体です。本種の大量座礁は、春先に親潮と黒潮がぶつかる銚子沖の南北海域でよく発生するのですが、特に九十九里浜のような遠浅の海岸が最も発生しやすく、50頭から100頭が一度に打ち上がってしまいます。その原因は様々ですが、遠浅の海岸でよく起こることは原因の1つになり得るのかもしれない。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
383	日本館3F南翼	ゾノトラ石		関東地方	千葉県	南房総市平久里	地学	鉱物	採取地		提供者: 勝宗平氏
384	日本館3F南翼	トベルモリー石		関東地方	千葉県	南房総市平久里	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
385	日本館3F南翼	蛇紋岩化したかんらん岩		関東地方	千葉県	鴨川	地学	岩石	採取地		
386	地球館B2F	ブラウンスイシカゲガイ		関東地方	千葉県	印西市	地学	化石	産地		
387	地球館B2F	トウキョウホタテ		関東地方	千葉県	市原市	地学	化石	産地		
388	地球館1F	コマッコウ		関東地方	千葉県		動物	哺乳類	漂流地		本個体は千葉県所在の東邦大学理学部の秋山氏と現地調査し、標本化したものです。秋山氏は、「九十九里浜自然誌博物館」も主宰し、地元の自然やそこにいる生き物の素晴らしさを伝えるために、お手製の木彫りスナメリや海鳥、生物マップの下敷きなどを使って子供向けのワークショップも多く開催されていました。
389	地球館1F	縄文土器		関東地方	千葉県	辰ヶ台遺跡	人類	土器	出土場所		所蔵: 千葉市教育委員会
390	地球館2F	地磁気逆転期を含む地層はぎ取り標本		関東地方	千葉県	市原市田淵	地学	その他	採集地		千葉県市原市田淵の養老川沿いに見られる77万年前の地層は、2020年の4月に国際的な地層の模式地(GSSP)となり、更新世中期の時代が、「チバニアン」と命名されました。地球の磁場は、地球の歴史の中でS極とN極が何度も入れ替わっています。この地層では、77万年前に起こった地球磁場の最後の反転が記録されています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
東京都											
391	日本館1F南翼	紅毛雑話		関東地方	東京都		理工	著作者の出生地	著者：森島中良の出生地		1787年、築地の蘭学者森島中良は、同じく蘭学者の兄で幕府奥医師でもあった桂川甫周やその知人たちからの聞き書きにより、長崎出島のオランダ人の様子について『紅毛(オランダ)雑話』を発表しました。イギリス人ロバート・フックが自らの製作による顕微鏡による観察結果を記載した『ミクログラフィア』について紹介されているほか、三本脚顕微鏡の本体や、蚊やぼうぶらの観察の記録イラストが載せられていました。
392	日本館1F南翼	円盤式地震記録		関東地方	東京都	文京区	理工	観測データ	本郷観測点		1894年6月20日に発生した明治東京地震の本郷(現在の東京大学構内)での揺れを記録したものです。この地震は多くの煙突に被害があったことで、「煙突地震」とも言われました。すずを塗ったガラス円盤に地震による揺れを記録しましたが、それを複写(青焼き)して保存し、ガラスは繰り返し使用しました。実際に地震の揺れを記録しているガラス円盤は、展示中のものも合わせて現在3枚残っていることが分かっています。
393	日本館1F南翼	地震動軌跡模型		関東地方 中部地方	東京都・ 岐阜県	文京区 大塚市	理工	観測データ 製作者の出生地	本郷観測点・ 関谷清景の出生地		本郷(現在の東京大学構内)で観測された1887年1月15日に東京都・神奈川県付近で起きたとされる地震による地面の揺れを、50倍に拡大した模型です。帝国大学理科大学(現在の東京大学)で世界初の地震学教授となった関谷清景によって、考え出されました。3次元的に地面の揺れを把握することができる理科教材として、海外にも輸出されました。
394	日本館1F南翼	なまず絵「地震大鯰と鹿島大明神」		関東地方	東京都・ 茨城県	(江戸)	理工	制作物の関連	江戸地震・ 鹿島大明神		安政江戸地震(1855年)の直後に、なまazuを題材にした錦絵が大流行しました。当時はなまazuが地震を起こすと言われており、この絵では鹿島大明神が江戸の地震を起こしたというなまazuを要石で押さえつけてこらしめています。茨城県の鹿島神宮には要石が地中に埋まった状態で祀られていますが、徳川光圀が7日7晩かけて掘っても底が見えなかった、という逸話が残っています。
395	日本館2F北翼	江戸時代人壮年女性のミイラ	写真なし	関東地方	東京都	谷中三崎町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		日本の温暖湿潤な気候はミイラには適していません。ただ、東京都内の泥地からは屍蠟化した遺体が発見されています。この遺体は出土状況が判明している数少ない事例の一つで、極めて貴重なものです。
396	日本館2F北翼	高井戸東遺跡地層剥ぎ取り		関東地方	東京都	高井戸東遺跡(東京都杉並区)	人類	その他	出土場所		1970年代から本格化した東京都の関東ローム層の発掘調査により、日本の旧石器時代の解明が飛躍的に進みました。
397	日本館2F北翼	不定形な石器群		関東地方	東京都	中山谷遺跡(東京都)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(東京都・長野県)	1970年代から本格化した東京都の関東ローム層の発掘調査により、日本の旧石器時代の解明が飛躍的に進みました。
398	日本館2F北翼	漆塗飾り弓		関東地方	東京都	下宅部遺跡(東京都)	人類	その他	出土場所		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
399	日本館2F北翼	漆塗杓子柄		関東地方	東京都	下宅部遺跡(東京都)	人類	その他	出土場所		
400	日本館2F北翼	過短頭型の江戸時代人男性頭骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。
401	日本館2F北翼	古墳人男性		関東地方	東京都	羽根沢台遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都には700基ほどの古墳が発見され、その中から人骨が発見されている場合もあります。ただ、関東ローム層は酸性を示すため、骨の保存状況は概して悪いです。この羽根沢台遺跡から出土した人骨は例外的に保存状況が良好であったものです。
402	日本館2F北翼	江戸人男性		関東地方	東京都	圓應寺跡遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html</a>
403	日本館2F北翼	蹲踞面の認められない江戸時代人男性の右脛骨・距骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
404	日本館2F北翼	強い妊娠痕のある江戸時代人女性の寛骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
405	日本館2F北翼	弱い妊娠痕のある江戸時代人女性の寛骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。
406	日本館2F北翼	妊娠痕のない江戸時代人の寛骨(男性)		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
407	日本館2F北翼	梅毒罹患痕のある江戸時代人男性頭骨と脛骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
408	日本館2F北翼	脊椎カリエスの認められる江戸時代人男性椎骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
409	日本館2F北翼	虫歯・歯槽膿漏の顕著な江戸時代人下顎骨(性別不明)		関東地方	東京都	發昌寺跡遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
410	日本館2F北翼	クリブラ・オルビタリアのある江戸時代人女性(?)頭骨		関東地方	東京都	池之端七軒町遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
411	日本館2F北翼	エナメル質減形成が認められる江戸時代人男性頭骨		関東地方	東京都	圓應寺跡遺跡(東京都)	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
412	日本館2F北翼	江戸菊		関東地方	東京都		植物	植物	植生地域		
413	日本館2F南翼	メグロ		関東地方	東京都	小笠原諸島	動物	鳥類	生息地	特別天然記念物	東京都小笠原諸島の母島列島にのみ生息する日本で唯一の一属一種の小鳥類(スズメ目鳥類)の固有種です。近縁種は北マリアナ諸島のオウゴンメジロ(オウゴンミツスイとも呼ばれる)のみで、以前はミツイ科、チドリ科、ヒヨドリ科などにも分類されたことがありますがもユニークな鳥です。特別天然記念物に指定されています。
414	日本館2F南翼	オガサワラオオコウモリ		関東地方	東京都	父島 母島 北硫黄島 南硫黄島	動物	哺乳類	生息地	日本固有種/天然記念物	世界でも小笠原諸島にのみ分布する大型のコウモリ類です。絶滅危惧種、天然記念物、固有種とあらゆる珍しい生き物の肩書を持つ貴重な種です。近縁種は琉球列島に分布するクビワオオコウモリであることが近年明らかにされました。おそらく祖先が小笠原諸島に飛来、定着して分化したものであると考えられています。
415	日本館2F南翼	オガサワラチビクワガタ		関東地方	東京都	弟島 兄島 父島 母島 向島 姪島	動物	昆虫	生息地		オガサワラチビクワガタは、小笠原諸島に特産する小型(体長約18mm)のクワガタムシです。頭胸部は大きいですが、大あごは他のクワガタムシほど大きくはなく、メスオス間でもほとんど違いがありません。体色は光沢の強い黒色で、前胸背面は平滑ですが、上翅背面は深い縦条溝をそなえています。広葉樹の朽木中に多くみられます。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
416	日本館2F南翼	オガサワラチズモンアオシヤク		関東地方	東京都	兄島 父島 母島	動物	昆虫	生息地/固有種		世界で小笠原だけにいる固有な生物の一つです。アオシヤクのなかまは、翅が葉っぱのような緑色をしている種が多いですが、この種は中でも特に鮮やかな色をしています。小笠原は、世界でも有数の固有な生き物の宝庫ですが、ガのなかまも同じで、新種かもしれないが研究が進んでいない種も多く知られています。
417	日本館2F南翼	オガサワラゼミ		関東地方	東京都	父島 母島 聳島 弟島 兄島 向島	動物	昆虫	生息地/天然記念物		ツクツクボウシの仲間のセミで、小笠原諸島の固有種として国の天然記念物に指定されています。九州の大隅半島以南に生息するクロイワツクツクと形態・鳴き声がよく類似していますが、遺伝子解析の結果、両者は系統分化して久しいことが明らかになっています。外来種のグリーンアノールにより捕食され個体数を減らしています。
418	日本館3F北翼	メタセコイア		関東地方	東京都	八王子市	地学	化石	産地		この標本は、1970年代の高度成長期に、中央自動車道の新設のため河川工事を行なった際に見つかったものです。化石を含む約200万年前の上総層群からは、メタセコイアをはじめとするさまざまな絶滅植物に加え、ゾウヤシカなどの動物化石も見つかっています。
419	日本館3F北翼	ヒメバラモミ		関東地方	東京都	中野区江古田	地学	化石	産地		この標本は、1936年に東京都中野区江古田1丁目で行われた道路工事の際、早稲田大学の直良延夫氏によって発見された、江古田植物化石層のもので、植物学者の三木茂氏の鑑定により、現在の中野山岳地帯の1500-2500m付近に生育する種が多いことがわかり、地質時代の一時期、東京都が非常に寒冷な気候下にあったことを示す初めての証拠となりました。その後、この化石層からは、多くの動物化石も見つかっています。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html</a>
420	日本館3F北翼	カラマツ		関東地方	東京都	中野区江古田	地学	化石	産地		この標本は、1936年に東京都中野区江古田1丁目で行われた道路工事の際、早稲田大学の直良延夫氏によって発見された、江古田植物化石層のもので、植物学者の三木茂氏の鑑定により、現在の中野山岳地帯の1500-2500m付近に生育する種が多いことがわかり、地質時代の一時期、東京都が非常に寒冷な気候下にあったことを示す初めての証拠となりました。その後、この化石層からは、多くの動物化石も見つかっています。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html</a>
421	日本館3F北翼	チョウセンマツ		関東地方	東京都	中野区	地学	化石	産地		この標本は、1936年に東京都中野区江古田1丁目で行われた道路工事の際、早稲田大学の直良延夫氏によって発見された、江古田植物化石層のもので、植物学者の三木茂氏の鑑定により、現在の中野山岳地帯の1500-2500m付近に生育する種が多いことがわかり、地質時代の一時期、東京都が非常に寒冷な気候下にあったことを示す初めての証拠となりました。その後、この化石層からは、多くの動物化石も見つかっています。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html</a>
422	日本館3F北翼	ブナ		関東地方	東京都	中野区江古田	地学	化石	産地	産地に重複あり(栃木県・東京都)	この標本は、1936年に東京都中野区江古田1丁目で行われた道路工事の際、早稲田大学の直良延夫氏によって発見された、江古田植物化石層のもので、植物学者の三木茂氏の鑑定により、現在の中野山岳地帯の1500-2500m付近に生育する種が多いことがわかり、地質時代の一時期、東京都が非常に寒冷な気候下にあったことを示す初めての証拠となりました。その後、この化石層からは、多くの動物化石も見つかっています。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB2/index.html</a>
423	日本館3F南翼	ポニナイト(無人岩)		関東地方	東京都	小笠原諸島聳島	地学	鉱物	採取地		東京都の「果の石(岩石)」です。世界的にも珍しい「単斜頑火輝石」という鉱物を含みます。小笠原諸島の岩石は、約5000万年前にできた点で、伊豆諸島のその他の島の岩石と異なります。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
424	日本館3F南翼	溶岩鍾乳石		関東地方	東京都	伊豆大島	地学	鉱物	採取地		
425	日本館3F南翼	牛糞状火山弾		関東地方	東京都	伊豆大島	地学	岩石	採取地		
426	日本館3F南翼	火山弾		関東地方	東京都	伊豆大島	地学	岩石	採取地		
427	日本館3F南翼	江戸時代人(男性)の頭骨		関東地方	東京都	台東区池之端七軒町遺跡	人類	人骨	出土場所		東京都内では大規模な江戸時代の墓地遺跡が多数出土しています。その多くは泥地に位置するため、一つの遺跡から保存状態が良好な人骨が100体以上発見されることもあります。
428	日本館3F南翼	東京石		関東地方	東京都	奥多摩町白丸鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 今井裕之氏 東京都内の鉱山から見つかった新鉱物です。
429	日本館3F南翼	多摩石		関東地方	東京都	奥多摩町白丸鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 今井裕之氏
430	日本館3F南翼	ハウスマン鉱		関東地方	東京都	奥多摩町簾川鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(東京都・長野県)	提供者: 櫻井欽一氏
431	日本館3F南翼	ストロンチウム紅簾石		関東地方	東京都	奥多摩町白丸鉱山	地学	鉱物	採取地		
432	日本館3F南翼	灰長石		関東地方	東京都	八丈町石積ヶ鼻	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・東京都)	




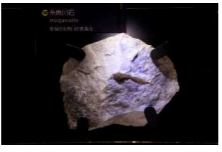

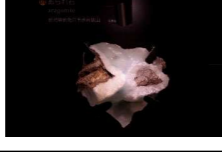




No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
433	日本館3F南翼	輝沸石		関東地方	東京都	小笠原村父島	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
434	日本館3F南翼	単斜頑火輝石		関東地方	東京都	小笠原村婿島	地学	鉱物	採取地		提供者: 黒田直氏
435	日本館3F南翼	エツキクダホコリ		関東地方	東京都	父島	植物	菌類・藻類	植生地域		1854(安政1)年にアメリカの北太平洋探検隊の植物学者チャールズ・ライトが小笠原の父島で採集した変形菌に基づいて、新種記載されました。したがって、父島はタイプ産地(その種を記載するときに使用した標本の産地)です。日本各地でも発見されているが、比較的珍しい種です。
436	地球館B3F	湯川秀樹		関東地方 近畿地方	東京都 京都府	京都市	理工	ノーベル賞	出生地・ ゆかりの土地	物理学賞	湯川秀樹氏(1907-1981)は、日本で最初にノーベル賞を受賞した人です。生まれたのは東京都ですが、小さいころに家族で京都府に引っ越し、そこで育ちました。そして京都市内の学校から京都大学に進んで、物理学者になりました。このころの記憶を書きとめた『旅人』という随筆があります。この本は、博士の最大の研究業績である「中間子論」を考えたところで終わります。この研究が評価され、戦争が終わって数年後にノーベル賞を贈られたのです。
437	地球館B3F	朝永振一郎		関東地方	東京都	新宿区	理工	ノーベル賞	出生地 研究が行われた土地	物理学賞	朝永振一郎氏(1906-1979)は、日本で2番目にノーベル賞を受賞した人です。もともと体が弱かったのですが、大学卒業後、理化学研究所(当時は東京都駒込にあった)に就職してからは、ひょうきんな人気者になったそうです。朝永氏のノーベル賞は、物理学の「くりこみ理論」というものに対して贈られました。朝永氏がこれを考えたのは戦後まもない時期のことで、新宿の久保にあった大学の建物に仮住まいしつつ、研究をしていました。
438	地球館B3F	南部陽一郎		関東地方 中部地方	東京都 福井県	福井市	理工	ノーベル賞	出生地・ ゆかりの土地	物理学賞	南部陽一郎氏(1921-2015)は東京都生まれで、のちにアメリカに渡った物理学者です。渡米するまでは、大阪市立大学の研究者でした。アメリカで取り組んだ研究テーマのひとつに、「自発的対称性の破れ」というものがあり、この業績で2008年にノーベル賞を受賞しました。そんな南部氏ですが、子ども時代を過ごしたのは、お父さんの実家があった福井市です。このころにたくさん本を読んだことが、のちの活躍につながったのかもしれない。
439	地球館B3F	白川英樹		関東地方 中部地方	東京都・ 岐阜県	高山市	理工	ノーベル賞	成長地	化学賞	白川英樹氏(1936-)は東京都に生まれ、父親の仕事の関係で各地を移動しましたが、小学校3年だった1944年から高校を卒業するまでの十年間を、母親の実家があった飛騨高山で過ごしました。自然に恵まれた高山で、昆虫採集をして野山を歩き回って植物に興味を持ったり、真空管ラジオを組み立てて短波放送を聞いたり、さらに日常のお手伝いで火を使うときにちょっとした「実験」をしたりして理科や化学に興味を持つきっかけになったと回想しています。
440	地球館B2F	貨幣石の断面		関東地方	東京都	小笠原村母島	地学	化石	産地		貨幣石は、単細胞動物の一種で、底生有孔虫に分類されます。渦を巻いたような形をしているので古くはアンモナイトの一種だと考えられた時代もありましたが、全く別の生物です。単細胞の生物でこれほど大きな殻(直径2-3cm)に成長することができるのは、共生する藻類からの栄養分をもらっているおかげだと考えられています。







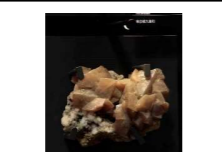
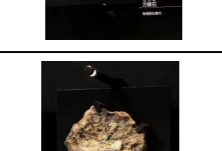

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
441	地球館B2F	世界最古級の土器		関東地方	東京都	百人町三丁目	人類	土器	出土場所		所蔵: 新宿歴史博物館
442	地球館B2F/日本館3F南翼	黒銅鉱		関東地方	東京都	大島町裏砂漠	地学	鉱物	採取地		
443	地球館1F	ホアンホアン		関東地方	東京都	上野	動物	哺乳類			
444	地球館1F	カラスアゲハ 日本本土朝鮮半島亜種(三宅島産)		関東地方	東京都		動物	昆虫	生息地/固有亜種		カラスアゲハは、黒い翅に緑や青のキラキラとした模様のある美しいアゲハチョウで、日本では広く分布しています。なかでも三宅島や八丈島のカラスアゲハは、模様が明るく目立つため、現在では伊豆諸島にだけいる亜種とされています。伊豆諸島にはほかにも固有のチョウやガがあり、アカウスバフユシャクという蛾が同じ階の「生物多様性の保全」コーナーに展示されています。ぜひ、探してみてください。
445	地球館1F	カラスアゲハ 日本本土朝鮮半島亜種(八丈島産)		関東地方	東京都		動物	昆虫	生息地/固有亜種		
446	地球館1F	キリン(タカオ)		関東地方	東京都	上野	動物	哺乳類			もともと背の高い動物です。高木の葉を独占でき、外敵との闘いにおいても大きな身体は有利に働きます。
447	地球館1F	アカウスバフユシャク		関東地方	東京都	伊豆大島・神津島・三宅島・八丈島	動物	昆虫	日本/地域固有種		伊豆諸島に特有なフユシャクガのなかまです。見つかった当時は、この種はウスバフユシャクに近いと考えられてきましたが、最近の研究によって山に多いフタスジフユシャクのなかまに入ることがわかってきました。メスに翅のないフユシャクのなかまの中には、生まれた幼虫が風によって飛ばされることがわかっている種もいますが、アカウスバフユシャクがどのように伊豆諸島の島々にやってきたのか、まだわかっていません。
448	地球館1F/地球館B2F	貨幣石(ヌムリテス)		関東地方	東京都	小笠原村	地学	鉱物	採集地		貨幣石(ヌムリテス)は、始新世(5600万年前~3390万年前)に生息していた大型の底生有孔虫です。多くの貨幣石が見つかるのは、日本では小笠原諸島の母島に限られます。当時は、サンゴに代わりヌムリテスが浅瀬の海を支配していたと考えられています。しかし、貨幣石の時代は長くは続かず、次の漸新世には絶滅しました。
449	地球館3F	トントン		関東地方	東京都	上野	動物	哺乳類			上野動物園で二世の誕生が待望される中、フェイフェイスとホアンホアンの間で1986年6月1日に生まれたメス個体です。国内で誕生・成長したジャイアントパンダとしては初めてのケースです。初公開の際には来園者が殺到し、1か月で42万人を数えたといわれます。2000年7月8日に死亡しました。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
450	地球館3F	ニシゴリラ		関東地方	東京都	上野	動物	哺乳類			類人猿の一種です。サルの中でもっとも大きく、猛獣と闘争して身を守るため、地上で暮らすに至りました。この個体は1997年まで上野動物園で飼われていた雄で、ブルブルと呼ばれていました。カメルーン産です。
<b>神奈川県</b>											
451	日本館2F北翼	茂呂型ナイフ形石器		関東地方	神奈川県	相模野台地遺跡群(神奈川県)	人類	石器	出土場所		神奈川県の相模野台地は、国内有数の旧石器遺跡の密集地です。
452	日本館2F北翼	尖頭器		関東地方	神奈川県	相模野台地遺跡群(神奈川県)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(北海道・神奈川県・長野県)	神奈川県の相模野台地は、国内有数の旧石器遺跡の密集地です。
453	日本館2F北翼	切出形ナイフ形石器		関東地方	神奈川県	相模野台地遺跡群(神奈川県)	人類	石器	出土場所		神奈川県の相模野台地は、国内有数の旧石器遺跡の密集地です。
454	日本館2F北翼	過長頭型の鎌倉時代人男性頭骨		関東地方	神奈川県	極楽寺遺跡(神奈川県)	人類	人骨	出土場所		神奈川県鎌倉市の海岸地域には、鎌倉～室町時代の遺跡が数多く見つかっています。これらの遺跡からは数多くの人骨が出土しており、中世人や日本人の歴史を考える上で欠かすことのできない研究資料となっています。
455	日本館2F北翼	鎌倉人男性		関東地方	神奈川県	由比ヶ浜南遺跡(神奈川県)	人類	人骨	出土場所		神奈川県鎌倉市の海岸地域には、鎌倉～室町時代の遺跡が数多く見つかっています。これらの遺跡からは数多くの人骨が出土しており、中世人や日本人の歴史を考える上で欠かすことのできない研究資料となっています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html</a>
456	日本館3F南翼	塩素燐灰石		関東地方	神奈川県	山北町玄倉	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
457	日本館3F南翼	ベスプ石		関東地方	神奈川県	山北町蓼沢	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(神奈川県・宮崎県)	提供者: 櫻井欽一氏








No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
458	日本館3F南翼	湯河原沸石		関東地方	神奈川県	湯河原町不動の滝	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 湯河原温泉から発見された新鉱物です。
459	地球館B3F	根岸英一		中国 関東地方	満州・ 神奈川県	大和市	理工	ノーベル賞	出生地・ 成長地	化学賞	商社員だった父の仕事の関係で満州で生まれた根岸英一氏(1935-2021)は、小学校6年から大学生時代までを現在の東京都大和市で過ごしました。高校に入るとき、満州で小学校に入学した根岸氏は同学年より1才若く、高校から入学できないとされましたが、大和中学の先生たちが高校を懸命に説得して入学することができました。南林間駅の東西に延びる道路は、根岸氏の功績をたたえて「やまと根岸通り」と愛称がつけられています。
460	地球館2F	ボイラー(蒸気罐)		関東地方	神奈川県		理工	制作場所	製作元: 横須賀製作所		この蒸気罐には、横須賀製鉄所(造船所)のマークの入った耐火レンガが使用されています。横須賀造船所は、幕府が長崎製鉄所(造船所)に次いで建設した国内最大の造船所で、フランスの指導で行われました。ヴェルニー技師のもと、日本初となるドライドック(船渠)が作られ、その後、多くの船の建造や修復を行い、現在も使用されています。この蒸気罐は、その構造などから幕末に製造されたと思われませんが、横須賀造船所で修理を受けたのかもしれない。
<b>新潟県</b>											
461	日本館2F北翼	トウマル(唐丸、蜀鶏)		中部地方	新潟県		動物	鳥類	生息地		ニワトリの一品種で、日本三大長鳴き鶏の一つです。10秒間ほど力強い中高音で謡います。中国渡来の品種である大唐丸と小国との交雑による鳴唐丸が起源と考えられ、新潟県で作り出され、現在も新潟県で多く飼われています。昭和14年に天然記念物に指定されました。
462	日本館2F北翼	王冠型土器		中部地方	新潟県	道尻手遺跡(新潟県)	人類	土器	出土場所		新潟県中魚沼郡津南町では、縄文時代中期(5500年前ごろ)に「縄文芸術家集団のムラ」があったと言われるほど多様で装飾性の高い土器が作られました。
463	日本館2F北翼	火焰型土器		中部地方	新潟県	道尻手遺跡(新潟県)	人類	土器	出土場所		新潟県を中心とする地域で縄文時代中期に作られた火焰型土器は、その見事な芸術性で注目され、縄文土器の代表と言っても過言ではないほど有名です。
464	日本館2F北翼	新巻類型土器		中部地方	新潟県	道尻手遺跡(新潟県)	人類	土器	出土場所		新潟県中魚沼郡津南町では、縄文時代中期(5500年前ごろ)に「縄文芸術家集団のムラ」があったと言われるほど多様で装飾性の高い土器が作られました。
465	日本館2F北翼	深鉢形土器		中部地方	新潟県	道尻手遺跡(新潟県)	人類	土器	出土場所		新潟県中魚沼郡津南町では、縄文時代中期(5500年前ごろ)に「縄文芸術家集団のムラ」があったと言われるほど多様で装飾性の高い土器が作られました。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
466	日本館2F北翼	大木8b式類似土器		中部地方	新潟県	道尻手遺跡(新潟県)	人類	土器	出土場所		新潟県中魚沼郡津南町では、縄文時代中期(5500年前ごろ)に「縄文芸術家集団のムラ」があったと言われるほど多様で装飾性の高い土器が作られました。
467	日本館2F北翼	大木7b式類似土器		中部地方	新潟県	道尻手遺跡(新潟県)	人類	土器	出土場所		新潟県中魚沼郡津南町では、縄文時代中期(5500年前ごろ)に「縄文芸術家集団のムラ」があったと言われるほど多様で装飾性の高い土器が作られました。
468	日本館3F南翼	米納津隕石		中部地方	新潟県	越後国富永村(現在の燕市)	理工	隕石	落下場所		米納津隕石は1837年(天保8年)7月13日午後4時頃、当時の越後国富永村(その後、米納津村に合併、現在は新潟県燕市)の水田に異音と黒雲をもたらしながら落下しました。激しい水柱を上げ、地中深くに入ったと伝えられています。当時の庄屋の田辺家に保管されてきましたが、明治32年に博物館に出品されました。Hグループの典型的な球粒隕石です。
469	日本館3F南翼	糸魚川石		中部地方	新潟県	糸魚川市青海川	地学	鉱物	採取地		
470	日本館3F南翼	珪藻土		中部地方	新潟県	佐渡	地学	岩石	採集地		約1500万年前に拡大し深くなった日本海の底にたまった地層で植物プランクトン(珪藻)の化石を多く含んでいます。新潟県の佐渡島の他にも、日本海沿岸に同様な地層が見られます。
471	日本館3F南翼	あられ石		中部地方	新潟県	新発田市赤谷鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・島根県)	提供者: 櫻井欽一氏
472	日本館3F南翼	蛍石		中部地方	新潟県	阿賀町五十島鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・三重県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
473	日本館3F南翼	軟マンガン鉱		中部地方	新潟県	阿賀町広谷鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
474	日本館3F南翼	ソーダ沸石		中部地方	新潟県	新潟市間瀬	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・新潟県)	
475	日本館3F南翼	方鉛鉱		中部地方	新潟県	朝日町葡萄鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・秋田県・埼玉県・新潟県)	提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
476	日本館3F南翼	淡紅銀鉱		中部地方	新潟県	佐渡市佐渡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・新潟県)	提供者: 櫻井欽一氏
477	日本館3F南翼	蓮華石		中部地方	新潟県	糸魚川市親不知海岸	地学	鉱物	採取地		提供者: 廣川和雄氏 糸魚川周辺は日本で唯一、宝石質ひすい産出地であり、ひすいに伴って新鉱物が見つかりました。
478	日本館3F南翼	松原石		中部地方	新潟県	糸魚川市小滝	地学	鉱物	採取地		提供者: 高島宏氏
479	日本館3F南翼	青海石		中部地方	新潟県	糸魚川市金山谷	地学	鉱物	採取地		
480	日本館3F南翼	ストロンチウム斜方ホアキン石		中部地方	新潟県	糸魚川市金山谷	地学	鉱物	採取地		
481	日本館3F南翼	コランダム		中部地方	新潟県	糸魚川市親不知海岸	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・新潟県・広島県)	
482	地球館B2F	方解石		中部地方	新潟県	間瀬	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・栃木県・新潟県・岐阜県・滋賀県・鹿児島県)	
483	地球館B2F	硫酸鉛鉱		中部地方	新潟県	三川鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・新潟県)	
484	地球館B2F	黄鉛鉱		中部地方	新潟県	土樽鉱山	地学	鉱物	採取地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
485	地球館B2F	神山遺跡出土の石器(石刃石核、石刃、ナイフ形石器)		中部地方	新潟県		人類	石器	出土場所		
486	地球館B2F/日本館3F南翼	ひすい輝石		中部地方	新潟県	糸魚川市小滝	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・兵庫県・鳥取県・岡山県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
487	地球館B2F/日本館3F南翼	閃亜鉛鉱		中部地方	新潟県	魚沼市白根鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県・埼玉県・新潟県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
488	地球館2F	鉱山のすべてが描かれている 佐州金銀採製全図		中部地方	新潟県	佐渡金山	理工	制作物ゆかりの地			鉱山絵図は、日本各地で描かれていますが、その始まりは佐渡金銀山(新潟県)になります。徳川吉宗が、佐渡金銀山の状況を知るために描かせたのが最初で、以後も、幕府直轄だった佐渡金銀山の奉行交代時などの説明用として他鉱山に比べて、圧倒的に多くの絵図が描かれています。







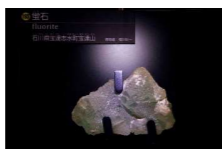


## 富山県

489	日本館3F北翼	マングローブ		中部地方	富山県		地学	その他	再現場所		
490	日本館3F北翼	スタックヒルギシジミ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		
491	日本館3F北翼	カケハタアカガイ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		
492	日本館3F北翼	ヤツオオキシジミ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		
493	日本館3F北翼	ノビカリエラ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
494	日本館3F北翼	ムカシセンニンガイ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		富山県中部に位置する富山市八尾町に分布する中期中新世の黒瀬谷層は、当時の海洋環境を推定する画期的な研究の舞台となりました。1947～1948年に古生物調査をおこなった大山桂氏は、黒瀬谷層に産するムカシセンニンガイなどの貝化石群の種構成が熱帯のマングローブ沼の貝類群に類似することを見いだして黒瀬谷動物群と命名し、1950年に、新生代中新世中期頃、日本列島は熱帯的な海洋気候下にあったことを初めて明らかにしました。「八尾層群の中新世貝化石群」として富山県の化石に指定されています。
495	日本館3F北翼	ビカリア		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地	産地に重複あり(富山県・京都府)	
496	日本館3F北翼	ヤツオヘナタリ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		
497	日本館3F北翼	チガノウラヨウラク		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		
498	日本館3F北翼	イズモノアシタ		中部地方	富山県	富山市八尾町掛畑/黒瀬谷層	地学	化石	産地		
499	日本館3F南翼	白萩隕鉄		中部地方	富山県	中新川郡上市町	理工	隕石	発見場所		白萩隕鉄は1890年(明治23年)、越中国中新川郡白萩村(現在の富山県中新川郡上市町)の上市川の川原で発見された隕石です(白萩1号22.7kg)。また、1892年(明治25年)頃、上市川の上流の早乙女岳の麓でも隕石が拾われ、化学分析の結果、同じ隕石と考えられています(白萩2号10.9kg、別名早乙女号)。白萩1号は幕末の海軍副総裁、また明治政府でも大臣を歴任した榎本武揚が買い上げ、その一部を使って流星刀と呼ばれる刀を刀工の岡吉國宗に製作させました。残りの隕石が武揚のご子息の武憲氏により博物館に寄贈されました。
500	日本館3F南翼	石英(水晶)		中部地方	富山県	富山市黒岳	地学	鉱物	採取地		
501	日本館3F南翼	十字石		中部地方	富山県	黒部市宇奈月温泉	地学	鉱物	採取地		
502	日本館3F南翼	灰鉄石榴石		中部地方	富山県	富山市黒岳	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(富山県・長野県)	提供者: 櫻井欽一氏
503	日本館3F南翼	オパール(蛋白石)		中部地方	富山県	立山町立山新湯	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・富山県)	提供者: 櫻井欽一氏 国の天然記念物に指定されています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
504	日本館3F南翼	典型ポドゾル性土(高山ポドゾル)		中部地方	富山県	富山市有峰薬師平	植物	土壌	採取地		
505	日本館3F南翼	典型固結岩屑土(高山草原土)		中部地方	富山県	富山市有峰薬師平	植物	土壌	採取地		
506	日本館3F南翼	典型固結岩屑土(高山湿草地土)		中部地方	富山県	富山市有峰太郎平	植物	土壌	採取地		
507	日本館3F南翼	十字石片岩		中部地方	富山県	宇奈月	地学	岩石	採取地		日本では珍しい「中温中圧型変成岩」です。中温中圧型変成岩はプレートがぶつかる「衝突帯」に見られる岩石で、約2億5千万年前に南北中国が衝突した衝突帯の延長と考えられています。
508	地球館B3F	田中耕一		中部地方	富山県	富山市	理工	ノーベル賞	出生地	化学賞	田中耕一氏(1959-)は、富山県富山市に生まれ、高校までを富山県で過ごしました。田中氏は、「田舎こそが創造性を引き出してくれる」、「立山連峰をみているだけで心が落ち着く」と述べ、富山県に親しみを持っています。小学校時代は理科の実験でも発想が豊かだったと当時の理科の先生は回想しています。田中氏もその先生のおかげで実験のおもしろさを知り、間違いを気にせず続けることの大切さを教わった」と述べています。富山県でのこうした経験が、田中氏のノーベル賞に結びついた「生涯最高の失敗」につながったといえるでしょう。
<b>石川県</b>											
509	日本館3F北翼	アロデスムス		中部地方	石川県	珠洲市三崎町	地学	化石	産地		石川県の珠洲市は、沔材や七輪に代表される窯業で有名です。その基になっているのが、能登半島に広く分布する良質な珪藻土です。日本初のアロデスムスの全身骨格化石は、深海で静かに堆積した珪藻土の中に、完全な関節状態で保存されていました。良質の珪藻土を求めて手掘りで採掘する伝統工法がこの発見に結びついたと言えます。
510	日本館3F北翼	ニルソニオクラダス(裸子植物/ソテツ類)		中部地方	石川県	白山市目添谷	地学	化石	産地		石川県白山市に分布する中生代白亜紀の手取層群は、日本で初めて植物化石の研究が行われた場所であり、日本最古の化石林が国指定の天然記念物ともなった場所です。1950年代以降の研究によって、この地域の化石は白亜紀中頃の中国北部やロシアなどに広がったものと同じことがわかり、手取型植物群と呼ばれるようになりました。
511	日本館3F北翼	クテニス(裸子植物/ソテツ類)		中部地方	石川県	白山市目添谷	地学	化石	産地		
512	日本館3F北翼	ポドザミテス(裸子植物/球果類)		中部地方	石川県	白山市桑島	地学	化石	産地	産地に重複あり(石川県・山口県)	

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
513	日本館3F北翼	ギンゴイジウム(裸子植物/イチョウ類)		中部地方	石川県	白山市桑島	地学	化石	産地		
514	日本館3F南翼	重晶石		中部地方	石川県	小松市尾小屋鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・秋田県・石川県)	
515	日本館3F南翼	石英質砂岩		中部地方	石川県	手取	地学	岩石	採取地		
516	日本館3F南翼	安山岩		中部地方	石川県	白山	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(石川県・鹿児島県)	
517	日本館3F南翼	石英(玉髄)		中部地方	石川県	能登町恋路	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
518	日本館3F南翼	あられ石		中部地方	石川県	能登町恋路	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・島根県)	提供者: 櫻井欽一氏 恋路海岸は淡いピンク色のあられ石の名産地でした。
519	日本館3F南翼	蛍石		中部地方	石川県	宝達志水町宝達山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・三重県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
520	日本館3F南翼	石英(紫水晶)		中部地方	石川県	小松市金平鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・秋田県・栃木県・石川県)	
521	日本館3F南翼	緑鉛鉱		中部地方	石川県	小松市尾小屋鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(石川県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
522	地球館B3F	桜井錠二		中部地方	石川県	金沢市	理工	科学者	出生地		日本の近代化学や学術研究の礎を築いた桜井錠二氏(1858-1939)は、金沢藩士の子として金沢市で生まれましたが父が早くに亡くなり、家は困窮を極めました。しかし、母はこれからは教育、特に外国語が大事、と桜井氏に藩の学校で英語を学ばせました。その後、桜井氏の兄二人が東京都に行ったのを機会に、母は家を整理して桜井氏とともに上京。桜井氏は、13才で兄と同じ大学南校(現・東京大学)に入学しました。英語が得意だった桜井氏は、18才でイギリスに留学したときも化学などでよい成績を取めました。その基礎は、金沢時代に築かれたといえます。
523	地球館B3F	高峰譲吉		中部地方	富山県・石川県	高岡市 金沢市	理工	科学者	出生地・ 成長地		高峰譲吉氏(1854-1922)は、富山県高岡市で町医者の家系に生まれ、その生家跡は、現在「高峰公園」として市民の憩いの場となり、高峰氏の胸像があります。母は高岡の造り酒屋の娘で、高峰氏はそこで麴に興味を持ち、バイオインダストリーの道に進むことになりました。1歳の時、父が加賀藩に典医に招かれたので、石川県金沢市に移り住み、幼少期を過ごしました。12歳の時に藩に選ばれて長崎県に留学してからは各地で学び、1890年には渡米し生涯をニューヨークで終えましたが、その素地を築いたのは高岡と金沢でした。
524	地球館1F	ディクティオザミテス		中部地方	石川県	白山市	地学	化石	産地		ディクティオザミテスはジュラ紀から白亜紀に繁栄したベネテス類の1属で、編み目状の葉脈が特徴です。インド、南米、東アジア、ヨーロッパなど世界各地から化石が報告されています。
525	地球館1F	ナガサルボウ		中部地方	石川県	金沢市	地学	鉱物	採集地		更新世初期の日本海に生息した貝類群の代表的な二枚貝化石です。
<b>福井県</b>											
526	日本館3F北翼	かんらん岩		中部地方	福井県	大島半島	地学	岩石	採取地		
527	日本館3F南翼	自然砒		中部地方	福井県	福井市赤谷鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福井県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏 自然砒の結晶は珍しく、その中でも菱形の結晶が放射状に集合した赤谷鉱山産の金平糖石は世界的に有名です。
528	日本館3F南翼	ズワイガニ		中部地方	福井県		動物	その他	県の魚 (越前ガニとして記載)		北陸地方の“越前ガニ”と山陰地方の“松葉ガニ”は本種のオスのことです。メスは“セイコガニ”、“コウバコガニ”などと呼ばれています。本種は甲羅の後方の斜面がなだらかなことや、鰓域の側縁に顆粒の列があること、生時の色彩が褐色をしていることなどから、ベニズワイガニと区別できます。甲羅に黒い塊がたくさん着いていることがありますが、これはカニビル(環形動物:ヒル綱)の卵囊です。一見気味が悪いが、これは日本海産のカニに特有なものであり、国産のものとしての識別形質にもなります。水産重要種であるが近年の資源の減少は著しく、国産のオスは高嶺の花となっています。これを補っているのがロシアやアラスカからの輸入物や、国産のベニズワイガニです。
529	地球館3F	ツグミ		中部地方	福井県		動物	鳥類	県の鳥		



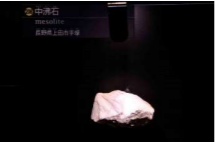



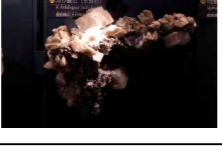

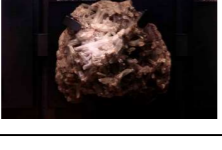
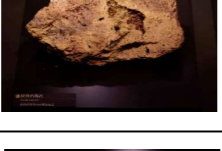


No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>山梨県</b>											
530	日本館2F北翼	甲斐犬		中部地方	山梨県		動物	哺乳類	原産地		甲斐犬は山梨県芦安村で保存されてきた在来犬で、猟犬として優秀な品種です。黒と茶色が入り混じった虎斑模様を作り、色合いが美しい。標本は甲斐黒号という名前の個体で、この犬種の代表的な姿を示すものとされています。
531	日本館2F南翼	キタダケソウ		中部地方	山梨県		植物	植物	植生地域		南アルプスの北岳(きただけ)には、たくさんの植物が生きています。名前にキタダケがつく植物も多く、代表的なものがキタダケソウです。北岳の山頂近くの石灰岩地に根づいています。この石灰岩は南太平洋の海底で積み重なりできたものが長い年月をかけて日本列島にまで移動して、100万年ほど前から標高3000メートルまでもち上げられたと考えられています。キタダケソウは、盗掘で数が少なくなり、現在は大切に保護されています。
532	日本館2F南翼	ニホンジカ(山梨産)		中部地方	山梨県		動物	哺乳類	採集地		
533	日本館3F南翼	鉄重石(灰重石の仮晶)		中部地方	山梨県	山梨市乙女鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
534	日本館3F南翼	カリ長石		中部地方	山梨県	甲府市黒平	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・長野県・岐阜県・鹿児島県)	提供者: 櫻井欽一氏
535	日本館3F南翼	鉄電気石		中部地方	山梨県	甲府市黒平	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・山梨県)	提供者: 櫻井欽一氏
536	日本館3F南翼	フッ素燐灰石		中部地方	山梨県	北杜市小尾八幡	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・山梨県)	提供者: 櫻井欽一氏
537	日本館3F南翼	苦土フォイト電気石		中部地方	山梨県	山梨市京ノ沢	地学	鉱物	採取地		
538	日本館3F南翼	透輝石		中部地方	山梨県	南部町上佐野	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
539	地球館B3F	大村智		中部地方	山梨県	韮崎市	理工	ノーベル賞	出生地	生理学・医学賞	大村 智氏(1935-)は、現在の山梨県韮崎市の農家に生まれました。高校まで家業の農作業を手伝うことが大変勉強になったといひます。県立韮崎高校でスキー部に入り、高校時代や山梨大学生時代はスキーの県大会で好成績をおさめ、山梨県代表として国体に出場したこともあります。卒業後は高校の教員になるため東京に移りましたが、山梨大学の助手として山梨に戻り、ノーベル賞の研究につながる微生物に出会いました。大村氏は、このように人生の重要なポイントに関わる山梨県や韮崎市にはたいへん感謝しています。
540	地球館B2F	燐灰石		中部地方	山梨県	須玉町	地学	鉱物	採取地		
541	地球館B2F	鉄電気石		中部地方	山梨県	甲府市	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・山梨県)	
542	地球館B2F/日本館3F南翼	石英(日本式双晶)		中部地方	山梨県	山梨市乙女鉱山/甲府市	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・長崎県)	2つの平板状水晶がV字型に接合したものが山梨県で多産したことから、「日本式双晶」の名で世界的に有名です。
543	地球館B2F/日本館3F南翼	銅藍		中部地方	山梨県	北杜市増富鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
<b>長野県</b>											
544	日本館B1F	田中 芳男		中部地方	長野県	飯田市	その他	博物館学	出身地		田中芳男氏は、幕末から明治・大正時代わり活躍し、日本の近代化に貢献した博物学者です。上野の地に博物館、動物園、植物園、図書館を構想・実現させたことから「博物館の父」と呼ばれています。1838(天保9)年、信州飯田(現在の長野県飯田市)の生まれです。この胸像は、2007(平成19)年に飯田市の「田中芳男の胸像制作等を願う市民会議」から寄贈されました。
545	日本館2F北翼	木曾馬		中部地方	長野県		動物	哺乳類	生息地		木曾馬は日本の代表的な在来馬の一つです。非常によく働く強い馬で、軍馬、農耕馬として古くから我々の生活を支えてきました。長野県木曾地域で保存されていたため、斜面などの歩行に適した四肢の特徴があります。
546	日本館2F北翼	不定形な石器群		中部地方	長野県	竹佐中原遺跡(長野県)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(東京都・長野県)	長野県からは、旧石器時代の初頭から末期に至る重要遺跡が多数知られています。
547	日本館2F北翼	定形的な石器群:世界最古の刃部磨製石斧、砥石、台形様石器、ナイフ形石器		中部地方	長野県	日向林B・貫ノ木遺跡(長野県)	人類	石器	出土場所		長野県からは、旧石器時代の初頭から末期に至る重要遺跡が多数知られています。特に旧石器時代では世界的に稀な刃部磨製石斧の出土例が極めて充実しています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
548	日本館2F北翼	杉久保型ナイフ形石器		中部地方	長野県	杉久保遺跡(長野県)	人類	石器	出土場所		長野県からは、旧石器時代の初頭から末期に至る重要遺跡が多数知られています。
549	日本館2F北翼	尖頭器		中部地方	長野県	貫ノ木遺跡(長野県)	人類	石器	出土場所	出土場所に重複あり(北海道・神奈川県・長野県)	長野県からは、旧石器時代の初頭から末期に至る重要遺跡が多数知られています。
550	日本館2F北翼	神子柴文化の石器		中部地方	長野県	神子柴遺跡/星光山荘B遺跡(長野県)	人類	石器	出土場所		長野県からは、旧石器時代の初頭から末期に至る重要遺跡が多数知られています。
551	日本館2F北翼	土製耳飾(滑車形)		中部地方	長野県	佐久市	人類	装飾品等	出土場所	出土場所に重複あり(青森県・茨城県・長野県)	所蔵: 東京大学総合研究博物館
552	日本館2F北翼	縄文太鼓と弥生の銅鐸 縄文太鼓		中部地方	長野県	藤内遺跡(長野県)	人類	その他	出土場所		所蔵: 井戸尻考古館(浅間縄文ミュージアム作成)
553	日本館2F南翼	クモマキンポウゲ		中部地方	長野県		植物	植物	植生地域		北アルプスの白馬岳(しろまだけ)は、谷につもった雪のかたまりである雪渓(せっけい)があり登山で人気の山です。高山植物もたくさん見ることができ、その多様さは日本でもトップレベルです。さまざまな植物が観察できる秘密は、その地質の多様さにあり、地面の色が変わると生えている植物も変化します。クモマキンポウゲは、北極周辺の地域に生育していますが、日本では白馬岳の花畑だけで、数も少なく大切に守る必要があります。
554	日本館2F南翼	イノシシ(長野産)		中部地方	長野県		動物	哺乳類	採集地		
555	日本館2F南翼	コマウスユキソウ		中部地方	長野県	中央アルプス木曾駒ヶ岳周辺	植物	植物	植生地域		中央アルプスの木曾駒ヶ岳(きそこまがたけ)は、千畳敷(せんじょうじき)カールという氷河によって削られてできた迫力のある地形で有名です。夏山の登山をはじめ秋の紅葉の名所でもあり、ロープウェイで気軽にアクセスできます。そのカールを登った尾根ぞいなどに生育するのが、コマウスユキソウです。この周辺でしか見ることができない希少な植物で、日本産ウスユキソウ属のなかでは一番小さく、ヒメウスユキソウとも呼ばれます。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
556	日本館2F南翼	ナギソアザミ		中部地方	長野県	南木曾岳	植物	植物	植生地域		
557	日本館3F南翼	木島隕石		中部地方	長野県	下高井郡木島村 (現在の飯山市)	理工	隕石	落下場所		木島隕石は1906年(明治39年)6月15日午後8時40分頃、長野県下高井郡木島村(現在の飯山市)に落下した隕石です。空中で破裂し、多数の石が落ちたと伝えられますが、その夜には民家の庭に落下した49gの小片(木島隕石1号)しか発見されませんでした。展示している隕石(木島隕石2号)は、落下を目撃した発見者が所有地内をくまなく探索して3年後に発見したものです。珍しいEグループに属する球粒隕石ですが、信濃川の氾濫で水に浸かり少し変質しています。
558	日本館3F南翼	流紋岩と黒耀石		中部地方	長野県	和田峠	地学	岩石	採取地		長野県の和田峠は日本有数の黒耀石の産地で、黒耀石は長野県の「県の石(岩石)」でもあります。黒耀石は石器の材料として東日本各地で用いられており、考古学上でも重要です。
559	日本館3F南翼	典型ポドゾル性土(湿性鉄型ポドゾル)		中部地方	長野県	木曾郡王滝村	植物	土壌	採取地		提供:三浦実験林
560	日本館3F南翼	典型ポドゾル性土(乾性ポドゾル)		中部地方	長野県	木曾郡大桑村 極楽平	植物	土壌	採取地		
561	日本館3F南翼	流紋岩		中部地方	長野県	和田峠	地学	岩石	採取地		
562	日本館3F南翼	堇青石		中部地方	長野県	軽井沢町浅間山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(茨城県・長野県)	提供者:櫻井欽一氏
563	日本館3F南翼	緑簾石		中部地方	長野県	上田市下本入	地学	鉱物	採取地		提供者:櫻井欽一氏
564	日本館3F南翼	針鉄鉱(黄鉄鉱の仮晶)		中部地方	長野県	上田市武石	地学	鉱物	採取地		提供者:櫻井欽一氏



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
565	日本館3F南翼	中沸石		中部地方	長野県	上田市手塚	地学	鉱物	採取地		
566	日本館3F南翼	ズニ石		中部地方	長野県	佐久穂町余地	地学	鉱物	採取地		
567	日本館3F南翼	砒鉄鉱		中部地方	長野県	川上村甲武信鉱山	地学	鉱物	採取地		
568	日本館3F南翼	曹柱石		中部地方	長野県	川上村甲武信鉱山	地学	鉱物	採取地		
569	日本館3F南翼	カリ長石		中部地方	長野県	川上村甲武信鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・長野県・岐阜県・鹿児島県)	
570	日本館3F南翼	灰重石		中部地方	長野県	川上村甲武信鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・長野県・京都府)	
571	日本館3F南翼	石英		中部地方	長野県	川上村甲武信鉱山/川上村小川山/北相木村御座山	地学	鉱物	採取地		
572	日本館3F南翼	灰鉄石榴石		中部地方	長野県	南相木村栗生鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(富山県・長野県)	
573	日本館3F南翼	コニク石		中部地方	長野県	茅野市諏訪鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
574	日本館3F南翼	満鑿石榴石		中部地方	長野県	長和町和田峠	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(長野県・愛知県)	和田峠の石榴石は古くから知られ、江戸時代にシーボルトがオランダに持ち帰ったコレクションにも含まれています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
575	地球館B2F	ハウスマン鉱		中部地方	長野県	浜横川鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(東京都・長野県)	
576	地球館B2F	日向林Bおよび貴ノ木遺跡の石器(ナイフ形石器、台形様石器、貝殻状石器と石核、石刃磨製石斧、砥石)		中部地方	長野県		人類	石器	出土場所		所蔵:長野県立歴史館
577	地球館B2F	矢出川遺跡出土の石器(細石刃核、細石刃)		中部地方	長野県		人類	石器	出土場所		所蔵:明治大学
578	地球館B2F/日本館3F南翼	紅柱石		中部地方	長野県	伊那市西春近	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・長野県)	提供者:櫻井欽一氏
579	地球館1F	後期旧石器文化の石器		中部地方	長野県	貴ノ木遺跡	人類	石器	出土場所	磨製石器	
<b>岐阜県</b>											
580	日本館3F北翼	パレオパラドキシア		中部地方	岐阜県	土岐市泉町	地学	化石	産地		埼玉県の県の化石にも指定されているパレオパラドキシアは、最初の全身骨格が岐阜県土岐市の隠居山という丘陵地で発見されました。この地は7世紀以降須恵器などの窯業で発展し、現在の美濃焼の中心地です。そうした窯が多く残る山肌、ひとつだけ全身骨格の発掘跡が小穴になって残っています。
581	日本館3F北翼	スカテラム		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	頭部/尾部あり 三葉虫類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。
582	日本館3F北翼	クロタロセハリナ		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	三葉虫類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。








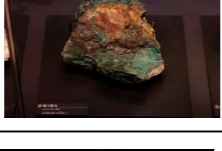
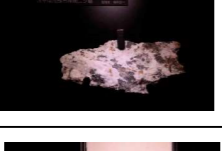

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
583	日本館3F北翼	グラビカリメネ		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	三葉虫類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。
584	日本館3F北翼	クラビディクチオン		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	層孔虫類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759660">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759660</a>
585	日本館3F北翼	クラスロディクチオン		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	層孔虫類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759659">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759659</a>
586	日本館3F北翼	アンフィポーラ		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	層孔虫類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759661">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759661</a>
587	日本館3F北翼	ヘリオリテス		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	日石サンゴ、床板サンゴ類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759663">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759663</a>
588	日本館3F北翼	ミケリノセラス		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	オウムガイ類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759664">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759664</a>
589	日本館3F北翼	フクジセラス		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	オウムガイ類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759665">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759665</a>
590	日本館3F北翼	ファボシテス		中部地方	岐阜県	高山市福地	地学	化石	産地	産地に重複あり(岐阜県・高知県) ハチノスサンゴ、床板サンゴ類	福地のデボン紀化石群 岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷には、今から約4億年前(古生代デボン紀前期)の地層(石灰岩や泥岩)が分布しています。サンゴ、層孔虫(カイメンの仲間)、三葉虫、直角石(オウムガイの仲間)など様々な化石が見つかり、当時の豊かな海の様子をかいま見ることができます。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759662">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759662</a>
591	日本館3F北翼	アンキテリオミス		中部地方	岐阜県	可児市	地学	化石	産地	ビーバー科	

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
592	日本館3F北翼	ツキノオサガリ		中部地方	岐阜県		地学	化石	産地	産地に重複あり(茨城県・岐阜県・岡山県・広島県・鹿児島県)	瑞浪市のもののみです。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB3/index.html</a>
593	日本館3F北翼	ヒラマキウマ		中部地方	岐阜県	可児市	地学	化石	産地		日本から見つかったアンキテリウム的一种がヒラマキウマと呼ばれています。アンキテリウムは中新世前期に北アメリカからアジアに渡り、ヨーロッパへ広がり、中新世後期に絶滅したと考えられているウマ類です。
594	日本館3F北翼	デスモステルス		中部地方	岐阜県	瑞浪市明世町	地学	化石	産地		日本の古脊椎動物学史において、最初に新種で記載された絶滅哺乳類は、最初田んぼの畦石に使われていました。瑞浪地方が後に「化石の里」として日本で最初の化石専門の博物館ができる遠いきっかけとなった化石です。
595	日本館3F北翼	飛驒片麻岩		中部地方	岐阜県	飛驒市	地学	岩石	採取地		これまで日本産のシカマイアはアカサカエンシスという1種のみが知られていました。しかし、最近採取された標本を見ると、他にもいくつかの種があるようです。この標本はアカサカエンシスと同じ赤坂金生山から採取されたもので、殻の頂上部分(殻頂部という)を含む半分だけが残っています。もしこれを復元すると、殻の最大長は1メートルを超える可能性があります。注目すべき点は殻頂部が羊の角のように湾曲しながら広がっていることで、とても二枚貝とは思えない奇妙な形をしています。シカマイアがどのような生活をしていたのかなど、多くの謎が残されています。
596	日本館3F北翼	片麻岩(日本最古の岩石)		中部地方	岐阜県	七宗町	地学	岩石	採取地		提供者: 足立守氏
597	日本館3F北翼	砂岩		中部地方	岐阜県	関市	地学	岩石	採取地		
598	日本館3F北翼	泥岩		中部地方	岐阜県	関市	地学	岩石	採取地		
599	日本館3F北翼	石灰岩		中部地方	岐阜県	関市	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(栃木県・岐阜県)	
600	日本館3F北翼	シカマイア		中部地方	岐阜県	本巣町根尾谷/大垣市赤坂金生山	地学	鉱物	採集地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでもたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものを含めることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
601	日本館3F北翼	シーロガストロセラス		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	鉱物	採集地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
602	日本館3F北翼	アルーラ		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
603	日本館3F北翼	シゾーダス		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
604	日本館3F北翼	所属不明の二枚貝		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
605	日本館3F北翼	ツノガイの1種		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
606	日本館3F北翼	オキナエビスガイ科?の1種		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
607	日本館3F北翼	マーチソニアの1種		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
608	日本館3F北翼	マーチソニア		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ベルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
609	日本館3F北翼	トラスピラ		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
610	日本館3F北翼	バスロトマリア		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
611	日本館3F北翼	ナティコプシス		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759647</a>
612	日本館3F北翼	日本最古の化石を含む可能性のある珪質岩		中部地方	岐阜県	高山市奥飛騨温泉郷岩坪谷	地学	岩石	採集地		日本最古の化石は、岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷に分布する今から約4億5000万年前(古生代オルドビス紀)の珪質岩の中から見つかりました。コノドントといわれる小さな歯状の化石で、原始的な魚類の摂食器官と考えられています。珪質岩を酸で溶かし、顕微鏡で観察することによって化石が見つかります。
613	日本館3F北翼	イグアノドン類の上顎の歯		中部地方	岐阜県	高山市荘川町大黒谷/手取層群大黒谷層	地学	化石	産地		
614	日本館3F北翼	礫岩		中部地方	岐阜県	七宗町	地学	岩石	採取地		
615	日本館3F南翼	美濃(岐阜)隕石		中部地方	岐阜県	旧武儀郡藍見村(現在の美濃市極楽寺)	理工	隕石	落下場所		美濃隕石は1909年(明治42年)7月24日午前5時44分頃、岐阜県の岐阜市北部から山県市、関市、美濃市にかけての広い範囲(約12x4kmの楕円形の地域)に隕石雨となって多数の破片を降らせた隕石です。展示している標本は最大の破片である藍見号で、落下範囲の北東の端にあたる旧武儀郡藍見村(現在の美濃市極楽寺)に落下しました。目撃者によると、大きな音と共に煙のようなものがやってきて、その中に数個の黒いかたまりが落ちていくのが見えたとのこと。当館には小片を含めて12個の標本が保管されています。なお、国際的な登録名はGifu(岐阜)となっています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1761031">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1761031</a>
616	日本館3F南翼	カリ長石		中部地方	岐阜県	中津川市蛭川田原	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・岐阜県・長野県・鹿児島県)	

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
617	日本館3F南翼	苦土大隅石		中部地方	岐阜県	飛騨市月ヶ瀬谷	地学	鉱物	採取地		
618	日本館3F南翼	神岡鉱		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地		
619	日本館3F南翼	フッ素魚眼石		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地		
620	日本館3F南翼	珪灰鉄鉱		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
621	日本館3F南翼	方解石		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・栃木県・新潟県・岐阜県・滋賀県・鹿児島県)	提供者: 櫻井欽一氏
622	日本館3F南翼	自然砒		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福井県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
623	日本館3F南翼	緑鉛鉱		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(石川県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
624	日本館3F南翼	珪孔雀石		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岐阜県・山口県)	
625	日本館3F南翼	チタン石		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡二ツ屋	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
626	日本館3F南翼	自然金		中部地方	岐阜県	高山市大平鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・埼玉県・岐阜県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
627	日本館3F南翼	セリウムヒンガン石		中部地方	岐阜県	中津川市蛭川田原	地学	鉱物	採取地		
628	日本館3F南翼	トバズ		中部地方	岐阜県	中津川市蛭川田原	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岐阜県・滋賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
629	日本館3F南翼	緑柱石		中部地方	岐阜県	中津川市福岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県・岐阜県・滋賀県・佐賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
630	日本館3F南翼	透輝石		中部地方	岐阜県	関市洞戸鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・岐阜県)	提供者: 今井裕之氏
631	日本館3F南翼	灰鉄輝石		中部地方	岐阜県	山県市柿野鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
632	日本館3F南翼	チャート		中部地方	岐阜県	関市	地学	岩石	採集地	採集地に重複あり(岐阜県・愛知県・京都府)	岐阜県の「県の石(岩石)」です。岐阜城のある金華山もほとんどこの岩石です。
633	地球館B2F	鉛垂鉛鉱石(接触交代鉱石)		中部地方	岐阜県	神岡鉱山	地学	鉱物	採取地		
634	地球館B2F	フズリナ		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂町	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでもたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1752474">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1752474</a>
635	地球館B2F	プロデンタリウム		中部地方	岐阜県	大垣市	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでもたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1752731">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1752731</a>



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
636	地球館B2F	アマガイモドキの化石種		中部地方	岐阜県	大垣市	地学	化石	産地	産地に重複あり(千葉県・岐阜県)	岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1752799">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1752799</a>
637	地球館B2F	ワーゲノフィルム		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂町	地学	化石	産地	産地に重複あり(岐阜県・山口県)	岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1948313">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1948313</a>
638	地球館B2F/日本館3F北翼	ウミユリの1種		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759644">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759644</a>
639	地球館B2F/日本館3F北翼	ペレロフォン		中部地方	岐阜県	大垣市赤坂金生山	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することてたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものが含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759633">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759633</a>
640	地球館B2F/日本館3F南翼	異極鉱		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岐阜県・大分県)	
641	地球館B2F/日本館3F南翼	閃亜鉛鉱		中部地方	岐阜県	飛騨市神岡鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・秋田県・埼玉県・新潟県・岐阜県)	提供者: 櫻井欽一氏
642	地球館B2F/日本館3F南翼	石英(黒水晶)		中部地方	岐阜県	福岡町/岐阜県中津川市 蛭川田原	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
643	地球館B2F/日本館3F南翼	輝水鉛鉱		中部地方	岐阜県	白川村平瀬鉱山	地学	鉱物	採取地		平瀬鉱山は大型の輝水鉛鉱結晶を多産し、世界的に有名です。


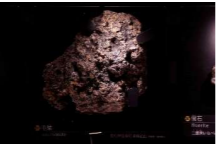


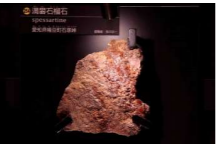





No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
644	地球館1F	プレウロトマリア		中部地方	岐阜県	大垣市	地学	化石	産地		岐阜県南部の金生山は、日本から初めて化石が報告された地として知られるほか、多様な無脊椎動物化石を豊富に産することでもたいへん有名です。そのなかでも貝化石は巨大なものを含まれることで注目されてきましたが、その実、分類学的な検討すら進んでいませんでした。近年の研究により、謎の二枚貝とされてきたシカマイアの全体像が復元されるなど、徐々に全容が明らかになりつつあります。これら金生山の化石群は「ペルム紀化石群」として岐阜県の化石に指定されています。これらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=2974986">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=2974986</a>
<b>静岡県</b>											
645	日本館天井	日本館ステンドグラス		中部地方	静岡県	静岡県	その他	その他	設計者:小川三知の出生地		
646	日本館2F北翼	細石刃文化期の人骨化石		中部地方	静岡県	浜北遺跡(静岡県)	人類	人骨	出土場所		静岡県浜北遺跡から出土した人骨は、本州で旧石器時代に属することが確認できた唯一の人骨標本です。
647	日本館2F北翼	刻みのある石製ペンダント		中部地方	静岡県	富士石遺跡(静岡県)	人類	石器	出土場所		日本の旧石器時代の装飾品として貴重な一例です。静岡県のこの地域では、世界最古級の狩猟用落し穴群など、旧石器人の暮らし方を知る上で重要な遺跡が多数あります。
648	日本館3F南翼	斑れい岩		中部地方	静岡県	浜名湖北	地学	岩石	採取地		
649	日本館3F南翼	アルカリ玄武岩		中部地方	静岡県	焼津	地学	岩石	採取地		水中に噴出したマグマが固化した溶岩です。昔は海山でしたが、日本列島に付加して地表へ露出しました。No.564針鉄鉱(黄鉄鉱の仮晶)と同じ地質ですが、採取地が異なります。
650	日本館3F南翼	枕状溶岩(玄武岩)		中部地方	静岡県	丸子	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(静岡県・愛媛県)	水中に噴出したマグマが固化した溶岩です。昔は海山でしたが、日本列島に付加して地表へ露出しました。No.563緑簾石と同じ地質ですが採取地が異なります。
651	日本館3F南翼	自然テルル		中部地方	静岡県	下田市河津鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・静岡県)	提供者:櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
652	日本館3F南翼	河津鉱		中部地方	静岡県	下田市河津鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
653	日本館3F南翼	イネス石		中部地方	静岡県	下田市河津鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
654	日本館3F南翼	欽一石		中部地方	静岡県	下田市河津鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 堀秀道氏 レアメタルのテルルを主成分に含む新鉱物です。河津鉱山はテルルを産出する国内の代表的な鉱山の一つです。
655	日本館3F南翼	テルル石		中部地方	静岡県	下田市河津鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・静岡県)	提供者: 櫻井欽一氏
656	日本館3F南翼	東沸石		中部地方	静岡県	伊豆の国市小室	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
657	日本館3F南翼	菱沸石		中部地方	静岡県	清水町徳倉	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
658	日本館3F南翼	鉄斧石		中部地方	静岡県	静岡市口仙俣	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
659	地球館B3F	天野浩		中部地方	静岡県 愛知県	名古屋市	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	物理学賞	2014年のノーベル物理学賞は、青色発光ダイオード(LED)を発見した3人の研究者に贈られました。その一人が天野浩氏(1960-)です。天野氏は静岡県出身で、名古屋大学の工学部に進みました。そこで卒業研究に選んだのが、青色LEDの開発に取り組んでいた赤崎勇氏の研究室でした。さらに大学院に進んだ天野氏は、赤崎氏とともに、何度も何度も実験をくりかえしました。こうした努力から、青色LEDが生まれたのです。
660	地球館B3F	鈴木梅太郎		中部地方	静岡県	牧之原市	理工	科学者	出生地		ビタミンの発見で知られる鈴木梅太郎氏(1874-1943)は、現在の静岡県牧之原市に農家の次男として生まれました。学業優秀で先生から上級の学校に進むことを勧められましたが、家計に余裕がなくいったんは断念しました。しかし、友人と示し合せて国府津まで徒歩で行き、東京都に家出しました。長兄が両親にかけあって、東京都で学ぶことを許してもらい、当時駒場にあった東京農林学校(現在の東京大学農学部)に入学しました。米糠の研究からビタミンを発見したのも、牧之原の農家に育ったことが基盤になっています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
661	地球館B2F	濃紅銀鉱		中部地方	静岡県	土肥鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(静岡県・島根県・鹿児島県)	
662	地球館B2F/日本館3F南翼	プロシヤン銅鉱		中部地方	静岡県	下田市河津鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
663	地球館B2F/日本館3F南翼	針銀鉱		中部地方	静岡県	伊豆市清越鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
664	地球館2F	約1万1000年前の地磁気を示す富士山の溶岩		中部地方	静岡県	富士市	地学	岩石	採取地		
665	地球館2F	高柳式テレビジョンシステム 機能復元模型		中部地方	静岡県		理工	制作物ゆかりの地			日本のテレビ技術の発展に大きく貢献した高柳健次郎氏(1899-1990)は、静岡県浜名郡和田村(今の静岡県浜松市東区安新町)に生まれました。1924年(大正13年)に浜松高等工業学校(現・静岡大学工学部)に赴任すると、本格的にテレビジョンの研究をはじめ、日本で初めて画像の伝送・ブラウン管での受像に成功しています。それは1926年12月25日とされています。
<b>愛知県</b>											
666	日本館2F北翼	抜歯のある縄文人男性頭骨		中部地方	愛知県	伊川津貝塚(愛知県)	人類	人骨	出土場所		愛知県の渥美半島周辺は大規模な貝塚遺跡が多数発見されており、縄文時代後晩期に属する数多くの人骨が出土しています。そこから、当時の風習や生活様式、特に漁労活動との関係性が指摘されています。
667	日本館2F北翼	ジキン		中部地方	愛知県		動物	魚類	生息地	愛知県天然記念物	日本で最初に作られた品種で、三河・尾張地方で知られています。「ジキン」は「地金魚」の意味です。最初に渡来した金魚の原型であるワキン系の品種で、尾びれ以外はワキンの特徴を残しています。綺麗な体色を出すために鱗をとったり、薬を塗るなどの化粧をほどこします。1958年に愛知県の天然記念物に指定されています。名古屋城の金のシャチホコを彷彿させる形の尾びれが特徴で、「鯨(シャチ)」などとも呼ばれます。「日本の3大地金魚」のひとつ。
668	日本館3F北翼	ゴカクヒトデ科の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地	ヒトデ類	



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
669	日本館3F北翼	ホタルジャコ科?の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地	魚類	師崎層群の深海生物化石群 愛知県・知多半島は、潜水艦なしで深海生物の調査ができる世界的にも貴重な場所です。ここには、今から約1600万年前(新生代中新世)に深海で形成された地層が分布し、魚、ヒトデ、ウニなど保存状態のよい深海生物の化石が見つかります。これらの深海生物は、砂や泥が地震や嵐によって浅海から深海に運ばれる際に、巻き込まれて生き埋めになったと考えられています。
670	日本館3F北翼	ハダカイワシ科?の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地	魚類	
671	日本館3F北翼	キクバナヒトデ科の一種		中部地方	愛知県	南知多町大泊	地学	化石	産地	ヒトデ類	
672	日本館3F北翼	ウキエソ属の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地	魚類	
673	日本館3F北翼	トミハダカ属の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地	魚類	
674	日本館3F北翼	ハダカイワシ属の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地		
675	日本館3F北翼	ナマハゲフクロウニ属の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地	ウニ類	
676	日本館3F北翼	ホウライエソ属の一種		中部地方	愛知県	南知多町岩屋	地学	化石	産地		愛知県の知多半島に分布する前期中新世の師崎層群からは、さまざまな深海生物の化石群集が見つかっています。その中でも条鰭類魚類は約100種が発見されていて、さらに発光器など通常は化石に残らない部分が保存されているなど、化石化のプロセスを考える上でも非常に貴重です。このように例外的に抱負な古生物学的な情報を含む化石産出層のことを化石鉱脈(ラガシュテッテ)と呼びますが、師崎層群は世界的にも非常に貴重な化石鉱脈の一つです。
677	日本館3F北翼/ 日本館3F南翼	チャート		中部地方	愛知県	犬山市/大山	地学	岩石	採集地	採取地に重複あり(岐阜県・愛知県・京都府)	犬山のチャートは放射虫化石により詳細に年代が決定されました。日本列島が付加体によって形成された証拠を明確に示しました。
678	日本館3F南翼	田原隕石		中部地方	愛知県	田原市三河港	理工	隕石	落下場所		田原隕石は1991年(平成3年)3月26日正午頃、愛知県田原市の三河港に着岸中の自動車運搬船に落下した隕石です。船員が昼食を終えて帰ってくると、厚さ12mmの鋼鉄製の甲板に長さ20cm深さ3cmのへこみを作って、隕石が砕け散っていたとのこと。船に隕石が落下し回収されたのは世界で初めてです。全体で10kg以上あったと思われませんが、大部分は廃棄され、保存されているのは船員が持ち帰った1kg程度でした。







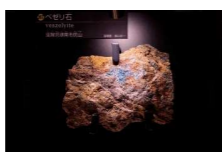


No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
679	日本館3F南翼	輝安鉱		中部地方	愛知県	設楽町津具鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(愛知県・愛媛県)	提供者: 櫻井欽一氏
680	日本館3F南翼	毛鉱		中部地方	愛知県	設楽町津具鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(埼玉県・愛知県)	提供者: 櫻井欽一氏
681	日本館3F南翼	パイロクスマンガン石		中部地方	愛知県	設楽町田口鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・愛知県)	提供者: 櫻井欽一氏 ありふれたマンガン鉱物だが肉眼的な結晶は世界的に見ても非常に珍しいです。
682	日本館3F南翼	中宇利石		中部地方	愛知県	新城市中宇利鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 鈴木重人氏
683	日本館3F南翼	満鑿石榴石		中部地方	愛知県	幡豆町石塚峠	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(長野県・愛知県)	提供者: 櫻井欽一氏
684	日本館3F南翼	珪灰石		中部地方	愛知県	犬山市安楽寺	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
685	日本館3F南翼	リシオフォル鉱		中部地方	愛知県	瀬戸市陣屋	地学	鉱物	採取地		提供者: 神谷俊昭氏
686	日本館3F南翼	典型風化変質赤黄色土		中部地方	愛知県	愛知県新城市上吉国	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(岩手県・愛知県)	提供: 愛知県森林・林業技術センター
687	日本館3F南翼	典型黄褐色森林土(チョコレート褐色土)		中部地方	愛知県	愛知県新城市竹ノ輪	植物	土壌	採取地		
688	日本館3F南翼	小牧隕石		中部地方	愛知県	小牧市	理工	隕石	落下場所		小牧隕石は、2018年9月26日(水)22時30分頃、愛知県小牧市の民家に落下した隕石です。落下時に大きな音がして、翌朝調べると屋根に大きなえぐれた跡があり、庭とテラスで破片が発見されました。また、隣家のカーポートの屋根に穴が開き、止めてあった車の屋根にもへこみができていて、玄関前に隕石が発見されました。隕石は、前者の家の屋根に当たって一部欠けたあと、後者の家のカーポートの屋根を破って地面に達したと考えられます。Lグループの球粒隕石に分類され、宇宙線照射年代は2510±60万年でした。これは小牧隕石が元の天体から別れて小さなかげらとなった期間を表します。



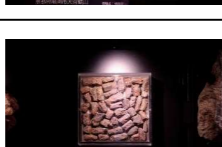
No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
689	地球館B3F	小柴昌俊		中部地方	愛知県 岐阜県	飛騨市神岡町	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	物理学賞	岐阜県飛騨市神岡町の山中に、宇宙からやってくる素粒子の一種「ニュートリノ」をつかまえるための巨大な検出装置があります。「カミオカンデ」です。この装置を最初に考えてつくったのが、愛知県出身の小柴昌俊氏(1926-2020)でした。初代カミオカンデは、超新星から飛んできたニュートリノを1987年に世界ではじめてとらえ、天文学に革新をもたらしました。この業績により、小柴氏は2002年にノーベル物理学賞をもらいました。
690	地球館B3F	小林誠		中部地方	愛知県	名古屋市	理工	ノーベル賞	出生地 ゆかりの土地	物理学賞	小林誠氏(1944-)と益川敏英氏(1940-2021)は、2008年のノーベル物理学賞を共同で受賞しました。対象となった研究成果は京都大学で生まれたもので、「小林=益川理論」とよばれています。そんな二人ですが、ともに出身は愛知県で、名古屋大学の理学部を出ています。じつは、同じ研究室の先輩と後輩なのです。小林氏のほうが後輩で、「小林=益川理論」の研究では、益川氏のアイディアを深く検討したり、論文を英語で書き直したりしました。
691	地球館B3F	益川敏英		中部地方	愛知県	名古屋市	理工	ノーベル賞	出生地 ゆかりの土地	物理学賞	益川敏英氏(1940-2021)と小林誠氏(1944-)は、2008年のノーベル物理学賞を共同で受賞しました。対象となった研究成果は京都大学で生まれたもので、「小林=益川理論」とよばれています。そんな二人ですが、ともに出身は愛知県で、名古屋大学の理学部を出ています。じつは、同じ研究室の先輩と後輩なのです。益川氏のほうが先輩で、「小林=益川理論」の研究では、基本となるアイデアを考えたり、論文の下書きを日本語でつくったりしました。
692	地球館B3F	利根川進		中部地方	愛知県・ 富山県	富山市	理工	ノーベル賞	成長地	生理学・医学賞	免疫の多様性を遺伝子レベルで解明し、1987年に日本人として初めてノーベル生理学・医学賞を受賞した利根川進氏(1939-)は、紡績会社のエンジニアだった父の転勤にともない各地に住みましたが、小学校1年から中学校1年までを富山県大沢野町(現・富山市)で過ごしました。広大な自然環境の中でのびのびと遊ぶことができ、自己形成にとてもよかったですと述べています。その頃の資料が旧大沢野町に寄贈されています。
693	地球館2F	無停止杼換式豊田自動織機(G型)		中部地方	愛知県		理工	制作物ゆかりの地	制作者:豊田佐吉の縁 の地(豊田自動織布工 場設立場所)		G型織機を開発した豊田佐吉は、静岡県湖西市で生まれ、18歳の頃に社会の役に立ちたいと織機の改良を志し、東京上野で開催された第3回内国勧業博覧会の自動織機などを参考に豊田式木製人力織機を発明しました。その後も自動織機の開発を続け、多くの特許を取得し、1911年には名古屋市西区則武新町に織機の研究開発のために織布工場を建設しました。その営業的試験の中から、世界最高の性能を持ったG型織機が生まれました。
<b>三重県</b>											
694	日本館2F北翼	伊勢菊		近畿地方	三重県	三重県	植物	植物	植生地域		
695	日本館3F北翼	緑色岩		近畿地方	三重県	鳥羽市	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(群馬 県・三重県)	
696	日本館3F南翼	典型黄褐色森林土		近畿地方	三重県	三重県多気郡多気町丹生	植物	土壌	採取地		



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
697	日本館3F南翼	蛍石		近畿地方	三重県	いなべ市石榑	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・三重県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
698	日本館3F南翼	アルモヒドロカルサイト		近畿地方	三重県	多気町	地学	鉱物	採取地		提供者: 稲葉幸郎氏 比較的産出の珍しい鉱物で、多気町は代表的産地の一つ。
699	日本館3F南翼	褐簾石		近畿地方	三重県	津市福田山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・三重県)	
700	日本館3F南翼	珪線石		近畿地方	三重県	熊野市加田	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
701	日本館3F南翼	黄銅鉱		近畿地方	三重県	熊野市紀州鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・茨城県・栃木県・埼玉県・三重県・愛媛県)	
702	地球館B2F	藍鉄鉱		近畿地方	三重県	菟野町	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(三重県・大分県)	
<b>滋賀県</b>											
703	日本館3F南翼	田上(田上山)隕鉄		近畿地方	滋賀県	大津市田上山	理工	隕石	発見場所		現存する日本に落下した隕石で一番重いものです。発見時の重さは174kg。明治18年(1885年)頃に現在の滋賀県大津市にある田上山の山中で発見されたと伝えられています。主成分は鉄ニッケル合金で、ニッケルを約9%含む典型的なオクタヘドライト(八面体)隕鉄です。切断面を薄い酸でエッチングするとウイドマンシュテッテン構造と呼ばれる八面体構造を持つ模様が見られます。これは非常にゆっくりと冷却され、カマサイトとターナイトと呼ばれる二種類の金属相が成長したためで、鉄隕石特有のもので、国際的な登録名はTanokami mountainとなっています。
704	日本館3F南翼	ビワコオオナマズ		近畿地方	滋賀県		動物	魚類	生息地		日本の中でも琵琶湖と淀川水系にしか生息していない固有種です。一生を淡水で過ごす純淡水魚の中では、日本最大の種であり、全長1mを超える個体も多くいます。魚食性が強く、アユやフナ類、外来種のブルーギルやオオクチバスを食べることが知られています。6月下旬～7月の梅雨明けのころには、産卵のために岸に集まります。夜行性であり、産卵も夜間に行われます。
705	日本館3F南翼	田根隕石		近畿地方	滋賀県	滋賀県東浅井郡田根村 (現在の長浜市)	理工	隕石	落下場所		田根隕石は1918年(大正7年)1月25日午後3時頃、滋賀県東浅井郡田根村(現在の長浜市)の積雪中の桑畑に落下しました(田根隕石1号 312g)。同年4月11日になって、2.5km離れた小谷村で速水村の村民がもう1つの破片を発見しました(田根隕石2号 594g)。2号はこのため速水号とも呼ばれ、現在は米国のスミソニアン・国立自然史博物館に保存されています。両者は互いにびたりと合わさる面を持ち、空中で分裂したことを示しています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
706	日本館3F南翼	オオセンチコガネ滋賀県産		近畿地方	滋賀県		動物	昆虫	特有性のある生息地	ミドリセンチコガネ	オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。近畿地方の滋賀県から三重県にかけての地域には、鮮やかな金緑色の個体群が生息し、「ミドリセンチコガネ」の別名でよく知られています。
707	日本館3F南翼	滋賀石		近畿地方	滋賀県	栗東市五百井鉱山	地学	鉱物	採取地		
708	日本館3F南翼	典型普通褐色森林土		近畿地方	滋賀県	滋賀県大津市不動寺	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(滋賀県・京都府)	
709	日本館3F南翼	ヘルバイト		近畿地方	滋賀県	彦根市大堀鉱山	地学	鉱物	採取地		
710	日本館3F南翼	緑柱石		近畿地方	滋賀県	大津市田ノ上	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県・岐阜県・滋賀県・佐賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
711	日本館3F南翼	益富雲母		近畿地方	滋賀県	大津市田ノ上	地学	鉱物	採取地		
712	日本館3F南翼	ベゼリ石		近畿地方	滋賀県	湖南省灰山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・滋賀県)	提供者: 櫻井欽一氏
713	地球館B2F	ばら輝石		近畿地方	滋賀県	熊畑鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・栃木県・滋賀県)	
714	地球館B2F	方解石		近畿地方	滋賀県	多賀町	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・栃木県・新潟県・岐阜県・滋賀県・鹿児島県)	寄贈者: 常陸宮

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
715	地球館B2F/日本館3F南翼	トバズ		近畿地方	滋賀県	大津市田ノ上	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岐阜県・滋賀県)	提供者: 櫻井欽一氏 明治時代に多産し、万国博覧会にも出展されました。
716	地球館1F	ゲンゴロウブナ		近畿地方	滋賀県	琵琶湖	動物	魚類	原産地		ゲンゴロウブナは琵琶湖と淀川水系にのみ生息する固有種です。一方、人の手によって品種改良されたヘラブナ(ゲンゴロウブナの飼育型)は、日本全国に移植・放流され、繁殖しています。植物プランクトンを主に食べ、雑食性の他のフナ類と比べて、エサをこし取る鰓耙(さいは)と呼ばれる器官の数が非常に多くなっています。本来の生息域のゲンゴロウブナは、環境省のレッドリストの絶滅危惧IB類に分類されています。
<b>京都府</b>											
717	日本館2F北翼	嵯峨菊		近畿地方	京都府	京都府	植物	植物	植生地域		
718	日本館2F南翼	ニホンジカ(京都産)		近畿地方	京都府		動物	哺乳類	採集地		
719	日本館3F南翼	曾根隕石		近畿地方	京都府	船井郡京丹波町	理工	隕石	落下場所		曾根隕石は1866年(慶応2年)6月7日正午過ぎに当時の丹波国曾根村(現在の京都府京丹波町)に落下しました。大砲のような音が2回あり、麦畑に落下して土煙たてたと記録されています。曾根村近くの村の代官であった高木家に保管されてきましたが、昭和41年に博物館に寄託され、その後、京都府に寄贈されています。Hグループの普通球粒隕石に分類されます。
720	日本館3F南翼	トルトペイト石		近畿地方	京都府	京丹後市大路	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
721	日本館3F南翼	河辺石		近畿地方	京都府	京丹後市白石山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
722	日本館3F南翼	灰重石		近畿地方	京都府	亀岡市大谷鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・長野県・京都府)	提供者: 櫻井欽一氏
723	日本館3F南翼	桜石(堇青石の仮晶)		近畿地方	京都府	亀岡市桜天神	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 堇青石が風化変質すると断面に六弁の花びら模様が現れることが多いが、天満宮のものは特に典型的なため、国の天然記念物に指定されています。








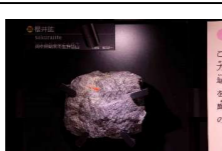


No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
724	日本館3F南翼	テフロ石		近畿地方	京都府	加茂町法花寺野	地学	鉱物	採取地		
725	日本館3F南翼	園石		近畿地方	京都府	和束町園鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
726	日本館3F南翼	典型普通褐色森林土		近畿地方	京都府	京都府南丹市美山町	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(滋賀県・京都府)	
727	地球館B3F	本庶佑		近畿地方	京都府	京都市	理工	ノーベル賞	出生地 研究が行われた土地	生理学・医学賞	2018年のノーベル生理学・医学賞をもらった本庶佑氏(1942-)は、京都市で生まれ育ちました。卒業した大学も京都大学なら、ノーベル賞につながった研究をおこなったのも京都大学。まさに京都府が生んだノーベル賞といえそうです。本庶氏のノーベル賞は、私たちの体にそなわっている免疫のしくみを生かしてがんを治すという、新しい治療法の発見に対して贈られました。本庶氏はこのほかにも、免疫についてたくさんの発見をしています。
728	地球館B2F	クロム鉄鉱		近畿地方	京都府	宮津市	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・京都府)	
729	地球館B2F	砥石の中のコノドント		近畿地方	京都府	西山	地学	化石	産地		三畳紀の深い海の底にたまった細粒な地層で、長さ1mmほどのコノドント化石を含んでいます。良質な砥石として知られ京都府にいくつかの採掘場があります。
730	地球館2F	エジソン電球		近畿地方	京都府	八幡市	理工	制作物の関連	京都の竹を使用		米国の発明家トマス・A・エジソン氏は、1879年に白熱電球の安定した点灯に成功します。そしてより長時間安定して点灯する白熱電球を作るため、フィラメントと呼ばれる光を出す部分の材料を世界中で探しました。その結果、京都府八幡市の真竹が最適であることがわかり、その後約10年間に渡ってエジソンの電球に使われました。
<b>大阪府</b>											
731	日本館1F南翼	平天儀図解		近畿地方	大阪府		理工	制作者の出生地	制作者: 岩橋善兵衛の出生地		江戸時代の望遠鏡製作者で有名な和泉国貝塚(現在の大阪府貝塚市)出身の岩橋善兵衛(1756-1811)は、自ら天体観測を行うだけでなく、1802(享和2)年には『平天儀図解』という天文解説書も著しています。『平天儀図解』には、彼が1793(寛政5)年に製作した望遠鏡「窺天鏡(きてんきょう)」や、観測した太陽、月、惑星のようすが描かれています。彼は天の川がたくさんの小さな星でできていることも確かめています。
732	日本館1F南翼	遠眼鏡		近畿地方	大阪府		理工	制作者の出生地	制作者: 岩橋善兵衛の出生地		江戸時代の有名な望遠鏡製作者に、和泉国貝塚(現在の大阪府貝塚市)出身の岩橋善兵衛(1756-1811)がいます。遠眼鏡は当時の望遠鏡の呼び名で、レンズを何枚も組み合わせで作られています。望遠鏡は1608年に発明され、まもなく日本に渡来しましたが、多く製作されるようになったのは8代将軍吉宗の頃からです。岩橋善兵衛の望遠鏡は、幕府の天文観測や伊能忠敬の測量に採用されるほど性能の良いものでした。


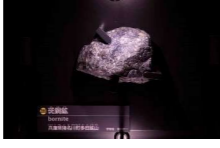



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
733	日本館1F南翼	寛政暦		近畿地方	大阪府		理工	制作者ゆかりの地	制作者：大阪天文暦学者の麻田剛立一門の高橋至時、間重富		18世紀半ば、当時の幕府は暦の不備に悩んでいました。きちんとした暦を作ることでできない役人たちをあきらめた幕府は、大坂で独自に暦や天文の研究を行っていた麻田剛立門下の高橋至時(1764-1804)と間重富(1756-1816)を江戸に呼び寄せることにしました。西洋天文学を取り入れた初めての日本の暦、寛政暦は1798(寛政10)年から施行されました。地図で有名な伊能忠敬(1745-1818)は、高橋至時のもとで天文測量を学んだ弟子の一人です。
734	日本館2F北翼	国府型ナイフ形石器		近畿地方	大阪府	大阪府羽曳野市翠鳥園遺跡	人類	石器	出土場所		大阪府の翠鳥園遺跡は、旧石器時代の石器製作現場がそのまま保存されていた稀な遺跡です。
735	日本館3F南翼	チタン鉄鉱		近畿地方	大阪府	茨木市銭原	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・大阪府)	
736	地球館B3F	江崎玲於奈		近畿地方 関東地方	大阪府 東京都	品川区	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	物理学賞	江崎玲於奈氏(1925-)は、半導体デバイス的一种である「エサキダイオード」の発見で、1973年のノーベル物理学賞をもらった人です。生まれは大阪府で、高校までは京都府でしたが、そのあと東京都に移りました。「エサキダイオード」を発見したのは、東京通信工業という会社(現在のソニー)で働いていたときのことです。まだ目新しかった物理学の知識を工業に応用すれば、何か役立つ面白いものができると思ったと、のちに語っています。
737	地球館B3F	山中伸弥		近畿地方	大阪府 京都府	東大阪市 京都市	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	生理学・医学賞	山中伸弥氏(1962-)は、iPS細胞の発見で、2012年のノーベル生理学・医学賞をもらいました。生まれは現在の東大阪市で、小学生のときに奈良県に引っ越ししました。医者になるとして医学部を出た山中氏でしたが、どんなすぐれた医者にも治せないような患者さんを見て、研究者をめざしたいといいます。やがてハードワークのすえ、京都大学の研究室メンバーとともにiPS細胞を発見。さまざまな治療の可能性をきりひらきました。
738	地球館B3F	吉野彰		近畿地方	大阪府	吹田市	理工	ノーベル賞	出生地	化学賞	吉野 彰氏(1948-)は吹田市千里山に生まれ育ちました。少年時代は自然が豊かで、虫取りなどをして自然現象に関心をもったといいます。千里第二小学校の4年生の時に、大学で化学を学んで卒業したばかりの担任の先生から化学の話聞き、「化学っておもしろそうだ」と興味をもったといいます。マイケル・ファラデー氏のクリスマス講演をまとめた本「ロウソクの科学」を勧められて、夏休みに夢中になって読んだといいます。それが後に化学に進むきっかけになりました。
739	地球館B3F	池田菊苗		近畿地方	京都府・ 大阪府	京都市 大阪府	理工	科学者	出生地・ 成長地		うま味の発見で知られる池田菊苗氏(1864-1936)は、薩摩藩士の子として京都で生まれましたが、廃藩置県で家は没落。大阪に移り、17才のころ近所の化学者・村橋次郎氏に化学を学び、自宅でも実験をしました。18才の時、家族が留守の間に布団を売ってお金を工面し、東京に家出しました。学校で英語を教えるなどして学費を工面し、東京帝国大学に入学し、櫻井錠二氏(1858-1939)に化学を学びました。若き日に大阪で一流の化学者に学んだことがその後の人生を大きく発展させました。
740	地球館2F	精密天秤		近畿地方	大阪府		理工	制作場所	制作者：大野規周(大阪造幣局)		
741	地球館2F	阿蘭陀始制エレキテル究理原		関西地方	大阪府	泉南郡熊取町	理工	実験の場所	天の火を取りたる図に 描かれた場所		大阪府泉南郡熊取町には岸和田藩の庄屋であった中家の住宅の一部が現存しています。そこにはかつて松の大木が生えていました。『阿蘭陀始制エレキテル究理原』に描かれている「泉州熊取谷にて天の火を取りたる図」に描かれた場所です。松は枯れてしまいましたが、同地は町指定史跡として公開されています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>兵庫県</b>											
742	日本館3F北翼	ヌマミズキの類		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地	被子植物/双子葉類	凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シユロやバショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
743	日本館3F北翼	ハコヤナギの類		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地	被子植物/双子葉類	凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シユロやバショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
744	日本館3F北翼	ヤベフウ		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地	被子植物/双子葉類	凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シユロやバショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
745	日本館3F北翼	マツの類		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地	裸子植物/針葉樹類/球果	凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シユロやバショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
746	日本館3F北翼	チゴユリの類		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地	被子植物/単子葉類	凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シユロやバショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
747	日本館3F北翼	コバタケナラ		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地	被子植物/双子葉類	凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シユロやバショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
748	日本館3F南翼	石英(重晶石の仮晶)		近畿地方	兵庫県	養父市中瀬鉱山	地学	鉱物	採取地		
749	日本館3F南翼	ペルチェ鉱		近畿地方	兵庫県	養父市中瀬鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
750	日本館3F南翼	中瀬鉱		近畿地方	兵庫県	養父市中瀬鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
751	日本館3F南翼	ひすい輝石		近畿地方	兵庫県	養父市加保坂	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・兵庫県・鳥取県・岡山県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
752	日本館3F南翼	ソーダ雲母		近畿地方	兵庫県	養父市加保坂	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
753	日本館3F南翼	紅砒ニッケル鉱		近畿地方	兵庫県	養父市夏梅鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
754	日本館3F南翼	自然蒼鉛		近畿地方	兵庫県	養父市明延鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
755	日本館3F南翼	鉄重石		近畿地方	兵庫県	養父市明延鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(茨城県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏
756	日本館3F南翼	褐錫鉱		近畿地方	兵庫県	朝来市生野鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(兵庫県・岡山県)	提供者: 櫻井欽一氏
757	日本館3F南翼	櫻井鉱		近畿地方	兵庫県	朝来市生野鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 生野鉱山は生野鉱、櫻井鉱の模式産地です。
758	日本館3F南翼	生野鉱		近畿地方	兵庫県	朝来市生野鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 生野鉱山は生野鉱、櫻井鉱の模式産地です。
759	日本館3F南翼	菱鉄鉱		近畿地方	兵庫県	朝来市生野鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(埼玉県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏





No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
760	日本館3F南翼	胆礬		近畿地方	兵庫県	朝来市生野鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏
761	地球館B3F	野依良治		近畿地方	兵庫県	神戸市	理工	ノーベル賞	成長地	化学賞	野依良治氏(1938-)は、小中学生のころ神戸市の六甲に住み、隣駅の御影にある学校に通っていました。家の周りは自然が豊かで、小学生のころは外で遊んでばかり。学校からの帰り道も道草三昧で林や森や谷などに入って探検ごっこをしたりしていました。こうしたわんぱく時代を過ごした小中学生のころにその後の人生のキーワードになる京都大学やノーベル賞、化学に興味を持つようになりました。
762	地球館B2F	自然ピスマス		近畿地方	兵庫県	生野鉱山	地学	鉱物	採取地		寄贈者: 櫻井欽一氏
763	地球館B2F	シュロ類		近畿地方	兵庫県	神戸市	地学	化石	産地		凝灰岩という白い石に含まれる展示の標本は、神戸市近郊に分布する神戸層群と呼ばれる地層から見つかったものです。この地層は日本では比較的珍しい、新生代始新世～漸新世の地層(約3500万年前)で、現在につながる新しいグループと、より古い時代から生き残る古いグループとが混在した化石群集を含んでいます。この当時はとても暖かかったため、シュロやパショウをはじめとする温暖な要素を含むのも特徴です。
764	地球館B2F/日本館3F南翼	自然金		近畿地方	兵庫県	朝来市朝日鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(宮城県・埼玉県・岐阜県・兵庫県)	提供者: 櫻井欽一氏
765	地球館B2F/日本館3F南翼	斑銅鉱		近畿地方	兵庫県	猪名川町多田鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
766	地球館2F	約200万年前の地磁気を示す玄武洞の溶岩		近畿地方	兵庫県	豊岡市	地学	岩石	出土場所		兵庫県の「県の石(岩石)」です。「玄武岩」の名(日本名)は玄武洞が元となっています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=2975473">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=2975473</a>
<b>奈良県</b>											
767	日本館2F北翼	弥生人男性		近畿地方	奈良県	唐古・鍵遺跡	人類	人骨	出土場所		奈良県の唐古・鍵遺跡は、弥生時代最大級の環濠集落遺跡です。この遺跡は弥生時代中期から古墳時代までの約700年間継続して利用されていました。日本全国からヒスイや土器が集められ、銅鐸の主要な製造地でもありました。
768	日本館3F南翼	オオセンチコガネ奈良県産		近畿地方	奈良県		動物	昆虫	特有性のある生息地	ルリセンチコガネ	オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。奈良県一帯には、金属ルリ色の個体群が生息し、「ルリセンチコガネ」の別名でよく知られています。






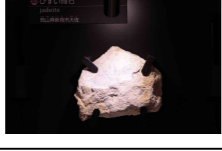




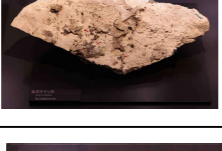

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
769	日本館3F南翼	辰砂		近畿地方	奈良県	宇陀市大和水銀鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・奈良県)	提供者: 櫻井欽一氏
770	日本館3F南翼	枕状溶岩(玄武岩)		近畿地方	奈良県 (産地は静岡県)		地学	岩石	県の岩石	採取地に重複あり(静岡県・愛媛県)	水中に噴出したマグマが固化した溶岩No.563緑簾石と同じ地質であるが採取地が少し異なります。昔は海山でしたが、日本列島に付加して地表へ露出しました。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/S3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/S3/KA3-1/japanese/TAB1/index.html</a>
771	日本館3F南翼	枕状溶岩(玄武岩)		近畿地方	奈良県 (産地は愛媛県)		地学	岩石	県の岩石	採取地に重複あり(静岡県・愛媛県)	
772	日本館3F南翼	コマドリ		近畿地方	奈良県		動物	鳥類	県の鳥 (コマドリとして記載)		日本列島とサハリンでのみ繁殖し、冬は中国南東部に渡ります。頭部が橙色の美しい鳥だが、山地のササなどの林床植物が生い茂った林を好むため姿をみることが難しいです。地上で昆虫類、クモ類、ミミズ類を採食します。「ヒンカララ」と馬(駒)に似た声でさえずるので「駒鳥」という説があり、このさえずりの美しさから、ウグイス、オオルリとともに日本三鳴鳥といわれています。さえずる時には、胸を反らし、腰を振る、尾を上下させたり広げたりと活発な動きを伴います。akahigeという種小名はシーボルトがオランダの国立自然史博物館長テミンクに剥製を贈った際、アカヒゲとラベルが入れ替わっていたために1835年にその名前で記載されました。
773	地球館B3F	福井謙一		近畿地方	奈良県 大阪府	奈良市 大阪市	理工	ノーベル賞	出生地	化学賞	福井謙一氏(1918-1998)は、現在の奈良市押熊町に生まれ、大阪市岸里で育ちました。彼は、「またとない自然環境に囲まれた土地に生まれ、早くから自然とじかに接したことが科学的直感を育てることに大きな影響を与えた」とか、「自分の理論にささやかながら独創性があるとしたら、その独創性を育んだのは少年時代の自然との触れ合いにある」と振り返っています。また、川でのウナギ釣りが得意だったそうです。少年時代の愛読書が『ファール昆虫記』だったのもそうした自然との触れ合いがあったからでしょう。
774	地球館1F	杉		近畿地方	奈良県		植物	樹木	県の木(すぎとして記載)		日本の代表的な常緑針葉樹の一つ。古くから各地で植林され、利用されています。木材の用途としては、建築全般、土木用などきわめて広範囲に利用されています。スギの花粉は春先に飛散し、花粉症(季節性アレルギー性鼻炎)の一つの原因となっています。
<b>和歌山県</b>											
775	日本館2F南翼	メジロ		近畿地方	和歌山県		動物	鳥類	県の鳥		北海道南部以南の日本列島および韓国の南部沿岸、台湾の蘭島、フィリピンのパタン島に主に留鳥として分布します。200万年ほど前に、中国南東部のヒメメジロ <i>Zosterops simplex</i> から分岐して日本列島に広がり、韓国の南部沿岸にも分布を広げたと推定されます。
776	日本館3F北翼	ヒメブナ		近畿地方	和歌山県	橋本市	地学	化石	産地	被子植物門/双子葉類	和歌山県橋本市から、西方の紀の川市にかけた吉野川沿いには、約100万年前にたまった葛蒲谷層(または葛蒲谷層群)が分布しています。この地層には日本からは絶滅してしまつたメタセコイアなどの植物化石を豊富に含んでいて、時代を代表する化石産地の一つとして知られています。1941年に三木茂氏(1901-1974)がメタセコイア属を設立した時には、新種の化石産地の一つとして紹介されました。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB1/index.html</a>



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
777	日本館3F北翼	エゴノキの類		近畿地方	和歌山県	橋本市	地学	化石	産地	被子植物門/双子葉類/ 果実	和歌山県橋本市から、西方の紀の川市にかけた吉野川沿いには、約100万年前にたまった葛蒲谷層(または葛蒲谷層群)が分布しています。この地層には日本からは絶滅してしまつたメタセコイアなどの植物化石を豊富に含んでいて、時代を代表する化石産地の一つとして知られています。1941年に三木茂氏(1901-1974)がメタセコイア属を設立した時には、新種の化石産地の一つとして紹介されました。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB1/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N3/KA4-1/japanese/TAB1/index.html</a>
778	日本館3F南翼	はり長石		近畿地方	和歌山県	太地町太地	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 はり長石は火山岩中に一般的に見られますが、形のはっきりした分離結晶は珍しく、その代表的産地です。
779	日本館3F南翼	手稲石		近畿地方	和歌山県	岩出市山崎	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・和歌山県)	提供者: 藤原卓氏
780	日本館3F南翼	テリエカタホコリ		近畿地方	和歌山県	和歌山県	植物	菌類・藻類	植生地域		1990(平成2)年に和歌山県で発見され、日本の変形菌学者、松本淳によって新種記載された変形菌です。したがって、和歌山県はタイプ産地(その種を記載するときに使用した標本の産地)です。
<b>鳥取県</b>											
781	日本館3F南翼	クロム鉄鉱		中国地方	鳥取県 (産地は北海道)		地学	鉱物	県の鉱物	採取地に重複あり(北海道・京都府)	提供者: 櫻井欽一氏
782	日本館3F南翼	ひすい輝石		中国地方	鳥取県	若桜町角谷	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・兵庫県・鳥取県・岡山県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
783	日本館3F南翼	燐灰ウラン石		中国地方	鳥取県	湯梨浜町東郷鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 国内では数少ないウラン鉱床の一つで、新鉱物「人形石」の模式産地です。
784	日本館3F南翼	水晶(紫水晶)		中国地方	鳥取県	日野町藤屋	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
785	日本館3F南翼	金雲母		中国地方	鳥取県	倉吉市駄経寺	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
786	地球館B2F	クロム鉄鉱		中国地方	鳥取県 (産地は京都)		地学	鉱物	県の鉱物	採取地に重複あり(北海道・京都府)	
787	地球館1F	オンドリ		中国地方	鳥取県		動物	鳥類	県の鳥		繁殖期の雄が目立つ橙色のカモです。銀杏羽と呼ばれる橙色の飾り羽根が特に目立ちます。メスは地味な灰色です。日本とその周辺の極東域でのみ繁殖し、山間の溪流や池などに住んでいます。
788	地球館1F	ヒラメ		中国地方	鳥取県		動物	魚類	県の魚		
<b>島根県</b>											
789	日本館2F北翼	ナンキン		中国地方	島根県		動物	魚類	生息地	島根県天然記念物	江戸時代(1750年頃)に作られた品種です。茶人大名として知られる松江城主の松平不昧(ふまい)が金魚の品種改良を奨励し、この地方に特有の「出雲ナンキン」が作られました。ナンキンはイズモナンキンを省略した呼称です。現在に至るまで出雲地方のみで飼育されてきました。1985年に島根県の天然記念物に指定されています。他の品種の多くで赤色が好まれるのに対し、ナンキンは侘び寂びを連想させる白っぽい色が良いとされます。「日本の3大地金魚」のひとつです。
790	日本館3F南翼	都茂鉱		中国地方	島根県	益田市都茂鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 キャプション寄贈者: 中外鉱業
791	日本館3F南翼	ケルースト閃石		中国地方	島根県	隠岐の島町近石	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
792	日本館3F南翼	天青石		中国地方	島根県	出雲市鶴峠鉱山	地学	鉱物	採取地		
793	地球館B2F	濃紅銀鉱		中国地方	島根県	宇波鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(静岡県・島根県・鹿児島県)	
794	地球館B2F	ウラノフェン		中国地方	島根県	東郷鉱山	地学	鉱物	採取地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
795	地球館B2F/日本館3F南翼	あられ石		中国地方	島根県	大田市松代鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・島根県)	提供者: 櫻井欽一氏
<b>岡山県</b>											
796	日本館3F北翼	ハウスマニア		中国地方	岡山県	高梁市山本	地学	化石	産地	シダ植物/シダ類	岡山県旧成羽町に分布する後期三畳紀ノーリアン期(約2億1千万年前)の成羽層群は、この時代を代表する植物化石の産地として世界に知られています。発見される植物化石には、展示のようなヤブレガサウラボシ科のシダ類や球果類が多く含まれます。現生するヤブレガサウラボシ科シダ類の多くが東南アジアの熱帯域に分布するため、当時の成羽付近も温暖だったと推測されています。
797	日本館3F北翼	クラスロプテリス		中国地方	岡山県	成羽町/高梁市日名畑	地学	化石	産地	シダ植物/シダ類	
798	日本館3F北翼	ストロガルジア		中国地方	岡山県	高梁市日名畑	地学	化石	産地	裸子植物/球果類	
799	日本館3F南翼	逸見石		中国地方	岡山県	備中町布賀鉱山	地学	鉱物	採取地		布賀鉱山からは多数の新鉱物が発見されています。中でも逸見石はその珍しさ(布賀鉱山が世界で唯一の産地)と美しさから有名です。
800	日本館3F南翼	備中石		中国地方	岡山県	高梁市布賀	地学	鉱物	採取地		提供者: 山田滋夫氏
801	日本館3F南翼	布賀石		中国地方	岡山県	高梁市布賀	地学	鉱物	採取地		提供者(キオスク): 平井進氏 提供者(キャプション): 山田滋夫氏
802	日本館3F南翼	岡山石		中国地方	岡山県	高梁市布賀鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 岡本鑑吉氏
803	日本館3F南翼	ドレライト		中国地方	岡山県	作東	地学	岩石	採取地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
804	日本館3F南翼	花崗岩		中国地方	岡山県	万成	地学	岩石	採取地		岡山県の「県の花崗岩(岩石)」です。「万成石」とよばれ、「御影石」とならぶ花崗岩石材です。
805	日本館3F南翼	褐錫鉱		中国地方	岡山県	美作市金生鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(兵庫県・岡山県)	提供者: 櫻井欽一氏
806	日本館3F南翼	ヨハンセン輝石		中国地方	岡山県	真庭市大名草鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
807	日本館3F南翼	ひすい輝石		中国地方	岡山県	新見市大佐	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・兵庫県・鳥取県・岡山県・長崎県)	
808	日本館3F南翼	プロト直閃石		中国地方	岡山県	新見市高瀬鉱山	地学	鉱物	採取地		
809	日本館3F南翼	ヘスティング閃石		中国地方	岡山県	高梁市山宝鉱山	地学	鉱物	採取地		
810	日本館3F南翼	ソーダ魚眼石		中国地方	岡山県	高梁市山宝鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 松枝大治氏
811	日本館3F南翼	大江石		中国地方	岡山県	高梁市布賀	地学	鉱物	採取地		提供者: 平井進氏
812	日本館3F南翼	灰チタン石		中国地方	岡山県	高梁市布賀	地学	鉱物	採取地		
813	日本館3F南翼	五水灰礬石		中国地方	岡山県	高梁市布賀鉱山	地学	鉱物	採取地		



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
814	日本館3F南翼	武田石		中国地方	岡山県	高梁市布賀鉱山	地学	鉱物	採取地		
815	日本館3F南翼	草地鉱		中国地方	岡山県	高梁市布賀鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 逸見千代子氏
816	地球館B3F	理研再建サイクロトロン のイオン加速箱		中国地方	岡山県	里庄町	理工	物質を 探る	密接な関係がある科学者: 仁科芳雄の出生地		仁科芳雄氏(1890-1951)は、理化学研究所(理研)で湯川秀樹氏や朝永振一郎氏を一流の理論物理学者に育てたり、加速器などの実験装置を製作するなどして日本の原子物理学を世界レベルにしました。戦前に作られた大小2台のサイクロトロンは、空襲で破壊されたり、終戦直後に進駐軍により海に投棄されたりしましたが、本展示品は戦後に初めて再建された仁科氏ゆかりの加速器の中心部分です。仁科氏は、現在の里庄町に代々庄屋だった家に生まれて自由な少年時代を過ごしました。その生家は町に譲られ、一般公開されています。仁科氏の素地は里庄町で形成されました。
817	地球館B2F/ 日本館3F南翼	スパーク石		中国地方	岡山県	高梁市布賀	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
818	地球館B2F/ 日本館3F南翼	磁鉄鉱		中国地方	岡山県	高梁市山宝鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手 県・岡山県・福岡県・長崎 県)	提供者: 櫻井欽一氏
<b>広島県</b>											
819	日本館2F南翼	ビッチュウアザミ		中国地方	岡山県・ 広島県	岡山県阿哲台 哲多町無明 谷	植物	植物	採取地		
820	日本館2F南翼	ウスバアザミ		中国地方	岡山県・ 広島県	岡山県川上郡備中町平川 田原ダム石灰岩地域	植物	植物	採取地		
821	日本館2F南翼	タイシャクカラマツ		中国地方	広島県		植物	植物	植生地域		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
822	日本館2F南翼	ヤマトレンギョウ		中国地方	岡山県・広島県	広島県神石郡神石高原相渡石灰岩地域	植物	植物	採取地		早春を明るく彩るレンギョウはすっかり日本の景色になっていますが、実は中国原産の植物です。ところが日本でもたいへん限られたところで野生のレンギョウを見ることができます。ヤマトレンギョウはそのひとつで、広島県北東部から岡山県北西部にかけての石灰岩でできた岩場に生えています。更新世(約258万年前～約1万年前)に朝鮮半島から分布を広げた可能性が高いことが、最近の研究で明らかになっています。
823	日本館3F南翼	広島隕石		中国地方	広島県	広島市安佐南区	理工	隕石	落下場所		広島隕石はHグループの球粒隕石で、重さが約414gです(展示資料はその一部約20g)。2003年2月4日、広島市安佐南区の医薬品会社の配送センターで雨漏りが見つかり、天井に穴があいていて床に黒い石が発見されました。連絡を受けた広島市こども文化科学館の加藤一孝氏が現場を確認し、当館に専門的な分析を依頼され、隕石であることを確認しました。落下の正確な日時は分かっていませんが、会社が休みの2月1日(土)の夕方から2月3日(月)の朝までの間と考えられます。宇宙線照射年代が約9千万年と日本の隕石では最古で、世界でも非常に古いものです。
824	日本館3F南翼	ゲーレン石		中国地方	広島県	庄原市久代	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
825	日本館3F南翼	デーナ石		中国地方	広島県	庄原市平子鉱山	地学	鉱物	採取地		
826	日本館3F南翼	アガード石		中国地方	広島県	尾道市林	地学	鉱物	採取地		提供者: 今井裕之氏
827	日本館3F南翼	斜開銅鉱		中国地方	広島県	尾道市林	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(栃木県・広島県)	提供者: 櫻井欽一氏
828	日本館3F南翼	コランダム		中国地方	広島県	庄原市勝光山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・新潟県・広島県)	提供者: 櫻井欽一氏 勝光山は、耐火物や陶磁器の原料として使われる「ろう石」の代表的鉱山のひとつで、部分的に青色のコランダムを含みます。
<b>山口県</b>											
829	日本館2F北翼	顔の違いを比べてみよう 弥生人		中国地方	山口県	土井ヶ浜遺跡	人類	人骨	出土場所		山口県の土井ヶ浜遺跡は、弥生時代の遺跡から人骨が発見された初めての事例です。1953年から行われた19回の発掘調査により、約300体の弥生時代人骨が発見されています。
830	日本館2F南翼	イノシシ(山口産)		中国地方	山口県		動物	哺乳類	採集地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
831	日本館3F北翼	サンゴ化石を含む石灰岩		中国地方	山口県	秋芳町	地学	化石	産地		サンゴ化石を含む石灰岩 山口県・秋吉台では、今から約3億5000万～2億5000万年前(古生代石炭紀～ペルム紀)のサンゴ礁をみることができます。石灰岩からは、サンゴ、フズリナ(有孔虫の仲間)、腕足貝など、当時のサンゴ礁にいた様々な生物の化石が見つかります。このサンゴ礁は、赤道近くの大洋の火山島の上で長い時間をかけて形成され、北上するプレートに乗ってアジア大陸に衝突、付加されたものと考えられています。
832	日本館3F北翼	クラドレビス		中国地方	山口県	美祢市大嶺	地学	化石	産地	シダ植物/シダ類	山口県美祢市や山陽小野田市に分布する後期三畳紀の美祢層群とその相当層は、岡山県の成羽層群と並んで、この時代を代表する世界的な化石産地です。現地ではかつて、日本で最も古い時代の露天掘り炭鉱があり、沢山の植物化石が発見されました。地元大嶺高校の教諭であった故岡藤五郎氏が熱心に化石を収集して、国内外の研究者に提供するとともに、化石に関わる多くの後進を育てられたことは有名です。
833	日本館3F北翼	バイエラ		中国地方	山口県	美祢市大嶺	地学	化石	産地	裸子植物/イチョウ類	
834	日本館3F南翼	仁保隕石		中国地方	山口県	吉敷郡仁保村 (現在の山口市)	理工	隕石	落下場所		仁保隕石は1897年(明治30年)8月8日午後10時半頃、山口県吉敷郡仁保村(現在は山口市)に落下しました。仁保村の信行寺前の水田と裏の竹林から1個ずつ隕石が拾われ、東京帝国大学(現在の東京大学)へ寄贈されました。この内の1つが展示中の仁保隕石2号で、明治38年に博物館へ寄贈されました。一方、昭和41年になって、19gの小さな隕石が約5km離れた宮野村に落下し小学校に保管されていることが分かりました(仁保隕石3号)。このため仁保隕石は隕石雨であったと考えられます。
835	日本館3F南翼	玖珂隕鉄		中国地方	山口県	玖珂郡川越村 (現在の岩国市)	理工	隕石	発見場所		玖珂隕鉄は1938年(昭和13年)1月10日、山口県玖珂郡川越村(現在の岩国市)の地中から発見された鉄隕石です。以前から一部小片のみが知られていましたが、1963年(昭和38年)に主標本が発見者の家に保管されているのが見いだされました。発見者によると、田の間の道を広げる工事をしていたところ、鍬に固いものが当たったので掘り出したとのこと。この道は斜面を削ってつけられたもので、元の地表からは2m近く地中に入っていたと考えられます。表面は風化しており、落下はかなり昔と思われる。
836	日本館3F南翼	鉄天藍石		中国地方	山口県	阿武町日の丸奈古鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
837	日本館3F南翼	珪孔雀石		中国地方	山口県	美東町長登鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岐阜県・山口県)	提供者: 櫻井欽一氏
838	日本館3F南翼	コニカルコ石		中国地方	山口県	美東町喜多平鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
839	日本館3F南翼	チロル銅鉱		中国地方	山口県	美東町喜多平鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
840	日本館3F南翼	アタカマ石		中国地方	山口県	萩市志津木鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 今井裕之氏
841	日本館3F南翼	帯暗赤色粘土集積質赤黄色土		中国地方	山口県	山口県美祢郡美東町県営育成牧場	植物	土壌	採取地		提供: 県営育成牧場
842	地球館B2F	灰ばんざくろ石		中国地方	山口県	喜和田鉱山	地学	鉱物	採取地		提供: (株)喜和田鉱山
843	地球館B2F	輝コバルト鉱石(接触交代鉱床)		中国地方	山口県	美東町長登鉱山	地学	鉱物	採取地		
844	地球館B2F/日本館3F南翼	輝コバルト鉱		中国地方	山口県	美東町長登鉱山	地学	鉱物	採取地		長登鉱山は8世紀前後に銅の採掘が始まったと伝えられる歴史ある鉱山であると同時に、国内でも最良質な輝コバルト鉱の鉱物標本を産出しました。
<b>徳島県</b>											
845	日本館2F北翼	ニセユモジゴケ		四国地方	徳島県		植物	菌類・藻類	分布		スギの古木に着生する固着地衣類です。地衣体は薄膜状で類白色、子器は大型で細長く褐色の胞子を作ります。モジゴケ類に珍しいエキノカルブ酸とよばれる地衣成分を含みます。日本特産種でこれまでに4カ所から報告されているだけです。絶滅危惧種です。
846	日本館2F北翼	オオバキセガワノリ		四国地方	徳島県		植物	菌類・藻類	分布		低山のほぼ垂直に近い石灰岩の露頭に生育する径2~6cmの葉状地衣類です。共生藻はシアノバクテリアです。秩父市の産地以外では、石灰岩採掘や道路法面へのセメント吹きつけなどで個体数が減少しています。日本固有の珍しい種ですが、環境省絶滅危惧I類です。
847	日本館3F北翼	ダオネラ		四国地方	徳島県	那賀町	地学	化石	産地		
848	日本館3F北翼	プレトロゴニア		四国地方	徳島県 (産地は岩手)		地学	化石	県の化石		トリゴニア類は、三角形の厚い殻をもつ二枚貝で、水管をもたず、殻の後方が水管のように突出しています。ジュラ紀と白亜紀に繁栄し、世界中から産出するため、重要な示準化石の一つになっています。新生代には急に衰退し、わずか数種がオーストラリア海域に生息しています。
849	日本館3F南翼	れき岩片岩		四国地方	徳島県	大歩危	地学	岩石	採取地		



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
850	日本館3F南翼	ルチル		四国地方	徳島県	徳島市眉山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 ルチルの代表的産地です。国産としては大型で良質の標本を産出しました。
851	地球館B3F	長井長義		四国地方	徳島県	徳島市	理工	科学者	出生地		長井長義氏(1845-1929)は、阿蘇蜂須賀藩の御殿医の長男として現在の徳島市に生まれました。代々医者の家系でしたが、関寛齋に化学を学び、興味を持ったといいます。22歳の時に藩命により長崎に留学しましたが、父が望んだ医学修行はほとんどせず、日本の初期の写真師である上野彦馬氏のもとで化学の研究にいそしんだといいます。その後、日本の近代薬学の礎を築いた長井氏の素地は、徳島と長崎で築かれました。
852	地球館1F	ヤマモモ		四国地方	徳島県		植物	樹木	県の木(やまももの記載)		
<b>香川県</b>											
853	日本館3F北翼	アーケオゾステラ		四国地方	香川県	三豊市財田町	地学	化石	産地	コダイアマモ	香川県の石に指定されているコダイアマモは、香川県～大阪府南部にかけて分布する白亜紀後期の和泉層群から知られ、かつて当地では葛蒲石などと呼ばれていました。1931年に郡場・三木によりArchaeozostera コダイアマモ属が提唱され、世界最古の海草(アマモ)類であるとされました。一方、この説には異論があり、永らく議論が続きましたが、堆積物に潜って生活する底生生物によって形成された生痕化石であるとの研究が2016年に示され、決着に至りました。今では世界的に産出することが知られています。
854	日本館3F南翼	国分寺隕石		四国地方	香川県	綾歌郡国分寺町 (現在の高松市国分寺町)、坂出市	理工	隕石	落下場所		国分寺隕石は1986年(昭和61年)7月29日午後7時過ぎ、香川県綾歌郡国分寺町(現在の高松市国分寺町)と坂出市に多数の破片の雨を降らした隕石雨です。まだ西日が残る真夏の夕方、火球や隕石雲の目撃者が多く、さらに目の前に隕石の落下を目撃した人もいました。南東から北西へ長さ8km幅4kmの範囲の13カ所以上に落下し、落下時に砕けたものも多くなります。最大のものは約10kgあり、北西の端にあたる坂出市高屋町のみかん畑に落下しました。展示している標本は国分寺町の各所に落下した隕石破片です。
855	日本館3F南翼	サヌカイト(カンカン石)		四国地方	香川県	五色台	地学	岩石	採取地		香川県の「県の石(岩石)」です。一般的な安山岩よりもマグネシウムに富み、まれにかんらん石も含まれますが、詳しい成因は分かっています。
856	日本館3F南翼	上田石		四国地方	香川県	土庄町灘山	地学	鉱物	採取地		提供者: 後藤篤 香川県から見つかった新鉱物です。
857	日本館3F南翼	珪線石		四国地方	香川県 (産地は三重)		地学	鉱物	県の鉱物		提供者: 櫻井欽一氏
858	地球館B2F	ナウマンゾウの臼歯		四国地方	香川県	池田町沖の瀬戸内海	地学	化石	産地		ナウマンゾウは、日本で発見されるゾウ化石の代表的な種類で、日本中から多数の化石が知られています。東京銀座、池袋、原宿などからも立派な化石が見つかっています。池田町のある小豆島の沖の海底には、ナウマンゾウの化石を含む地層が露出しており、それが海流に洗われて化石が洗い出されているらしいです。瀬戸内海が干上がっていた時代に、多くのナウマンゾウがそこに生息したのです。これまでに数千点の化石が底引き網などの漁網にかかって採集されています。展示の標本もその一つで、左下あごの第三大臼歯です。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
859	地球館1F	ホトトギス		四国地方	香川県		動物	鳥類	県の鳥		全長30cmに満たない小型のカッコウの仲間です。アジアの森林部とマダガスカル島で繁殖し、インドやアフリカで越冬します。日本では主にウグイスに托卵し、卵の色はウグイスと同じ小豆色です。
860	地球館1F	ナウマンゾウ		四国地方	香川県	小豆島沖	地学	化石	産地		日本のゾウ化石のなかでは圧倒的に多数の化石が見つかり、日本を代表する化石ゾウです。最初の化石は明治初期に横須賀で発見され、当時の「お雇い外国人教師」であったナウマン博士が研究、報告しました。その後、静岡県浜名湖の北岸で見つかった同種の化石に対して、1924年にナウマンゾウの名前がつけられました。パレオロクソドンという属を認めない研究者もあり、その場合はアジアゾウと同じエレファス属に認められます。展示の標本は左の下あごで、生えている歯は、人の第三大臼歯(親知らず)に当たる歯です。
861	地球館2F	エレキテル		四国地方	香川県	さぬき市	理工	制作者の出生地	制作者:平賀源内の出生地	重要文化財 (レプリカ)	江戸時代の日本で作られた電気の器械として有名な「エレキテル」を制作した平賀源内は、1728(享保13)年に現在の香川県さぬき市志度に讃岐高松藩士の子として生まれました。多才な人で戯作者や浄瑠璃作者として有名ですが、発明の才に富み本草学にも詳しく、江戸の湯島で物産会(博覧会)を開催するなどしています。
<b>愛媛県</b>											
862	日本館3F南翼	枕状溶岩(玄武岩)		四国地方	愛媛県	南宇和	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(静岡県・愛媛県)	
863	日本館3F南翼	紅れん片岩		四国地方	愛媛県	西条	地学	岩石	採取地		
864	日本館3F南翼	緑色片岩		四国地方	愛媛県	西条	地学	岩石	採取地		
865	日本館3F南翼	ざくろ石角閃岩		四国地方	愛媛県	別子	地学	岩石	採取地		
866	日本館3F南翼	藍晶石		四国地方	愛媛県	新居浜市東平	地学	鉱物	採取地		提供:ノーベル社
867	日本館3F南翼	黄銅鉱		四国地方	愛媛県	新居浜市別子鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・茨城県・栃木県・埼玉県・三重県・愛媛県)	提供者:櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
868	日本館3F南翼	安四面銅鉱		四国地方	愛媛県	新居浜市別子鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(北海道・青森県・愛媛県)	提供者: 櫻井欽一氏
869	日本館3F南翼	緑閃石		四国地方	愛媛県	四国中央市五良津山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
870	日本館3F南翼	杉石		四国地方	愛媛県	上島町岩城島	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
871	日本館3F南翼	カリ定永閃石		四国地方	愛媛県	上島町弓削島	地学	鉱物	採取地		提供者: 島崎英彦氏
872	日本館3F南翼	ダトー石		四国地方	愛媛県	久万高原町横野川	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(愛媛県・宮崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
873	日本館3F南翼	砥部雲母		四国地方	愛媛県	砥部町扇谷陶石鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 東正治氏
874	地球館B3F	中村修二		四国地方	愛媛県 徳島県	阿南市	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	物理学賞	2014年のノーベル物理学賞は、青色発光ダイオード(LED)を発見した3人の研究者に贈られました。その一人が中村修二氏(1954-)です。中村氏は愛媛県出身で、大学院を出たあと、日亜化学工業という徳島県の会社に就職しました。中村氏はこの会社で、青色LEDの発明という前人未踏の課題に挑戦。不屈の闘志でみごと成功させると、その成果は世界中から注目されました。のちに中村氏はアメリカに移住し、さらに研究を続けました。
875	地球館B2F	含銅硫化鉄鉱床の鉱石		四国地方	愛媛県	別子鉱山	地学	鉱物	採取地		
876	地球館B2F/日本館3F南翼	輝安鉱		四国地方	愛媛県	西条市市ノ川鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(愛知県・愛媛県)	明治期に産出した日本刀のような結晶は世界的に有名です。











No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>高知県</b>											
877	日本館1F南翼	紙張子製天球儀		四国地方	高知県		理工	制作物伝来場所			土佐藩の儒学者・神道家として有名な谷秦山(1663-1718)は、江戸幕府の初代天文方となった洪川春海(1639-1715)の高弟の一人でもありました。展示されている洪川春海作の天球儀、地球儀は谷秦山の家に長く伝わっていたもので、1990(平成2)年、国の重要文化財に指定されています。天球儀は1697(元禄10)年に作られたもので、自身の観測に基づいた61の星座が新たに記載されています。地球儀は1695(元禄8)年に作られたもので、暦の研究に使用していたと考えられています。
878	日本館2F北翼	トサジドリ(土佐地鶏)		四国地方	高知県		動物	鳥類	生息地		日本古来から伝わりとされる地鶏で、高知県に残る品種です。単純で原始的なところが貴ばれます。昭和16年に岐阜県、三重県の地鶏と共に天然記念物に指定されました。
879	日本館2F北翼	トウテンコウ(東天紅)		四国地方	高知県		動物	鳥類	生息地		ニワトリの一品種で、日本三大長鳴き鶏の一つ。10秒余りもの間、高音で謡います。「赤笹」と呼ばれる羽色で、胸・腹・尾が黒色、それ以外は光沢のある濃い橙色です。高知県で多く飼われています。昭和11年に天然記念物に指定されました。
880	日本館2F北翼	オヒキ(尾曳)		四国地方	高知県		動物	鳥類	生息地		ミノキチャボ(葦曳矮鶏)とも呼ばれ、高知県原産のニワトリの一品種です。尾羽や葦羽と呼ばれる腰の長い羽が発達してとても長いのが特徴で、1mにもなる個体もいます。昭和12年に天然記念物に指定されました。
881	日本館2F北翼	ウズラオ(鶉尾)		四国地方	高知県		動物	鳥類	生息地		ウズラチャボ(鶉矮鶏)とも呼ばれ、高知県原産のニワトリの一品種です。体型がウズラに似ていて、尾がなく、体が小さいのが特徴です。昭和12年に天然記念物に指定されました。
882	日本館2F北翼	オナガドリ(尾長鶏)		四国地方	高知県		動物	鳥類	生息地	特別天然記念物	高知県原産のニワトリの一品種で、現存する鳥の中で最長の尾をもちます。高知県で多く飼われています。鳥類の尾羽は通常1年～数年毎に抜け替わりますが、オナガドリのオスの尾羽は換羽せずに伸び続け、生涯で10mを超えることもあります。尾羽を引きずって歩いて切らないように、尾羽を巻いて収納できる特別な箱の中で飼い、人が尾羽を持って散歩運動をさせ大切に育てます。大正12年に天然記念物に、昭和27年に特別天然記念物に指定されました。
883	日本館2F北翼	トサキン		四国地方	高知県		動物	魚類	生息地	高知県天然記念物	高知県高知市を中心に飼育されている品種です。江戸時代にはすでに作られていました。「土佐金」と書くが、「土佐錦」や「土佐錦魚」という名称でも知られています。戦災で何度も絶滅の危機に瀕したことがあり、特に1946年の南海大地震で生き残った数尾が現在飼育されている個体の子孫といわれています。「日本の3大地金魚」のひとつで、1969年に高知県の天然記念物に指定されました。
884	日本館2F北翼	ニホンカワウソ		四国地方	高知県	宿毛市	動物	哺乳類	絶滅種/特別天然記念物		本州に固有とされるカワウソの一種です。ヨーロッパからアジアに分布するユーラシアカワウソの亜種とする説もあります。昭和初期まで日本各地で分布が確認され、毛皮などを求めた狩猟が行われていたが、1979年高知県の記録を最後として絶滅したと考えられています。最後まで残っていた高知県を代表する哺乳類ともいえます。まさにこの個体は高知県宿毛市で得られた個体です。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
885	日本館3F北翼	スフェレクソカス		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	三葉虫類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。
886	日本館3F北翼	プロエタス		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	三葉虫類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。
887	日本館3F北翼	ルラックス?		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	三葉虫類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。
888	日本館3F北翼	ファボシテス		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	産地に重複あり(岐阜県・高知県) ・ハチノスサンゴ、床板サンゴ類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。 こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759653">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759653</a>
889	日本館3F北翼	ハリシテス		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	クサリサンゴ、床板サンゴ類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。 こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759654">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759654</a>
890	日本館3F北翼	アカンソハリシテス		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	クサリサンゴ、床板サンゴ類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。 こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759655">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759655</a>
891	日本館3F北翼	ファルシカテニボラ		四国地方	高知県	越知町横倉山	地学	化石	産地	クサリサンゴ、床板サンゴ類	横倉山の化石群 地球史上はじめてサンゴ礁が形成されたのは、今から約4億3000万～4億2000年前の古生代シルル紀です。サンゴ礁は新たな生態系をつくりあげ、生物の進化を誘う舞台となりました。高知県の横倉山には、この時期の石灰岩が分布しています。ここから見つかるサンゴ(クサリサンゴ、ハチノスサンゴなど)や三葉虫など様々な化石は、シルル紀の豊かな海を物語ります。 こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759657">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1759657</a>
892	日本館3F南翼	オオセンチコガネ高知県産		四国地方	高知県		動物	昆虫	生息地情報		オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。高知県産は産地も多く、変異も必ずしも一定ではありませんが、緑味の強い金銅色から、中央部が金赤色になる個体がよくみられます。
893	日本館3F南翼	チンゼン斧石		四国地方	高知県	本山町穴内鉱山	地学	鉱物	採取地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
894	日本館3F南翼	クリノクロア石		四国地方	高知県	本山町瓜生野	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
895	日本館3F南翼	銀星石		四国地方	高知県	高知市豊田	地学	鉱物	採取地		
896	日本館3F南翼	ペクトライト		四国地方	高知県	日高村宮ノ谷	地学	鉱物	採取地		
897	日本館3F南翼	鉄藍閃石		四国地方	高知県	高知市三谷	地学	鉱物	採取地		
898	日本館3F南翼	赤色泥岩		四国地方	高知県	横波	地学	岩石	採取地		
899	日本館3F南翼	変形菌類(ムラサキホコリ、画像左下)		四国地方	高知県	高知県本山町	植物	菌類・藻類	採取地		
900	日本館3F南翼	変形菌類(ウツボホコリ、画像右下)		四国地方	高知県	高知県物部村	植物	菌類・藻類	採取地		
901	日本館3F南翼	アミサカズキホコリ		四国地方	高知県	高知県	植物	菌類・藻類	植生地域		1986(昭和51)年に高知県で発見され、高知県の変形菌学者、山本幸憲氏らによって新種記載された変形菌です。したがって、高知県はタイプ産地(その種を記載するときに使用した標本の産地)です。本菌は日本では本州と四国の分布が知られてます。
902	日本館3F南翼	ミカドアゲハ		四国地方	高知県	高知市	動物	昆虫	特別天然記念物		ミカドアゲハは、東南アジアに広く分布するチョウですが、日本では南西部に限って分布します。昭和のはじめ、ミカドアゲハは大変珍しい種とされていました。しかし、高知県高知市でこの種が発見され、さらに幼虫がオガタマノキを食べることも解明されたことで、昆虫研究者の話題を呼びました。当時、高知市はもともと北の生息地だったこともあり、昭和18年に国の天然記念物に指定されました。昭和27年には高知市の本種とその生息地が特別天然記念物になっています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
903	日本館3F南翼	アカメ		四国地方 九州地方	高知県・ 宮崎県		動物	魚類	日本固有種		最大で全長が1.4m、体重が40kg近くになる大型魚。日本にしか生息しない日本固有種です。主な生息域は高知県と宮崎県の河口や内湾の汽水域です。宮崎県では昔からマルカと呼ばれ、高知県では「高知県の自然を代表する魚種」として注目種に指定されています。稚魚の生育場であるアマモ場が日本で減少していることなどから、環境省のレッドリストでは絶滅危惧種IB類に分類されています。
904	地球館B2F/日本館3F南翼	スローソン石		四国地方	高知県	高知市去坂	地学	鉱物	採取地		提供者: 田村芳信氏
<b>福岡県</b>											
905	日本館1F南翼	視実等象儀		九州地方	福岡県		理工	制作者の出生地	制作者: 田中久重の出生地		視実等象儀は、久留米市出身の田中久重が製作したものです。田中久重は、からくり人形などの製作、興行を行い、全国をまわり、京都に機巧堂というお店をつくりました。京都では、商売や興行とともに、天文学を土御門家に、蘭学を広瀬現況に学ぶなど、最新の知識も学んでいます。
906	日本館1F南翼	太鼓時計		九州地方	福岡県		理工	制作者の出生地	制作者: 田中久重の出生地		中央円盤に画かれた竜の持つ剣が指針で、各時刻に太鼓が打ち鳴らされます。太鼓は1793(寛政5)年京都で製作されたもので、それを利用して田中久重が時計機械を組み込み太鼓時計としました。残念ながら機械は失われています。
907	日本館2F北翼	抜歯のある弥生人男性頭骨		九州地方	福岡県	横隈塚遺跡	人類	人骨	出土場所		九州を中心として弥生時代人骨の発掘事例が増加していくと、同じ弥生時代の集団の中にも地域性があることがわかりました。特に福岡県や佐賀県などの北部九州から出土する人骨は渡来系弥生人と言われ、縄文時代人とは異なる形質をもつことが明らかになっています。
908	日本館3F南翼	リチア電気石		九州地方	福岡県	福岡市長垂	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・茨城県・福岡県)	提供者: 櫻井欽一氏
909	日本館3F南翼	藍銅鉱		九州地方	福岡県	福岡市立花寺	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
910	日本館3F南翼	磁鉄鉱		九州地方	福岡県	香春町三ノ岳	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・岡山県・福岡県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
911	日本館3F南翼	水滑石		九州地方	福岡県	篠栗町中河内	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
912	地球館B3F	大隅良典		九州地方 関東地方	福岡県 東京都	福岡市 目黒区	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	生理学・医学賞	2016年のノーベル生理学・医学賞は、大隅良典氏(1945-)に贈られました。研究テーマの「オートファジー」は、細胞のなかの要らない物質を分解するはたらきです。大隅氏はこの現象を世界ではじめて、東京大学の教養学部で観察しました。そんな大隅氏が生まれ育ったのは、福岡市です。自然にかこまれた環境で、科学に興味をもつようになりました。きっかけとなったのは、お兄さんからもらった科学の本だったということです。
913	地球館2F	万年時計		九州地方	福岡県		理工	制作者の出生地	制作者: 田中久重の出生地	重要文化財	万年時計は、久留米市出身の田中久重が京都で制作したものです。田中久重は、からくり人形などの製作、興行を行い、全国をまわり、京都に機巧堂というお店をつくりました。京都では、商売や興行とともに、天文学を土御門家に、蘭学を広瀬現況に学ぶなど、最新の知識も学んでいます。この最新の知識を元に制作したのが万年時計です。正確に動くメカニズムも素晴らしいのですが、外装の螺鈿細工や金工、木工などの優れた工芸技術は、京都だからこそ作り得た物でしょう。
<b>佐賀県</b>											
914	日本館2F北翼	甕棺		九州地方	佐賀県	朝日北遺跡(佐賀県)	人類	その他	出土場所		所蔵: 佐賀県教育委員会
915	日本館2F北翼	渡来系弥生時代人男性		九州地方	佐賀県	吉野ヶ里遺跡(佐賀県)	人類	人骨	出土場所	全身	佐賀県の吉野ヶ里遺跡は弥生時代最大の環濠集落遺跡です。約40ヘクタールという広大な敷地に、最盛期には100棟近い建物や高さ12メートルに達する物見櫓などが建設されており、都市として機能していたと考えられています。この遺跡からは約300体の弥生時代人骨が発見されています。 キオスクの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB3/index.html</a>
916	日本館2F北翼	渡来系弥生時代人男性		九州地方	佐賀県	二塚山遺跡(佐賀県)	人類	人骨	出土場所		九州を中心として弥生時代人骨の発掘事例が増加していくと、同じ弥生時代の集団の中にも地域性があることがわかりました。特に福岡県や佐賀県などの北部九州から出土する人骨は渡来系弥生人と言われ、縄文時代人とは異なる形質をもつことが明らかになっています。 キオスクの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB3/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA2-1/japanese/TAB3/index.html</a>
917	日本館2F北翼	渡来系弥生時代人女性		九州地方	佐賀県	朝日北遺跡(佐賀県)	人類	人骨	出土場所		九州を中心として弥生時代人骨の発掘事例が増加していくと、同じ弥生時代の集団の中にも地域性があることがわかりました。特に福岡県や佐賀県などの北部九州から出土する人骨は渡来系弥生人と言われ、縄文時代人とは異なる形質をもつことが明らかになっています。
918	日本館2F北翼	器台		九州地方	佐賀県	惣座遺跡(佐賀県)	人類	土器	出土場所		九州を中心として弥生時代人骨の発掘事例が増加していくと、同じ弥生時代の集団の中にも地域性があることがわかりました。特に福岡県や佐賀県などの北部九州から出土する人骨は渡来系弥生人と言われ、縄文時代人とは異なる形質をもつことが明らかになっています。
919	日本館2F北翼	高杯		九州地方	佐賀県	惣座遺跡(佐賀県)	人類	土器	出土場所		所蔵: 佐賀県教育委員会



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
920	日本館2F北翼	壺		九州地方	佐賀県	惣座遺跡(佐賀県)	人類	土器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
921	日本館2F北翼	甕		九州地方	佐賀県	惣座遺跡(佐賀県)	人類	土器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
922	日本館2F北翼	鉢		九州地方	佐賀県	惣座遺跡(佐賀県)	人類	土器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
923	日本館2F北翼	石庖丁		九州地方	佐賀県	田代公園遺跡(佐賀県)	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
924	日本館2F北翼	太型蛤刃石斧		九州地方	佐賀県	西石動遺跡	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
925	日本館2F北翼	挟り入柱状片刃石斧		九州地方	佐賀県	安永田遺跡(佐賀県)	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
926	日本館2F北翼	小型方柱状片刃石斧		九州地方	佐賀県	前田遺跡(佐賀県)	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
927	日本館2F北翼	扁平片刃石斧		九州地方	佐賀県	大江前遺跡(佐賀県)	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
928	日本館2F北翼	砥石		九州地方	佐賀県	大久保遺跡	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
929	日本館2F北翼	石錘		九州地方	佐賀県	託田西分貝塚(佐賀県)	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
930	日本館2F北翼	石製紡錘車		九州地方	佐賀県	平原遺跡(佐賀県)	人類	石器	出土場所		所蔵:佐賀県教育委員会
931	日本館2F北翼	歯の違いを触ってみよう 渡来系 弥生時代人男性の上下顎		九州地方	佐賀県	吉野ヶ里遺跡(佐賀県)	人類	人骨	出土場所		佐賀県の吉野ヶ里遺跡は弥生時代最大の環濠集落遺跡です。約40ヘクタールという広大な敷地に、最盛期には100棟近い建物や高さ12メートルに達する物見櫓などが建設されており、都市として機能していたと考えられています。この遺跡からは約300体の弥生時代人骨が発見されています。
932	日本館2F北翼	渡来系弥生時代人男性の左大 腿骨・左脛骨		九州地方	佐賀県	吉野ヶ里遺跡(佐賀県)	人類	人骨	出土場所		佐賀県の吉野ヶ里遺跡は弥生時代最大の環濠集落遺跡です。約40ヘクタールという広大な敷地に、最盛期には100棟近い建物や高さ12メートルに達する物見櫓などが建設されており、都市として機能していたと考えられています。この遺跡からは約300体の弥生時代人骨が発見されています。 こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html</a>
933	日本館3F北翼	ハスの類		九州地方	佐賀県	杵島郡大町	地学	化石	産地	被子植物/双子葉類	ハス属は現在、南～東南アジアと北米～南米コロンビアに2種が知られますが、化石記録は日本を含めた北半球の広い範囲で見つかっています。日本での化石記録は特に古第三紀と呼ばれる時代に多く、九州や北海道などの炭鉱地域から発見されています。本種は、長崎県の崎戸炭田や南樺太の標本をもとに、古植物学者の遠藤誠道氏によって1934年に名付けられました。
934	日本館3F南翼	福富隕石		九州地方	佐賀県	肥前国杵島郡福富村(現 在の佐賀県白石町)	理工	隕石	落下場所		福富隕石は1882年(明治15年)3月19日午後1時頃、当時の肥前国杵島郡福富村(現在の白石町)に落下しました。雷のような音を立てた後、地中に落下して泥土を飛散し黒煙を吐いたと記録されています。7.20kg、4.42kg、5.13kgの合計3個の隕石が回収され、最後の1つを除いた2個が博物館に献納されました。これらは日本の隕石で初めて博物館に入った標本です。
935	日本館3F南翼	木村石		九州地方	佐賀県	唐津市切木	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 佐賀県唐津市から発見された新鉱物です。唐津市付近の玄武岩からは、他にも複数の新鉱物が記載されています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
936	日本館3F南翼	ネオジムランタン石		九州地方	佐賀県	玄海町日出松	地学	鉱物	採取地		提供者: 岩野庄市郎氏
937	日本館3F南翼	ランタン弘三石		九州地方	佐賀県	唐津市満越	地学	鉱物	採取地		提供者: 岩野庄市朗氏
938	日本館3F南翼	ネオジム弘三石		九州地方	佐賀県	肥前町新木場	地学	鉱物	採取地		
939	日本館3F南翼	苦土かんらん石		九州地方	佐賀県	唐津市高島	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
940	日本館3F南翼	普通輝石		九州地方	佐賀県	伊万里市滝川内	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
941	地球館B2F/日本館3F南翼	緑柱石		九州地方	佐賀県	佐賀市杉山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(福島県・茨城県・岐阜県・滋賀県・佐賀県)	提供者: 鬼木初俊氏
<b>長崎県</b>											
942	日本館2F北翼	台形石器		九州地方	長崎県	長崎県百花台遺跡群	人類	石器	出土場所		寄贈: 川道寛氏
943	日本館2F北翼	日本最古級の土器		九州地方	長崎県	泉福寺洞窟遺跡(長崎県)	人類	土器	出土場所		所蔵: 佐世保市教育委員会
944	日本館2F北翼	縄文系弥生人男性		九州地方	長崎県	根獅子遺跡(長崎県)	人類	人骨	出土場所		九州を中心として弥生時代人骨の発掘事例が増加していくと、同じ弥生時代の集団の中にも地域性があることがわかりました。長崎県などから出土する「西北九州弥生人」は縄文系の直系集団と考えられていました。しかし、最新の古人骨核DNAの分析により、「渡来系弥生人」と縄文系集団との混血であったことが判明しています。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/N2/KA3-1/japanese/TAB2/index.html</a>

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
945	日本館3F北翼	イチヨウ(裸子植物/イチヨウ類)		九州地方	長崎県	平戸市田平	地学	化石	産地		生きている化石として知られるイチヨウは日本人に馴染みの深い植物ですが、現在国内で見られる個体はほぼ全て、中国を起源としたものです。しかし、化石記録から見ると、中生代以降、日本にはイチヨウの仲間が生えていて、比較的最近になって日本からは絶滅したものと分かります。展示の標本は、化石として見つかるものとしては最も新しい、言い換えれば、日本に最後まで残っていたイチヨウの貴重な記録の一つです。
946	日本館3F南翼	デイサイト		九州地方	長崎県	長崎市雲仙	地学	岩石	採取地		長崎県の「県の石(岩石)」です。1991年に形成した「溶岩ドーム」の一部で、この溶岩ドームの崩落により火砕流が発生しました。
947	日本館3F南翼	石英(日本式双晶)		九州地方	長崎県	五島市奈留島	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・長崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
948	日本館3F南翼	磁鉄鉱		九州地方	長崎県	西海市鳥加郷	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岩手県・岡山県・福岡県・長崎県)	
949	日本館3F南翼	ひすい輝石		九州地方	長崎県	長崎市戸根	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・兵庫県・鳥取県・岡山県・長崎県)	
950	日本館3F南翼	紅簾石		九州地方	長崎県	長崎市戸根鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(群馬県・長崎県)	
951	日本館3F南翼	ブラウン鉱		九州地方	長崎県	長崎市戸根鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
952	日本館3F南翼	灰レピ沸石		九州地方	長崎県	平戸市生月島	地学	鉱物	採取地		
953	日本館3F南翼	デュモルチ石		九州地方	長崎県	五島市五島	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
954	日本館3F南翼	ヤマノカミ		九州地方	長崎県・佐賀県・熊本県	有明海の流入河川	動物	魚類	生息地		カジカの仲間であり、日本では有明海の湾奥部に注ぐ河川にのみ生息します。以前は諫早湾に注ぐ河川にもいましたが、干拓事業による堤防の建設後、生息が確認されなくなりました。福岡県や佐賀県ではヤマノカミ、カンカンジョ、タチャなどとも呼ばれています。最大で全長18cm程まで成長します。夜間に活動して甲殻類や小魚を食べます。環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類に分類されています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
955	地球館B3F	下村脩		九州地方	長崎県	諫早市	理工	ノーベル賞	成長地	化学賞	緑色蛍光タンパク質 (GFP) を発見し、2008年ノーベル化学賞を受賞した下村脩(1928-2018)は、旧制中学の時に母の実家がある長崎県諫早市に疎開し、その後大阪府で暮らしたこともありますが、終戦は諫早市で迎えました。旧制長崎医科大学付属薬学専門部(現・長崎大学薬学部)を卒業したのち、同大学の実験実習指導員になりました。その後、名古屋大学研究生となり、研究者として歩み始めました。研究者としての素地を築いたのは長崎県でした。
956	地球館B3F	長岡半太郎		九州地方 関東地方	長崎県 神奈川県	大村市 横須賀市	理工	科学者	出生地 ゆかりの土地		長岡半太郎氏(1865-1950)は、明治から大正、昭和にかけて国際的に活躍した物理学者です。生まれたのは江戸時代の終わりごろで、場所は現在の長崎県大村市(当時は大村藩)でした。お父さんは藩士だった人で、明治になってからは東京都に出て、新政府の役人として活躍しました。半太郎も東京都で物理学者になりましたが、神奈川県横須賀市の下浦に別荘をもって、よくそこで夏休みを過ごしました。こうした縁から、長岡半太郎記念館が建てられています。
957	地球館B2F/日本館3F南翼	滑石		九州地方	長崎県	西海市ホゲットー	地学	鉱物	採取地		
958	地球館1F	ムツゴロウ		九州地方	長崎県・佐賀県・熊本県	有明海	動物	魚類	生息地		日本では有明海と八代海だけに分布します。柔らかい泥の干潟に巣穴を作り、その周辺(半径1~2m)になわばりを作ります。干潮時には、頭を左右に振り、泥の表面の付着ケイ藻類を食べます。満潮時には鰓呼吸を、干潮時には空気呼吸(皮膚などから酸素を取り込む)をします。産卵期は5月~7月末であり、求愛のためにジャンプしたり口を大きくあけたりします。有明海沿岸ではムツやホンムツなどと呼ばれます。
959	地球館1F	ワラスボ		九州地方	長崎県・佐賀県・熊本県	有明海	動物	魚類	生息地		細長い体をしていますがハゼの仲間です。日本では有明海にしか分布しません。河口域や泥干潟に穴を掘って生活しています(満潮時には水中を泳ぎ回ります)。目は小さくて退化的であり、成長とともに皮に覆われていきます。「スポ掻き」という伝統漁具で泥を切るようにして引っかけて獲る漁法が有名です。煮付けや干物で食されます。環境省のレッドリストでは絶滅危惧II類に分類されています。
960	地球館2F	堅削盤		九州地方	長崎県		理工	制作物ゆかりの地			この堅削盤は、1863年にオランダ・ロッテルダムにあるオランダ汽船会社で製造され、長崎製鉄所(造船所)の増設用に輸入されたものです。長崎造船所は、オランダの協力で幕府が作った日本最初の洋式造船所で、幕末に海軍伝習や造船技術の教育が行われましたが、この堅削盤が輸入された当時に縮小がきまり、堅削盤は薩摩藩へ転売されたようです。明治以降は、佐賀県の深川造船所で使用され、その後、1997年まで福岡県小倉市にあった関連会社の若松車両で使用され、国立科学博物館に寄贈されました。
<b>熊本県</b>											
961	日本館2F北翼	肥後菊		九州地方	熊本県	熊本県	植物	植物	植生地域		
962	日本館3F北翼	ヒゴテリウム		九州地方	熊本県	宇土市	地学	化石	産地		この化石はヒゴテリウムのタイプ標本で、世界で唯一熊本県からしか見つかっていません。ヒゴテリウムは、「肥後国の獣」という意味です。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
963	日本館3F北翼	プラタナス		九州地方	熊本県	上益城郡御船町	地学	化石	産地		この標本は、国立科学博物館の植物化石の中で最初の登録番号が付された標本です。当館の前身ともいえる「文部省博物館」の展示のため、全国各地で収集された標本の一つと考えられます。採集年は明治5年(1872年)。おそらく最も見栄えがすることから最初の番号を付けられたのでしょう。この標本が採集された地層は恐竜化石も見つかる白亜紀のものですが、このような被子植物の存在は、白亜紀の終わり頃という時代性を表しています。
964	日本館3F南翼	オオセンチコガネ熊本県産		九州地方	熊本県		動物	昆虫	特有性のある生息地		オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。熊本県の阿蘇山一帯には、放牧されているウシやウマの糞に本種が多数発生しており、この地域の個体は光沢の強い金赤色で、ヘリの部分が緑色を帯びます。
965	日本館3F南翼	種山石		九州地方	熊本県	八代市種山鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(埼玉県・熊本県)	新鉱物「種山石」の模式産地
966	日本館3F南翼	鱗珪石		九州地方	熊本県	熊本市石神山	地学	鉱物	採取地		提供者: 山中勉氏
967	日本館3F南翼	厚層多腐植質アロフェン黒ぼく土		九州地方	熊本県	熊本県阿蘇市外輪山	植物	土壌	採取地	採取地に重複あり(岩手県・熊本県)	
<b>大分県</b>											
968	日本館3F南翼	マンガン斧石		九州地方	大分県	豊後大野市尾平鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 尾平鉱山のマンガン斧石は世界的に有名です。
969	日本館3F南翼	パラ輝砒鉱		九州地方	大分県	杵築市向野鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
970	日本館3F南翼	亜砒藍鉄鉱		九州地方	大分県	佐伯市木浦鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
971	日本館3F南翼	異極鉱		九州地方	大分県	佐伯市木浦鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(岐阜県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
972	日本館3F南翼	螢石		九州地方	大分県	豊後大野市豊栄鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(新潟県・石川県・三重県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
973	日本館3F南翼	黄鉄鉱		九州地方	大分県	豊後大野市豊栄鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(青森県・岩手県・長野県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
974	日本館3F南翼	藍鉄鉱		九州地方	大分県	姫島村姫島	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(三重県・大分県)	提供者: 櫻井欽一氏
975	地球館B2F	斧石		九州地方	大分県	豊後大野市尾平鉱山	地学	鉱物	採取地		
976	地球館B2F/日本館3F南翼	硫砒鉄鉱		九州地方	大分県	豊後大野市尾平鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
977	地球館B2F/日本館3F南翼	スコロド石		九州地方	大分県	佐伯市木浦鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
<b>宮崎県</b>											
978	日本館1F南翼	黒漆塗天球儀		九州地方	宮崎県		理工	制作物伝来場所			旧宮崎延岡藩主内藤家に伝来した黒漆塗の天球儀です。星の明るさにより大小の差があります。製作者・製作年代は不明だが、江戸時代後期18世紀後半ごろと見られます。
979	日本館1F南翼	木製天球儀		九州地方	宮崎県		理工	制作物伝来場所			旧宮崎延岡藩主内藤家に伝来した木球です。その表面には胡粉が塗られ、赤道や黄道などが毛書きされ、一部には星を記入した天球儀の一部らしい薄紙片が残ります。
980	日本館1F南翼	銅製天球儀『渾天新図』		九州地方	宮崎県		理工	制作物伝来場所			旧宮崎延岡藩主内藤家に伝来した銅製天球儀です。天球部分しか残っていないが、「渾天新図」の刻印や構造様式などから洪川春海作と考えられています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
981	日本館2F北翼	御崎馬		九州地方	宮崎県	都井岬	動物	哺乳類	生息地/天然記念物		宮崎県の都井岬で野生化している在来馬です。江戸時代初期に高鍋藩秋月家が放牧したのが始まりといわれています。
982	日本館2F北翼	剥片尖頭器		九州地方	宮崎県	宮崎平野遺跡群(宮崎県)	人類	石器	出土場所		宮崎平野の遺跡調査が進んだことで、九州の旧石器時代研究は飛躍的に進展しました。
983	日本館3F南翼	オオセンチコガネ宮崎県都井岬産		九州地方	宮崎県	都井岬	動物	昆虫	特有性のある生息地		オオセンチコガネは北海道、本州、四国、九州に産する大型(体長15-23mm)で美しいコガネムシで、大型獣類の糞に集まります。体色は地域的に大きな変異があり、いずれの場合も強い金属光沢があります。宮崎県南部、都井岬には本種が多く生息し、この地域の個体はさらに赤みが強く、紫色の交じる個体も時にみられます。
984	日本館3F南翼	ダンブリ石		九州地方	宮崎県	高千穂町土呂久鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏 ダンブリ石はトパズに似ており、透明なものは宝石にカットされることもあります。土呂久鉱山は国内で最も良質なダンブリ石を産出しました。
985	日本館3F南翼	ダトー石		九州地方	宮崎県	高千穂町山裏	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(愛媛県・宮崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
986	日本館3F南翼	ベスプ石		九州地方	宮崎県	日之影町岩戸鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(神奈川県・宮崎県)	提供者: 櫻井欽一氏
987	日本館3F南翼	キリノミタケ		九州地方	宮崎県	宮崎県	植物	菌類・藻類	植生地域		まるでツチグリの仲間(担子菌門ハラタケ綱)のようですが、チャワンタケ目(子の菌門チャワンタケ綱)に属します。樹木の桐の実によく似た形から、この名前が付けられました。1930年代に日本における分布が確認されて以来、宮崎県とアメリカのテキサス州のみに分布するという、とても変わった種として知られてきました。最近の調査により、奈良県や高知県などにも分布することがわかりましたが、分布は局所的で貴重なきのこです。
988	日本館3F南翼	タチフンホコリ		九州地方	宮崎県	宮崎県	植物	菌類・藻類	植生地域		1935(昭和10)年に九州の宮崎県で発見され、日本の変形菌学者、江本義数氏によって新種記載された変形菌です。したがって、宮崎県はタイプ産地(その種を記載するときに使用した標本の産地)です。日本各地でも発見されているが、比較的珍しい種です。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
<b>鹿児島県</b>											
989	日本館2F北翼	サツマドリ(薩摩鶏)		九州地方	鹿児島県		動物	鳥類	生息地		江戸時代に薩摩藩内で創り出された闘鶏の一品種で、体も大きく気性が激しい鶏です。古くから尚武の精神を養うためとして多く飼育されてきましたが、現在は観賞用として鹿児島県と宮崎県で多く飼われています。昭和18年に天然記念物に指定されました。
990	日本館2F北翼	口之島牛		九州地方	鹿児島県	トラカ列島口之島	動物	哺乳類	生息地		口之島に野生化したウシがいるとはあまり知られていません。一説によると隔離の歴史が長くて、絵巻物に登場するウシと体格がそっくりとか。
991	日本館2F北翼	弥生～古墳人男性		九州地方	鹿児島県	広田遺跡(鹿児島県)	人類	人骨	出土場所		九州を中心として弥生時代人骨の発掘事例が増加していくと、同じ弥生時代の集団の中にも地域性があることがわかりました。鹿児島県の広田遺跡から出土した人骨は「渡来系弥生人」でも「西北九州弥生人」とも形質が異なる「南九州弥生人」と考えられています。
992	日本館2F南翼	ニホンジカ(屋久島産)		九州地方	鹿児島県	屋久島	動物	哺乳類	特有性のある生息地		
993	日本館2F南翼	アマミノクロウサギ		九州地方	鹿児島県	奄美大島、徳之島	動物	哺乳類	生息地	特別天然記念物	世界でも奄美大島と徳之島にしかない希少種です。1895年から1896年にかけて訪日したアメリカ人William Furness氏が奄美大島を訪れた際に発見されました。Furness氏は当時の琉球列島の民俗学的な著作も残しています。最近ではマンガースの駆除が進み、個体群の回復が目覚ましいです。ところが交通事故や野ネコによる被害が絶えません。まれに足先が白い「白足袋」と呼ばれる個体変異があります。
994	日本館2F南翼	タネガシママイマイ		九州地方	鹿児島県	宇治群島 草垣群島 大隅諸島 トカラ列島	動物	その他	生息地		
995	日本館2F南翼	オキノエラブマイマイ		九州地方	鹿児島県	沖永良部島	動物	その他	生息地		
996	日本館2F南翼	チリメンマイマイ		九州地方	鹿児島県	徳之島	動物	その他	生息地		
997	日本館2F南翼	オオシママイマイ		九州地方	鹿児島県	口永良部島、トカラ列島、奄美諸島、徳之島以北	動物	その他	生息地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
998	日本館2F南翼	ヒメユリヤマタカマイマイ		九州地方	鹿児島県	沖永良部島	動物	その他	生息地		<p>南西諸島の陸産貝類(沖縄県、鹿児島県)</p> <p>沖縄県と鹿児島県にかけておよそ200の島々が1200 km にわたって連なる南西諸島は陸産貝類の多様性が高く、まさに宝庫と呼べる地域です。陸産貝類は日本全国から約890種・亜種が記録されていますが*、南西諸島にはそのうちの30%近い種・亜種が分布しています。陸地面積が南西諸島の8倍近い九州**に分布する種・亜種の数は全国の約20%なので、その豊富さがわかります。</p> <p>*湊 1988、日本陸産貝類総目録による</p> <p>**南西諸島を除く周辺島嶼を含む</p>
999	日本館2F南翼	アマミヤマタカマイマイ		九州地方	鹿児島県	奄美大島	動物	その他	生息地		
1000	日本館2F南翼	クマドリヤマタカマイマイ		九州地方	鹿児島県	奄美大島 加計呂麻島 請島	動物	その他	生息地		
1001	日本館2F南翼	ウラジロヤマタカマイマイ		九州地方	鹿児島県	中之島 奄美大島 喜界島	動物	その他	生息地		
1002	日本館2F南翼	トクノシヤマタカマイマイ		九州地方	鹿児島県	徳之島	動物	その他	生息地		
1003	日本館2F南翼	オキノエラブヤマタカマイマイ		九州地方	鹿児島県	沖永良部島	動物	その他	生息地		
1004	日本館3F南翼	薩摩(九州)隕石		九州地方	鹿児島県	伊佐市	理工	隕石	落下場所		
1005	日本館3F南翼	安山岩		九州地方	鹿児島県	桜島	地学	岩石	採取地	採取地に重複あり(石川県・鹿児島県)	1914年に噴出したマグマが固化した溶岩であり「大正溶岩」と呼ばれています。この噴火の溶岩流が海を埋め、桜島が大隅半島と陸続きとなりました。
1006	日本館3F南翼	パン皮火山弾		九州地方	鹿児島県	薩摩硫黄島	地学	岩石	採取地		
1007	日本館3F南翼	濃紅銀鉱		九州地方	鹿児島県	いちき串木野市串木野鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(静岡県・島根県・鹿児島県)	提供者: 櫻井欽一氏

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1008	日本館3F南翼	方解石		九州地方	鹿児島県	いちき串木野市串木野鉱山	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(秋田県・栃木県・新潟県・岐阜県・滋賀県・鹿児島県)	提供者: 櫻井欽一氏
1009	日本館3F南翼	大隅石		九州地方	鹿児島県	垂水市咲花平	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
1010	日本館3F南翼	紅安鉱		九州地方	鹿児島県	鹿児島市錫山鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
1011	日本館3F南翼	カリ長石		九州地方	鹿児島県	屋久町安房林道	地学	鉱物	採取地	採取地に重複あり(山梨県・長野県・岐阜県・鹿児島県)	提供者: 櫻井欽一氏
1012	日本館3F南翼	原田石		九州地方	鹿児島県	大和村大和鉱山	地学	鉱物	採取地		提供者: 櫻井欽一氏
1013	日本館3F南翼	ケナガネズミ		九州地方	鹿児島県	徳之島	動物	哺乳類	生息地	日本固有種/天然記念物	日本最大のネズミであるにも関わらず、その発見は1904年のことでした。この年、奄美大島を訪れたアラン・オーストンの採集人・長聖道がこのネズミを得て、標本が大英自然史博物館に送られて、1906年に新種として記載されました。徳之島での発見はおそらく1922年のこと、黒田長禮が送った採集人、折居彪二郎が採集したのがはじめてと考えられています。
1014	地球館B3F	赤崎 勇		九州地方 中部地方	鹿児島県 愛知県	名古屋市	理工	ノーベル賞	出生地・ 研究が行われた土地	物理学賞	2014年のノーベル物理学賞は、青色発光ダイオード(LED)を発見した3人の研究者に贈られました。その一人が、発見当時は名古屋大学工学部の教授だった赤崎勇氏(1929-2021)です。鹿児島県出身の赤崎氏は、大学卒業後、民間企業の研究所と大学の両方につとめた経験があります。ノーベル賞につながった成果は、青色LEDの材料となる窒化ガリウムという物質にかんするもので、実に15年以上も取り組んできた努力の結晶でした。
1015	地球館B2F/日本館3F南翼	金銀鉱石		九州地方	鹿児島県	菱刈町菱刈鉱山	地学	鉱物	採取地		提供: 住友金属鉱山 菱刈鉱山は国内で唯一現役の金属鉱山で、世界屈指の金品位を誇ります。
1016	地球館1F	サツマハオリムシ		九州地方	鹿児島県	鹿児島湾内タギリ域	動物	その他	生息地		1997年に日本で初めて記載されたハオリムシ類です。鹿児島湾内の「タギリ」と呼ばれる水深100mほどの湧水域から発見され、その後南海トラフや日光海山でも見つかっています。
1017	地球館1F	マッコウクジラ		九州地方	鹿児島県	加世田市	動物	哺乳類	漂流地		本個体は2005年8月に鹿児島県南さつま市(当時:鹿児島県加世田市)の海岸に生きて打ち上げられました。救護の甲斐なく数時間後に死亡、調査し現地へ埋設しました。体長13.77mのオスです。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1018	地球館1F/日本館2F南翼/日本館3F南翼	ルリカケス		九州地方	鹿児島県	奄美大島、加計呂麻島(鹿児島県)	動物	鳥類	生息地	天然記念物	鹿児島県の奄美大島と加計呂麻島にのみ生息する固有種です。羽色はとても美しく、頭と翼と尾が青く、腹と背は茶色。翼と尾の先端には白斑があり、くちばしは象牙色です。雑食性で、果実や種子、昆虫など何でも食べます。暗い森林内でも明るい林縁でも、人家付近でも活動し、よく人の目につきます。希少種で、国内希少野生動植物種や天然記念物に指定されています。
1019	地球館2F/日本館3F南翼	屋久杉輪切り標本		九州地方	鹿児島県	屋久島	植物	植物	植生地域/特別天然記念物		屋久島の標高500mを超える山地に自生し、樹齢1000年を超えるスギをとくに屋久杉と呼んでいます。縄文杉、紀元杉、ウィルソン株などが有名ですが、成長が遅く、樹脂分が多く腐りにくいいため寿命が長いと考えられています。屋久島の山地に広がるスギの原生林は「屋久島スギ原始林」として特別天然記念物に指定されており、さらに屋久杉の美しい自然景観と豊富な植物相などから屋久島は白神山地とともに日本で初めて世界自然遺産として登録されました。
<b>沖縄県</b>											
1020	日本館2F北翼	港川人		九州地方	沖縄県	沖縄県	人類	人骨	出土場所		沖縄県は複数の旧石器時代人骨が発見されている国内唯一の県です。なかでも1970年に発見された港川人は、「東アジア最高の保存状態」と言われ、旧石器時代人の姿を現代に伝えてくれる重要な化石人骨です。
1021	日本館2F北翼	日本最古の人骨化石		九州地方	沖縄県	山下町第一洞穴遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		山下町第一洞穴遺跡は沖縄県那覇市の市街地にある小さな鍾乳洞ですが、日本最古の人骨が発見された重要遺跡です。1968年の調査で旧石器人が食べたと思われる貝の殻や魚の骨、石器などと一緒に、幼児の足の骨が見つかりました。
1022	日本館2F北翼	港川2号		九州地方	沖縄県	港川フィッシャー遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		沖縄県は複数の旧石器時代人骨が発見されている国内唯一の県です。なかでも1970年に発見された港川人は、「東アジア最高の保存状態」と言われ、旧石器時代人の姿を現代に伝えてくれる重要な化石人骨です。
1023	日本館2F北翼	港川4号		九州地方	沖縄県	港川フィッシャー遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		沖縄県は複数の旧石器時代人骨が発見されている国内唯一の県です。なかでも1970年に発見された港川人は、「東アジア最高の保存状態」と言われ、旧石器時代人の姿を現代に伝えてくれる重要な化石人骨です。
1024	日本館2F北翼	ピンザアブ洞穴出土の人骨化石:後頭骨、第五腰椎、右頭頂骨、頭骨、上腕骨、寛骨		九州地方	沖縄県	ピンザアブ洞穴遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		宮古島は面積159km <sup>2</sup> と小さな島で、沖縄島からも石垣島からも見ることはできませんが、旧石器人が海を越えて渡っていたというのは驚きです。
1025	日本館2F北翼	顔の違いを比べてみよう 旧石器人		九州地方	沖縄県	港川遺跡(沖縄県)	人類	石器	出土場所		港川遺跡から1970年に発見された港川人1号は、2016年に石垣島で白保人が発見されるまで国内唯一の顔のわかる旧石器人であり、さまざまな研究が進められました。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1026	日本館2F北翼	貝塚人男性		九州地方	沖縄県	大当原遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		縄文時代から弥生時代へと移り変わるころ、沖縄では狩猟採集・漁猟を中心とした生業が続けられます。この時代は「貝塚時代後期」とか「弥生平安平行時代」と呼ばれ、10世紀ごろまで続きます。
1027	日本館2F北翼	浦添グスク人男性		九州地方	沖縄県	浦添ようどれ遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		本州とは異なる歴史、文化をもつ沖縄県。11世紀ごろから始まるグスク時代には、人々は諸外国との交易を盛んに行い、独特の文化をはぐくんで琉球王国へと発展していきます。
1028	日本館2F北翼	もっとも完全な旧石器人の化石 港川1号		九州地方	沖縄県	港川フィッシャー遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		沖縄県は複数の旧石器時代人骨が発見されている国内唯一の県です。なかでも1970年に発見された港川人は、「東アジア最高の保存状態」と言われ、旧石器時代人の姿を現代に伝えてくれる重要な化石人骨です。
1029	日本館2F南翼	セマルハコガメ		九州地方	沖縄県	石垣島、西表島	動物	爬虫類/両生類	生息地	天然記念物	中国・台湾及び本邦の石垣島と西表島に分布する陸生のカメ類です。最近では沖縄島にも野生化している可能性が指摘されています。石垣島に行くと、夜間普通に道路を歩いていて驚かされますが、国の天然記念物に指定されているので手を出してはいけません。
1030	日本館2F南翼	イリオモテヤマネコ		九州地方	沖縄県	西表島(沖縄県)	動物	哺乳類	生息地	日本固有種・特別天然記念物	1965年に西表島を訪れた動物文学作家戸川幸雄により発見され、1967年に当館の今泉吉典によって新種として記載されました。南西諸島の島にヤマネコが生き残っていたということが信じられませんが、さらにそれが戦後まで発見されていなかったということに驚かされます。西表島には1900年頃から多くの採集人が動物標本を求めて調査したが、彼らには見つかることがなかったらしいです。
1031	日本館2F南翼	クビワオオコウモリ		九州地方	沖縄県	口永島良部島以南の南西諸島	動物	哺乳類	生息地		割と広く分布する種ですが、夕刻の夜空をはばたく姿は圧巻です。
1032	日本館2F南翼	クロイトカゲモドキ		九州地方	沖縄県	沖縄島、古宇利島、瀬底島、伊平屋島、久米島	動物	爬虫類/両生類	生息地	沖縄県の天然記念物	沖縄諸島の多様性を示すのにふさわしい爬虫類です。沖縄県固有種でありながら、島ごとに非常に多様な色彩を持つ種で、5亜種に分類されます。常設展のクロイトカゲモドキはその基亜種です。
1033	日本館2F南翼	クンチャンマイマイ		九州地方	沖縄県	沖縄島北部	動物	その他	生息地		
1034	日本館2F南翼	シュリマイマイ		九州地方	沖縄県	沖縄島、慶良間列島、久米島、渡名喜島、与論島	動物	その他	生息地		南西諸島の陸産貝類(沖縄県、鹿児島県) 沖縄県と鹿児島県にかけておよそ200の島々が1200 km にわたって連なる南西諸島は陸産貝類の多様性が高く、まさに宝庫と呼べる地域です。陸産貝類は日本全国から約890種、西種が記録されていますが、南西諸島にそのうちの30%近い種、西種が分布している

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1035	日本館2F南翼	オキナワヤマタカマイマイ		九州地方	沖縄県	沖縄島、浜比嘉島、津堅島、奥武島(南城市)	動物	その他	生息地		<p>陸地種が記録されていますが、南西諸島にはその約8割の種・亜種が分布しています。陸地面積が南西諸島の8倍近い九州**に分布する種・亜種の数是全国の約20%なので、その豊富さがわかります。</p> <p>*湊 1988、日本陸産貝類総目録による</p> <p>**南西諸島を除く周辺島嶼を含む</p>
1036	日本館2F南翼	アマノヤマタカマイマイ		九州地方	沖縄県	沖縄島南部	動物	その他	生息地		
1037	日本館2F南翼	ヒメハブ・サキシマハブ・ホンハブ・トカラハブ		九州地方	沖縄県	奄美諸島(喜界島・沖永良部島・与論島を除く)、沖縄諸島(粟国島などを除く)	動物	爬虫類/両生類	生息地		<p>ハブ類は琉球列島の自然を特徴づける毒蛇です。鹿児島県トカラ列島の宝島と小宝島のみ分布するトカラハブは毒性が弱く、島民からそれほど恐れられる存在ではありません。サキシマハブは沖縄県石垣島と西表島にのみ分布し、台湾の фаウナに 関 連 が あ る と さ れ て い ま す 。 こ れ ら の 中 間 域 に 当 た る 沖 縄 諸 島 ・ 奄 美 諸 島 に は 毒 性 が 強 い ホ ン ハ ブ と 弱 毒 の ヒ メ ハ ブ が い ま す 。 島 ごと に 色 彩 の 変 異 も あ り 、 地 域 色 豊 かな 動 物 で す 。</p>
1038	日本館2F南翼	イノシシ(西表島産)		九州地方	沖縄県	西表島(沖縄県)	動物	哺乳類	採取地		<p>頭骨や歯の形態が本土産のイノシシと異なることから、かつては独立種とされたこともありました。</p>
1039	日本館2F南翼	イエジマイマイ		九州地方	沖縄県	伊江島	動物	その他	生息地		
1040	日本館2F南翼	ミヤコマイマイ		九州地方	沖縄県	宮古島	動物	その他	生息地		
1041	日本館2F南翼	ハンミガキマイマイ		九州地方	沖縄県	伊平屋島、伊是名島	動物	その他	生息地		
1042	日本館2F南翼	イッシキマイマイ		九州地方	沖縄県	石垣島、西表島	動物	その他	生息地		
1043	日本館2F南翼	ヨナクニマイマイ		九州地方	沖縄県	与那国島	動物	その他	生息地		

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1044	日本館2F南翼	リュウキュウヒダリマキマイマイ		九州地方	沖縄県	久米島	動物	その他	生息地		<p>南西諸島の陸産貝類(沖縄県、鹿児島県)</p> <p>沖縄県と鹿児島県にかけておよそ200の島々が1200 km にわたって連なる南西諸島は陸産貝類の多様性が高く、まさに宝庫と呼ばれる地域です。陸産貝類は日本全国から約890種・亜種が記録されていますが*、南西諸島にはそのうちの30%近い種・亜種が分布しています。陸地面積が南西諸島の8倍近い九州**に分布する種・亜種の数は全国の約20%なので、その豊富さがわかります。</p> <p>*湊 1988、日本陸産貝類総目録による</p> <p>**南西諸島を除く周辺島嶼を含む</p>
1045	日本館2F南翼	クロイフヒダリマキマイマイ		九州地方	沖縄県	石垣島 西表島	動物	その他	生息地		
1046	日本館2F南翼	ウラキヤマタカマイマイ		九州地方	沖縄県	宮古島、伊良部島	動物	その他	生息地		
1047	日本館2F南翼	イヘヤヤマタカマイマイ		九州地方	沖縄県	伊平屋島	動物	その他	生息地		
1048	日本館2F南翼	オモロヤマタカマイマイ		九州地方	沖縄県	久米島	動物	その他	生息地		
1049	日本館2F南翼	アマミヤマシギ		九州地方	鹿児島県・沖縄県	奄美大島 加計呂麻島 徳之島 沖縄本島北部	動物	鳥類	生息地	日本固有種	<p>日本固有種で、鹿児島県の奄美大島、加計呂麻島、徳之島と沖縄県沖縄島北部、渡嘉敷島のみ分布します。近縁種のヤマシギにとでも似ていますが、よりずんぐりとした体形で足が短く見えるのが特徴です。環境省が国内希少野生動物種に指定して、主な繁殖地である奄美大島で捕食者のマングースを駆除し、保全が図られています。</p>
1050	日本館2F南翼	トゲネズミ		九州地方	鹿児島県・沖縄県	奄美大島、徳之島、沖縄島	動物	哺乳類	天然記念物		<p>沖縄島・奄美大島・徳之島にのみ分布するネズミの一種です。毛が平坦な針状になっているのがその名の由来です。近年では三島の個体群がそれぞれ独立種として扱われるようになりまし。その理由は彼らの染色体の構成が全く異なるためで、特に奄美大島と徳之島の個体群ではメスオスとも性染色体が1本という珍しい特徴を持ちます。そのため世界的にも注目されるネズミです。</p>
1051	日本館2F南翼/ 日本館3F南翼	ヤンバルクイナ		九州地方	沖縄県	沖縄県の山原地方/沖縄県北部の原生林にのみ分布	動物	鳥類	生息地	天然記念物・絶滅危惧種	<p>沖縄県で1981年に発見された飛べないクイナです。沖縄県北部の山原(やんばる)と呼ばれる原生林にのみ生息します。赤い嘴と足、腹部の縞模様の特徴です。姿を見ることは比較的希ですが、夕方に「ケケケ・・・」とけたたましい鳴き声がよく聞かれます。マングースによる捕食で数を減らしましたが、マングースの駆除対策により、近年は回復傾向にあります。国の天然記念物と絶滅危惧種に指定されています。</p>
1052	日本館3F南翼	ハグルマヤママユ		九州地方	鹿児島県・沖縄県	奄美大島、徳之島、沖縄島北部	動物	昆虫	生息地	日本固有種	<p>名前の通り、レモン色の翅に歯車のようなギザギザした模様が目立つがです。世界で奄美大島・徳之島・沖縄県に固有の種で、台湾にはこれに近い種が分布しています。最近、生息地の開発や伐採などによって数を減らしており、環境省の準絶滅危惧種に指定されています。</p>
1053	日本館3F南翼	ノグチゲラ		九州地方	沖縄県	沖縄県北部の原生林にのみ分布	動物	鳥類	生息地	特別天然記念物・絶滅危惧種	<p>全長30cmほどのキツツキで、沖縄県本島北部の山原(やんばる)と呼ばれる原生林にのみ生息します。かつては一属一種とされ、分類学的に珍しいとされてきましたが、DNA解析によってオオアカゲラに近縁であることがわかりました。キツツキ類には珍しい地上での採食行動が特徴的です。生息数は500羽未満と推定され、世界的な希少種です。国の特別天然記念物と絶滅危惧種に指定されています。</p>



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1054	日本館3F南翼	グルムソル様土型非固結岩屑土 (ジャーガル)		九州地方	沖縄県	沖縄県南城市佐敷	植物	土壌	採取地		
1055	日本館3F南翼	パリゴルスキー石		九州地方	沖縄県	名護市城	地学	鉱物	採取地		提供者: 大城逸郎氏 石とは思えない質感が面白いパリゴルスキー石です。その代表的な産地です。
1056	日本館3F南翼	典型風化変質赤黄色土(国頭 マーヅ 黄色系)		九州地方	沖縄県	沖縄県国頭郡恩納村泉民 の森	植物	土壌	採取地		
1057	日本館3F南翼	典型風化変質赤黄色土(国頭 マーヅ 赤色系)		九州地方	沖縄県	沖縄県名護市久志南明治 山	植物	土壌	採取地		
1058	日本館3F南翼	典型赤褐色石灰質土(島尻マー ヅ)		九州地方	沖縄県	沖縄県島尻郡北大島村	植物	土壌	採取地		
1059	日本館3F南翼	クビレヅタ		九州地方	沖縄県	沖縄県	植物	菌類・藻類	植生地域		南西諸島や東南アジアなどに分布するイワヅタ科の海藻で、単細胞生物です。沖縄県では古来食用とされてきましたが、近年になって養殖されたものが「海ぶどう」の名で全国に流通するようになりました。
1060	日本館3F南翼	ヤンバルテナゴコガネ		九州地方	沖縄県	沖縄県北部	動物	昆虫	生息地		ヤンバルテナゴコガネは1982年ごろ発見された、日本最大の甲虫です。オスの最大体長約65mm、メスは最大約60mmほどになります。オスは前脚の脛節以降が長く伸び、これを使ってオス同士で、取っ組み合いの闘争を行う生態が知られています。幼虫はスダジイなどの古木中の空洞内に生活し、樹洞内に生成された土壌を食べて成長します。沖縄県北部山地の一部のみに分布します。 こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/S3/KA1-1/japanese/TAB1/index2.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/nihon_con/S3/KA1-1/japanese/TAB1/index2.html</a>
1061	日本館3F南翼	オオシロアリタケ		九州地方	沖縄県		植物	菌類・藻類			地中にあるシロアリの巣から生えるという、不思議な生態をもつきのこです。このきのこの柄の周辺を注意深く掘り下げると、地中数十センチもの深さまで柄が伸びて、必ずシロアリの巣に到達します。熱帯地域(特に東南アジア)に広く分布しているようですが、日本では今のところ沖縄(沖縄島、石垣島、西表島)からしか確認されていません。菌ごたえのある美味しいきのこで、沖縄では琉球王朝の時代から食用にされてきたようです。
1062	日本館3F南翼	カムリワシ		九州地方	沖縄県	八重山諸島	動物	鳥類	生息地/特別天然記念物		日本では沖縄県八重山諸島にのみ分布する熱帯林の猛禽で、翼の小さな白斑と目の周りから嘴にかけての黄色が特徴的です。湿地周辺の樹木や電柱に止まり、カエル、トカゲ、ヘビなどの両生・爬虫類やカニなどの甲殻類、昆虫類を待ち伏せて、捕食します。推定個体数は約200羽で、絶滅危惧種と特別天然記念物に指定されています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1063	日本館3F南翼	キンバト		九州地方	沖縄県	八重山諸島	動物	鳥類	生息地/天然記念物		金属光沢のある綺麗な緑色の小型のハトで、細くて赤い嘴をしています。メスオスで頭の色が異なり、オスは額が白く後頭部が灰色で、メスは額から後頭部が暗い灰色です。種の分布はインドから東南アジア、オーストラリアまで広く見られますが、日本では八重山諸島のみ固有亜種です。森林内にすみ、木の実に種子、シロアリなどを地上で食べ、道路際にもよく現れます。天然記念物で、絶滅危惧種です。
1064	日本館3F南翼	コノハチョウ		九州地方	沖縄県		動物	昆虫	生息地/天然記念物		翅の表はオレンジと青の美しい模様ですが、裏は名前のように枯葉そっくりの模様でよく知られるチョウです。日本では沖縄県だけに分布し、沖縄島から八重山列島までに生息しますが、最近ではそれより北でも記録があります。沖縄県の天然記念物にされており、開発によって数を減らしつつありますが、樹液などに来ている姿を見る機会もあると思います。沖縄県のコノハチョウは固有の亜種とされています。
1065	日本館3F南翼	ヨナグニサン		九州地方	沖縄県	八重山諸島	動物	昆虫	生息地/天然記念物		日本最大の蛾としてよく知られており、一度見たら忘れられません。和名を漢字で書くと「与那国蚕」となり、「与那国島にいた、蚕のようにマユをつくるヤママユガ(野蚕)のなかま」という意味になります。日本では与那国島のほか石垣島と西表島にしか分布しておらず、沖縄県の天然記念物に指定されています。与那国島の昔からの言葉では「アヤマハビル」と言います。
1066	日本館3F南翼	カラスヤンマ		九州地方	沖縄県	沖縄島中北部	動物	昆虫	生息地		カラスヤンマは沖縄島の固有亜種のトンボです。比較的大型のトンボで、メスの翅がガラスのように黒いことから和名が付けられたようです。対照的にオスの翅は透明です。6月ごろ島の中北部の溪流部で飛んでいるのを観察することができます。「ヤンマ」と名前についていますが、ヤンマ科ではなく、オニヤンマ科に近縁なミナミヤンマ科として区別される場合が多いようです。
1067	日本館3F南翼	ヤエヤママルバネクワガタ		九州地方	沖縄県	沖縄島北部	動物	昆虫	生息地		本種は沖縄県八重山諸島の西表島、石垣島に分布し、インドシナ半島に分布するマキシムマルバネクワガタの近縁種です。与那国島には同じ種の別亜種が生息しています。オスは体長35-70mmほどになる大型幅広で全体黒褐色のクワガタムシです。オスの大あごは短く、背面へ向かって内歯が突出します。奄美諸島に近縁のアマミマルバネクワガタ、沖縄島に同じく近縁のオキナワマルバネクワガタが産します。
1068	日本館3F南翼	ツマグロゼミ		九州地方	沖縄県	宮古諸島、八重山諸島	動物	昆虫	生息地		沖縄県の宮古島以南の先島諸島に生息し、海外では台湾・中国にも分布しています。頭を下にして木に止まる習性があります。前翅の先端部に黒い紋があり、名前の由来になっています。学名は「Nipponosemia terminalis」となっており、属名はまさに「日本のセミ」という意味で名付けられています。宮古島市では市の天然記念物に指定されており、増殖施設を設けるなど保全活動が行われています。
1069	日本館3F南翼	ハラアカナナホシキンカメムシ		九州地方	沖縄県	宮古島、石垣島、西表島	動物	昆虫	生息地		
1070	日本館3F南翼	リュウキュウアユ		九州地方	鹿児島県・ 沖縄県	奄美大島、沖縄島	動物	魚類	生息地		リュウキュウアユ(Plecoglossus altivelis ryukyuensis)は種としてはアユ(Plecoglossus altivelis altivelis)と同じですが、世界でも奄美大島と沖縄島にしかいない固有亜種です。残念ながら、沖縄島の個体群は1970年代に絶滅しました。現在、沖縄島に生息しているリュウキュウアユは、奄美大島からの移植個体群です。環境省のレッドリストでは絶滅危惧IA類に分類されるほど、生息数が減っています。
1071	地球館B2F	ハマサンゴ		九州地方	沖縄県	石垣市白保	地学	その他	産地		沖縄の海でよく見られるハマサンゴは、サンゴ礁をつくる造礁サンゴです。塊状で群体を形成し、数メートルから最大のもので11mという報告もあります。数百年から千年という長い年月を生き、1年ごとに年輪をきざむことから、大きなハマサンゴからは過去の環境を知ることができます。サンゴの炭酸カルシウム(アラレ石)という成分の中の詳しい元素比や同位体比を調べることで、過去の水温・塩分などの情報を得ることができます。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1072	地球館B2F	現生硬骨カイメンの1種		九州地方	沖縄県	沖縄下地島	地学	化石	産地		沖縄県のサンゴ礁にある海底洞窟内には、「生きた化石」とよばれる生物が多く生息しています。硬骨カイメンもその一つです。この発見により、古生代に大繁栄した層孔虫と呼ばれる化石がカイメン動物であることがわかりました。海底洞窟のようにエサに乏しい環境にうまく適応した生物は、生存競争の少ない環境で、外見上はほとんど進化せずに生き延びていると考えられています。
1073	地球館B2F	港川1頭骨		九州地方	沖縄県	港川フィッシャー遺跡(沖縄県)	人類	人骨	出土場所		沖縄県は複数の旧石器時代人骨が発見されている国内唯一の県です。なかでも1970年に発見された港川人は、「東アジア最高の保存状態」と言われ、旧石器時代人の姿を現代に伝えてくれる重要な化石人骨です。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1753284">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1753284</a>
1074	地球館1F	現代人(ホモ・サピエンス)頭骨		九州地方	沖縄県	港川	人類	人骨	出土場所		沖縄県は複数の旧石器時代人骨が発見されている国内唯一の県です。なかでも1970年に発見された港川人は、「東アジア最高の保存状態」と言われ、旧石器時代人の姿を現代に伝えてくれる重要な化石人骨です。こちらの解説も併せてご参照ください。 <a href="http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/4k/A1-A/A1_04_JP_106.html">http://shinkan.kahaku.go.jp/kiosk/100/4k/A1-A/A1_04_JP_106.html</a>
1075	地球館1F	カラスアゲハ 沖縄島亜種		九州地方	沖縄県		動物	昆虫	生息地/固有種・亜種		日本のカラスアゲハは、最近の研究によって、北海道からトカラ列島まで分布するカラスアゲハ、中琉球(奄美群島から沖縄諸島まで)に分布するオキナワカラスアゲハ、八重山列島に分布するヤエヤマカラスアゲハの3種に分けられました。特に、オキナワカラスアゲハは中琉球に固有の種で、この地域の独特な生き物の一つとされます。八重山列島のヤエヤマカラスアゲハも固有の亜種とされますが、この種は台湾を経て東南アジア地域まで広くみられます。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1258284">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1258284</a>
1076	地球館1F	カラスアゲハ 八重山亜種		九州地方	沖縄県		動物	昆虫	生息地/固有種		日本のカラスアゲハは、最近の研究によって、北海道からトカラ列島まで分布するカラスアゲハ、中琉球(奄美群島から沖縄諸島まで)に分布するオキナワカラスアゲハ、八重山列島に分布するヤエヤマカラスアゲハの3種に分けられました。特に、オキナワカラスアゲハは中琉球に固有の種で、この地域の独特な生き物の一つとされます。八重山列島のヤエヤマカラスアゲハも固有の亜種とされますが、この種は台湾を経て東南アジア地域まで広くみられます。こちらの解説を併せてご参照ください。 <a href="http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1258285">http://db.kahaku.go.jp/exh/detail?cls=col_z1_01&amp;pkey=1258285</a>
1077	地球館1F	カブトムシ 沖縄島亜種		九州地方	沖縄県		動物	昆虫	特有性のある生息地		カブトムシは国内では、北海道(国内移入)から沖縄県まで分布しますが、沖縄県では沖縄島北部のみに産します。この個体群は小型(オス30-50mm、メス25-30mm)で体色の黒味が強く、頭角がやや短いという特徴をもっています。沖縄県ではペット用に本州から移入された亜種との交雑による遺伝子混濁が心配されています。
1078	地球館1F	マサキウラナミジャノメ		九州地方	沖縄県	八重山	動物	昆虫	日本/地域固有種		マサキウラナミジャノメは世界でも八重山に固有の種で、樹林の周りの明るいところでみられます。同じく八重山固有のヤエヤマウラナミジャノメはより薄暗いところを好み、住む場所が違っています。ウラナミジャノメのなかまは、北海道から九州・屋久島にかけて2種、沖縄諸島から1種、そして八重山列島から2種と、日本から計5種が知られています。
1079	地球館1F	ミナミクロダイ		九州地方	鹿児島県・沖縄県	奄美、琉球列島	動物	魚類	生息地		日本の中でも屋久島や琉球列島にしかない固有種です。内湾や汽水域、サンゴ礁のある浅い水域に生息します。雑食性であり、甲殻類や貝類、ゴカイなどの多毛類、藻類を食べます。最大で全長50cm程度まで成長します。クロダイと遺伝的に非常に近縁であり、ミトコンドリアDNAだけでは簡単に区別できないほどです。奄美や沖縄では「チン」と呼ばれています。



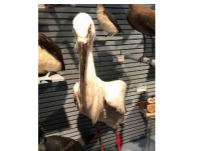

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1080	地球館1F	カラスアゲハ トカラ亜種		九州地方	鹿児島県・ 沖縄県		動物	昆虫	日本固有亜種		トカラ列島のカラスアゲハは、本種の中でも特に緑色の斑紋が目立つことから、特産の亜種とされています。屋久島・種子島と奄美群島には含まれたトカラ列島には、その両方にいるどちらの生物とも少し違うものがみられます。ガのなかまには、トカラホソバのようにトカラ列島特産の種もあります。
1081	地球館1F	オキナワリチラシ		九州地方	鹿児島県・ 沖縄県		動物	昆虫	日本固有亜種		オキナワリチラシは、日本では本州の伊豆半島より西に、海外では東南アジアに広く分布する美しいマダラガのなかまです。展示で詳しく解説されているように、オキナワリチラシは、翅の模様だけでなく、成虫が活動する時間、1年の発生回数など、さまざまな生態も地域ごとに違っていて、とくに南西諸島で激しく異なっています。そのため、日本産は、本州・四国・九州、屋久島・種子島、トカラ列島中之島、奄美大島、徳之島、沖縄島、久米島、八重山列島の合計8つの亜種に分かれています。
<b>その他</b>											
1082	日本館2F南翼	イジマムシクイ					動物	鳥類	天然記念物		アカコッコと同様に東京都の伊豆諸島と鹿児島県の吐噺列島でのみ繁殖しますが、フィリピンなどで越冬するため、日本固有種ではなく日本繁殖固有種です。センダイムシクイに近縁で、かつてはセンダイムシクイの亜種とされていました。4月から7月の繁殖期には伊豆諸島と吐噺列島中之島では多数のさえずりが聞かれます。天然記念物と絶滅危惧種に指定されています。
1083	日本館2F南翼	アカコッコ					動物	鳥類	天然記念物		東京都の伊豆諸島と鹿児島県の吐噺列島でのみ繁殖する日本固有種です。アカハラに最も近縁で似ていますが、オスの頭部が黒いのが特徴です。天然記念物と絶滅危惧種に指定されています。
1084	日本館2F南翼	アカヒゲ					動物	鳥類	日本固有種/天然記念物		南西諸島と男女列島に分布する日本固有種です。コマドリに近縁で赤っぽい羽色をしていますが、顔から胸にかけて髭を生やしたように黒いのが特徴です。沖縄島で繁殖する亜種ホントウアカヒゲと沖縄島より北で繁殖する亜種アカヒゲの2亜種に分けられ、両亜種は遺伝的には別種レベルで違っています。天然記念物と絶滅危惧種に指定されています。
1085	日本館2F南翼	ノウサギ					動物	哺乳類	日本固有種		ノウサギの夏毛は日本ではどこでも茶褐色なのに対し、冬毛は雪が積もる地域では白くなる場合があります。ウサギは常に肉食の捕食者に狙われているため、体色を雪の色に合わせて、敵に見つかりにくくなっているのです。一方、雪が積もらない地域では白い体色が目立つので、冬でも茶褐色のままです。
1086	日本館3F南翼	ヒメネズミ					動物	哺乳類	日本固有種		
1087	日本館3F南翼	ハタネズミ					動物	哺乳類	日本固有種		
1088	日本館3F南翼	ニホンカモシカ					動物	哺乳類	日本固有種/特別天然記念物		



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1089	日本館3F南翼	ニホンムササビ					動物	哺乳類	日本固有種		
1090	日本館3F南翼	コフキエゾイバラガニ					動物	その他	日本固有種		本種はドイツの生物学者フランツ・ドフラインによって相模湾から採集され、1911年にミュンヘンの国立動物学博物館のハインリッヒ・バルスによって記載されました。Paralomis japonicaの学名が示すとおり、日本固有種です。
1091	日本館3F南翼	ヒメハルゼミ					動物	昆虫	天然記念物		セミ科ハルゼミ属に分類されるヒメハルゼミの基亜種です。4月末から6月という、他のセミよりも早い時期に成虫が現れます。マツ林に生息し、生息域は局地的です。新潟県・茨城県から西の地域、南は徳之島まで分布しており、学名の種小名である「chibensis」は千葉に由来します。分布域の北限に近い茨城県・千葉県・新潟県の生息地の一部はそれぞれ国の天然記念物に指定されています。
1092	日本館3F南翼	ウラキンシジミ					動物	昆虫	日本固有種		日本固有の森林性シジミチョウで、北海道・本州・四国・九州の山地を中心に分布します。幼虫はトネリコのなかまの葉を食べ、高い木についていた場合、サナギになる前に葉のつけねを切り取って葉ごと地面に落ちるといった面白い習性を持っています。この種の親戚にあたるコンゴウシジミのなかまが、アジア大陸の朝鮮半島から東南アジアにかけて分布しています。
1093	日本館3F南翼	オオウナギ					動物	魚類	天然記念物		最大で全長2m、体重20kgを超える大型種です。ニホンウナギよりも暖かい水域を好み、熱帯淡水域で個体数が多い。生息地が国の天然記念物に指定されているのは長崎県(樺島)、徳島県(母川)および和歌山県(富田川・古座川)です。展示標本は東京都小笠原島産です。黒潮がそばを流れる日本各地の河川淡水域に点々と出現するのは、熱帯域で生まれたレプトセファルス幼生と呼ばれる仔魚が海流に乗って運ばれて各地で育つためです。
1094	日本館3F南翼	クマゲラ					動物	鳥類	天然記念物		全長45cmもある大型の体型と黒い色からクマゲラと呼ばれます(ゲラはキツツキの意)。オスは赤い帽子をかぶったように頭全体が赤く、メスは後頭部のみです。分布はヨーロッパから極東まで亜寒帯に広く分布しますが、日本では北海道の針葉混交林と東北北部のブナの原生林でのみ見られます。「キョーン、キョーン」とよく響く声で鳴き、木の幹をたたく音も大きく、遠くからでも聞こえます。天然記念物に指定されています。
1095	地球館1F	ブナアオシャチホコ					動物	昆虫	日本固有種		ブナとイヌブナはどちらも日本特有の樹木で、特にブナ林は日本を代表する林の一つとしてよく知られています。日本では、このブナやイヌブナだけを食べている生き物が多く知られており、フジミドリシジミとブナアオシャチホコは、それぞれチョウとガの代表的な生き物です。中国大陸や台湾には、日本のブナの近縁種とそれを食べるフジミドリシジミやブナアオシャチホコの近縁種がどちらもいて、各地でブナのなかまと一緒に分化してきたと考えられています。
1096	地球館1F	ニホンザル					動物	哺乳類	日本固有種		青森県から屋久島まで分布する日本固有のサルです。霊長類としては珍しく、寒冷・積雪環境にまで分布を広げています。群れで行動し、植物の葉、芽、果実などを食べます。
1097	地球館1F	ウスバキチョウ					動物	昆虫	天然記念物		日本では高い山(高山帯といいますが)にだけ住んでいるチョウは「高山蝶」と呼ばれますが、ウスバキチョウは、日本では北海道中部にそびえる大雪山周辺だけにいる有名な高山蝶です。幼虫は高山植物のコマクサを食べます。水期に大陸の寒い地域からわたってきて、その後暖かくなってからは高山で生き残ってきたと言われていました。西はロシアから東は海を越えてアラスカまで、寒い地方に分布しますが、日本のウスバキチョウは独立した亜種とみなされています。



No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1098	地球館1F	ギフチョウ					動物	昆虫	日本固有種		早春に出現することがよく知られるギフチョウは、世界でも本州特産のチョウです。幼虫はカンアオイというなかまの植物を食べます。カンアオイは日本国内で多くの種に分かれていて、ギフチョウの幼虫も地域によって違うカンアオイを食べています。よく似ているヒメギフチョウは、北海道と本州の東北部と中部に分かれて分布し、アジア大陸にもいます。
1099	地球館1F	フタスジフユシヤク					動物	昆虫	日本固有種		冬にガになり、メスの翅が退化しているシヤクガのなかまのことを、フユシヤクガ(冬尺蛾)といいます。フタスジフユシヤクは、北海道から九州まで分布する日本固有のフユシヤクガで、本州から九州にかけては山地でみられます。九州の山地からは小型のクジュウフユシヤク、伊豆半島の平地からはシュゼンフユシヤクという、それぞれ固有の近縁種が知られています。
1100	地球館1F	ヤマウスバフユシヤク					動物	昆虫	日本固有種		冬にガになり、メスの翅が退化しているシヤクガのなかまのことを、フユシヤクガ(冬尺蛾)といいます。ヤマウスバフユシヤクは、北海道と本州に分布する日本固有のフユシヤクガです。名前のように本州ではおもに山地でみられ、おもに平地にいるウスバフユシヤクによく似た種です。このなかまのメスは、見た目ではどの種か区別できません。
1101	地球館1F	ヒロバフユエダシヤク					動物	昆虫	日本固有種		冬にガになり、メスの翅が退化しているシヤクガのなかまのことを、フユシヤクガ(冬尺蛾)といいます。フユシヤクガの中には、日本にしか分布しない種が数多くいます。この種は本州・四国・九州に分布しますが、東京都心を含めて関東平野南部では数が増えつつあります。港区にある国立科学博物館附属自然教育園の調査でも、1月から2月にかけて確認されました。
1102	地球館1F	ウスシモフリトゲエダシヤク					動物	昆虫	日本固有種		冬にガになり、メスの翅が退化しているシヤクガのなかまのことを、フユシヤクガ(冬尺蛾)といいます。ウスシモフリトゲエダシヤクは、北海道と、本州山地に分布する日本固有のフユシヤクガです。珍しい種の一つで、とくにメスは一個体しか記録がありません。そのメスが生んだ卵からかえった幼虫が、ソメイヨシノの葉を食べたことで、幼虫がサクラを食べることはわかりましたが、野外では幼虫は見つかっておらず、したがって野外で何を食べるかもまだ謎のままです。
1103	地球館1F	ミスジヒロウダスズメ					動物	昆虫	日本固有種		本州から屋久島にかけて分布するスズメガで、薄暗い渓谷を好む種です。よく似たビロードスズメと一緒に見かけることもあります。幼虫は巨大な目玉模様がよく目立ち、アジサイのなかまを食べます。スズメガ科は日本から76種が知られ、そのうち本種を含む6種が日本固有種とされています。
1104	地球館1F/日本館2F南翼	アカネズミ					動物	哺乳類	日本固有種		北海道からトカラ列島まで分布し、わが国の森林にもっとも普通に見られるノネズミといえます。日本固有種で、背側の赤褐色が美しく、腹側は灰白色です。木の実や昆虫を食べます。
1105	地球館1F/日本館2F南翼	テン					動物	哺乳類	日本固有種		日本では本州から九州にかけて分布するイタチ科です。長い胴体と短い四肢が特徴的です。樹上に暮らすことが多く、人家周辺にも現れます。果実のほか、昆虫やネズミなどを食べます。
1106	地球館1F/日本館3F南翼	ヤマネ					動物	哺乳類	日本固有種/天然記念物		本州以南に分布する日本固有種です。夜行性で樹上に暮らし、昆虫や果実を食べます。体を丸めて冬眠することで知られています。国の天然記念物に指定されています。
1107	地球館1F/日本館3F南翼	フジミドリシジミ					動物	昆虫	日本特産種		ブナとイヌブナはどちらも日本特有の樹木で、特にブナ林は日本を代表する林の一つとしてよく知られています。日本では、このブナやイヌブナだけを食べている生き物が多く知られており、フジミドリシジミとブナアオシャチホコは、それぞれチョウとガの代表選手です。中国大陸や台湾には、日本のブナの親戚とそれを食べるフジミドリシジミやブナアオシャチホコの親戚がどちらもいて、各地でブナのなかまと一緒に分化してきたと考えられています。

No	展示場所	展示資料	写真	地方 (広域区分)	都道府県	市区町村 (狭域区分)	大分類	中分類	リストアップの根拠	詳細2	標本・資料と各都道府県・地域を結びつけるトピックスやエピソード
1108	地球館1F/日本館3F南翼	オオムラサキ					動物	昆虫	国蝶		オスが青紫色をした美しい姿でよく知られるこのチョウは、1957年に日本昆虫学会によって「国蝶」(日本のチョウ)に選ばれました。その1年前には、オオムラサキが描かれた75円切手も発行されました。北海道から九州まで広く分布し、関東などでは里山でも見られるチョウでしたが、開発によって減りつつあります。日本のオオムラサキは固有の亜種とされますが、種としては東アジアの各国にも広く分布します。
1109	地球館1F/日本館3F南翼	アズマモグラ					動物	哺乳類	日本固有種		
1110	地球館1F/日本館3F南翼	ヒサマツミドリシジミ					動物	昆虫	日本固有種		本州の関東南部以西・四国・九州の限られたところから知られる日本固有のチョウです。ミドリシジミのなかまは大変人気のあるチョウですが、幼虫の生態は長い間謎のままで、おもにウラボシ科の葉を食べることがわかったのは1970年代になってからでした。台湾から近縁種のイチモンジミドリシジミが知られ、2019年には中国大陸からも近縁な新種が発見されました。
1111	地球館3F	コウノトリ					動物	鳥類	特別天然記念物		極東ロシア、中国北東部および日本で繁殖する魚食性の水鳥で、一見ツルに似ていますが、嘴は太く、木の枝に止まり、樹上に営巣することなどが違っています。日本では野生下での繁殖個体が一旦いなくなりましたが、2005年以来、兵庫県豊岡市の「コウノトリの郷公園」で放鳥され、同地を中心に野生下での繁殖が見られるようになっています。特別天然記念物と絶滅危惧種に指定されています。
1112	地球館3F	トキ					動物	鳥類	特別天然記念物		中国と日本でのみ見られる世界的な絶滅危惧種です。日本のトキは一旦絶滅しましたが、中国から導入した個体が新潟県佐渡島で増やされ、放鳥されたことで、復活し、佐渡島では野生下でも繁殖が見られています。Nipponia nippon(ニッポニア・ニッポン)の学名で良く知られ、日本を代表する鳥の一つで、特別天然記念物に指定されています。